

西南女学院大学・大学短期大学部
2016 年度学生生活に関する実態調査
【調査結果報告書】

2017 年 6 月

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
1. 共通調査（両学年共通）	2
〔1〕回収率	2
〔2〕回答者の基本属性	2
〔3〕現在の住まい	3
〔4〕通学時間	3
〔5〕出身高校	4
〔6〕入試形態	5
〔7〕志望順位	8
〔8〕高校での成績	10
〔9〕志望理由	11
〔10〕入学以降、力を入れてきた事柄	13
〔11〕大学での学習成果	15
〔12〕1週間の生活時間	22
〔13〕1週間の通学頻度・授業への出席状況・大学で過ごす時間数	31
〔14〕大学等で過ごす場所	33
〔15〕学生生活全般に対する満足度	35
〔16〕本学での成績	44
〔17〕学生生活に対する充実度	45
〔18〕後輩に対する本学の推奨度合	47
〔19〕悩み	49
〔20〕悩みの相談先	53
〔21〕将来のキャリア	55
〔22〕海外留学	56
〔23〕授業の経験	63
2. 卒業前調査（最終学年対象）	68
〔1〕影響を受けた授業	68
〔2〕将来のキャリアへの影響度	76
〔3〕進路決定	79
〔4〕大学教育への評価	88
〔5〕大学生活を振り返って	90
第3章 調査票	92

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、学生に「本学に通うことになった背景」やこれまでの「授業や学生生活での経験」を振り返ってもらいながら、「入学してからの自分自身の成長の実感」、「大学に対する満足度（要望）」、「将来のキャリア」などを把握し、本学における教育や学生支援などをよりよくするために活用するものである。

2. 調査設計と回収結果

調査対象者	大学(看護学科、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科)、短期大学部(生活創造学科、保育科)各学科の第1学年及び最終学年
調査方法	各学科教員を通じて配布・回収
回収数	913 人
調査時期	2016 年 12 月 1 日～2016 年 12 月 22 日 (栄養学科1年対象の再調査:2017 年 4 月 5 日)

3. 調査結果の見方

○回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

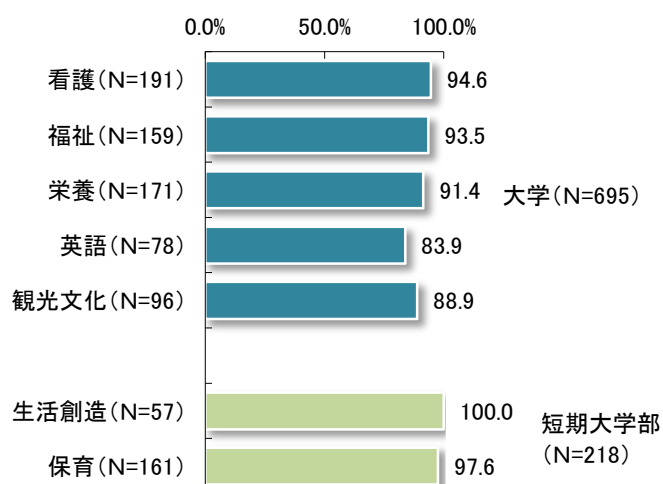
○クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピューター入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

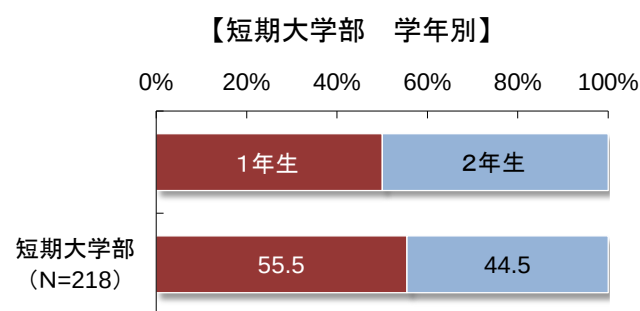
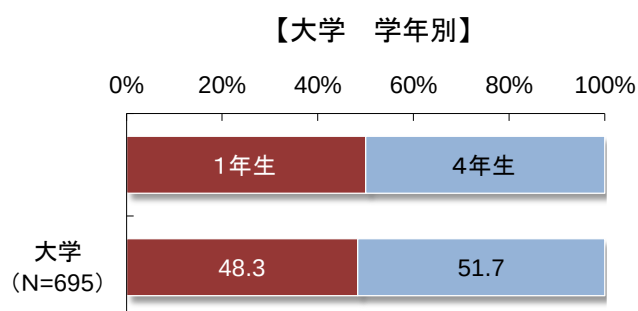
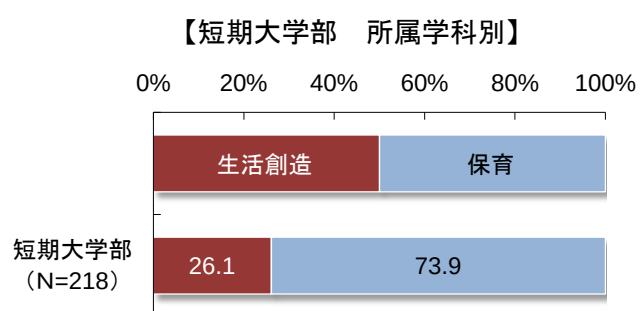
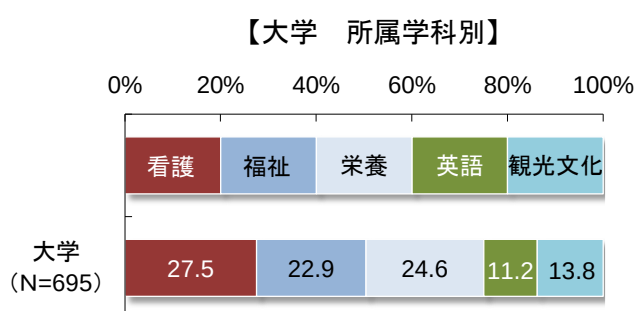
第2章 調査結果

1. 共通調査（両学年共通）

〔1〕回収率

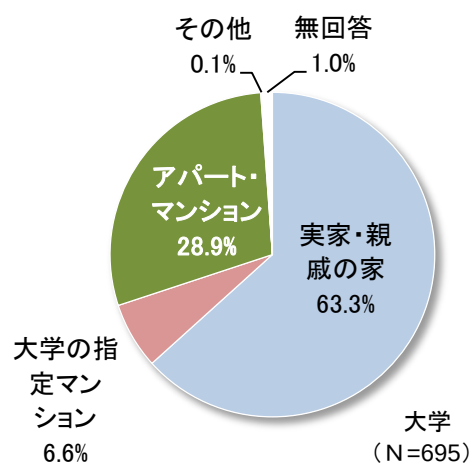


〔2〕回答者の基本属性

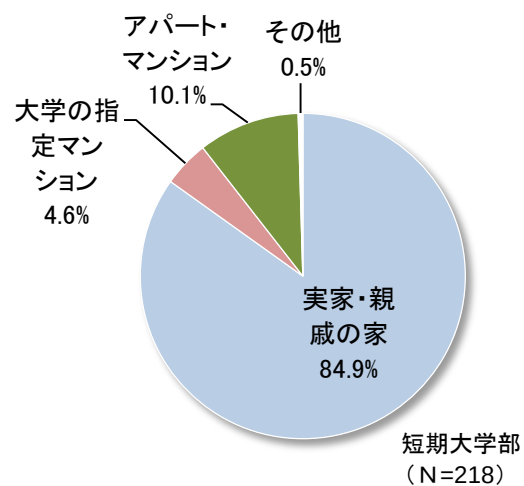


〔3〕現在の住まい

大 学

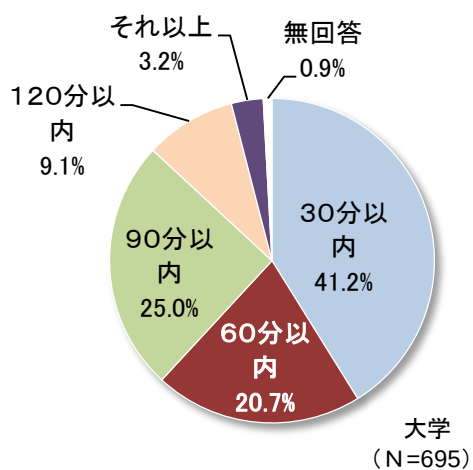


短期大学部

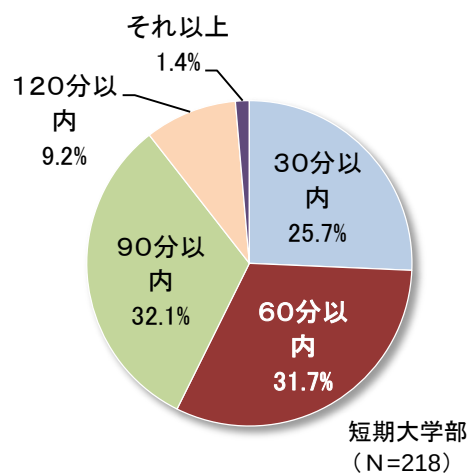


〔4〕通学時間

大 学

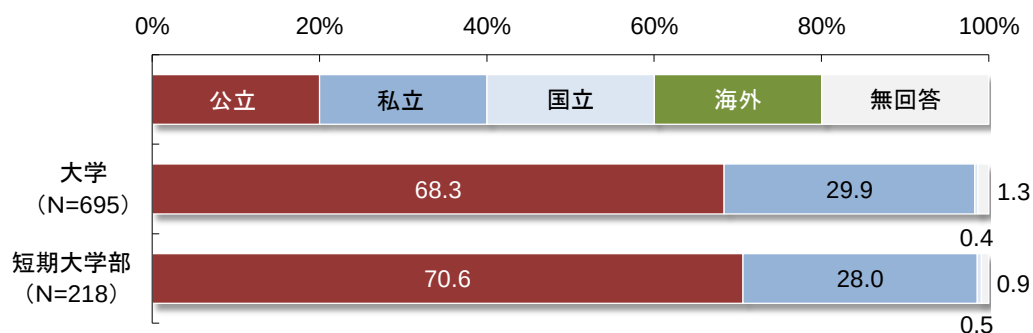


短期大学部

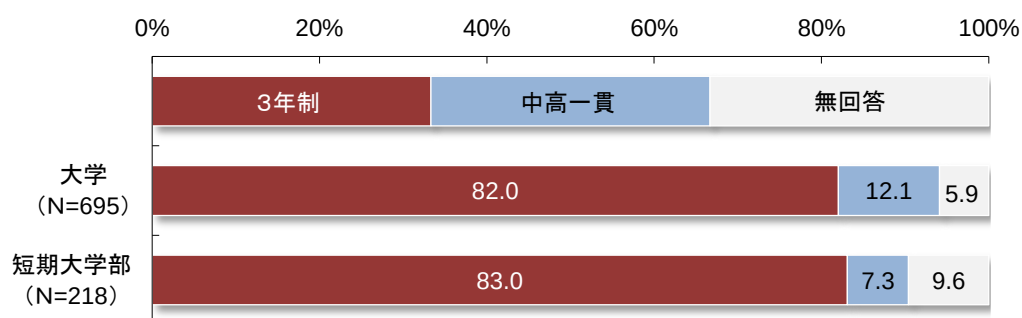


〔5〕出身高校

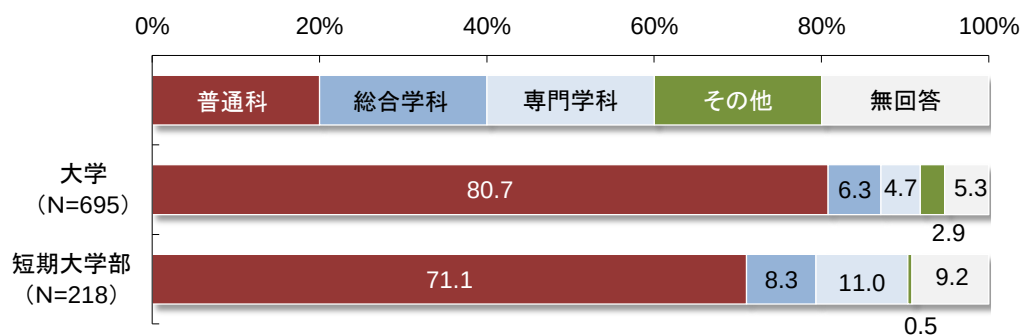
【設置者】



【種類】



【学科】



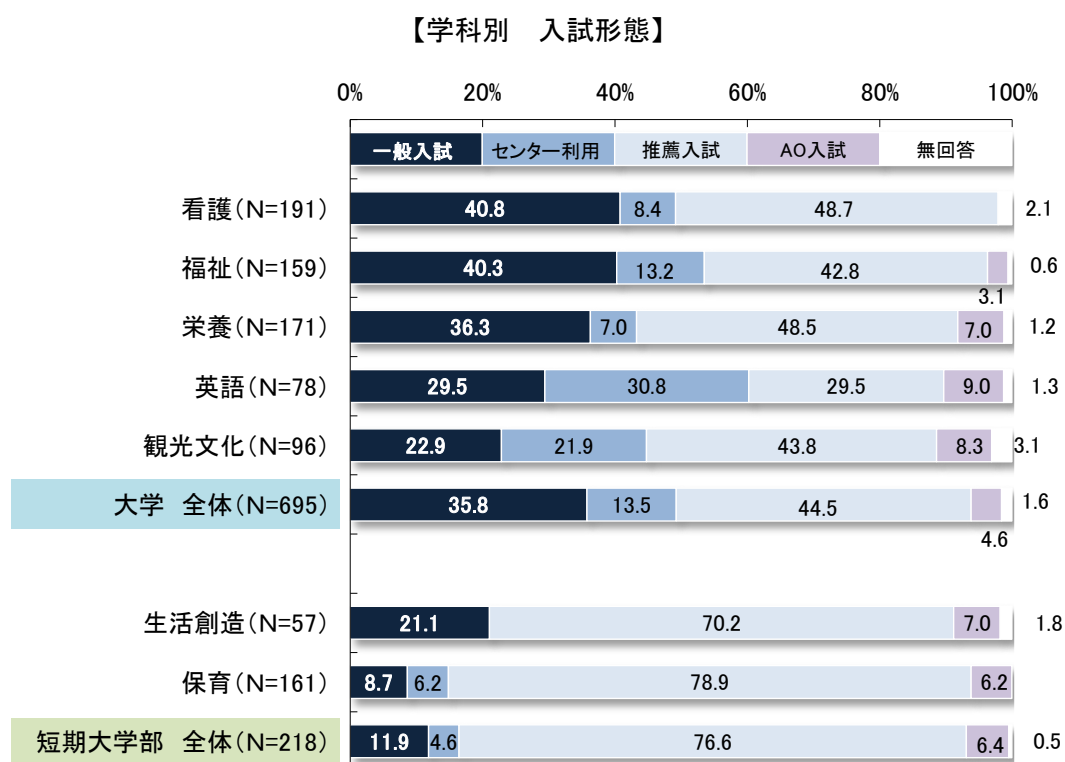
〔6〕入試形態

本学に入学した入試形態は、大学では「推薦入試」(44.5%)が最も多く、次いで「一般入試」(35.8%)、「センター利用」(13.5%)となっている。

短期大学部においても「推薦入試」が最も多く8割弱(76.6%)を占めており、学生の過半数が推薦入試での入学となっている。

大学の学科別にみると、他に比べて看護学科や福祉学科は「一般入試」の割合が高く、英語学科は「センター利用」の割合が高い。

問 次のどの入試で本学に入学しましたか。(1つだけ選んでください)



第2章 調査結果

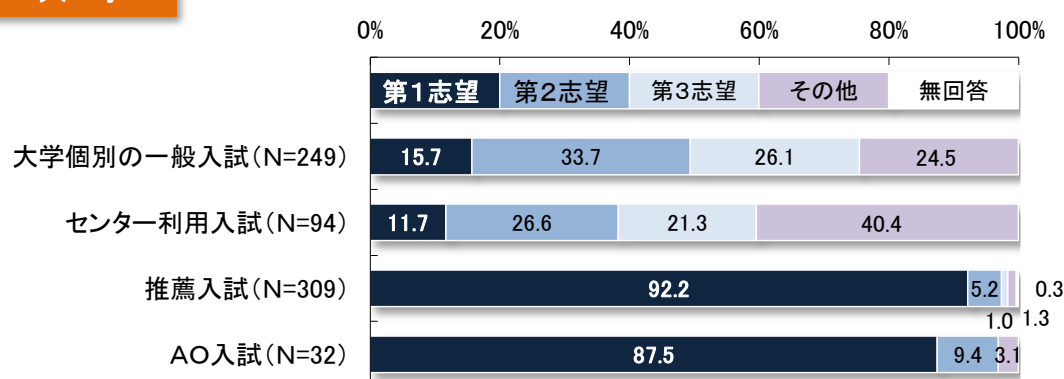
入試形態別に本学の志望順位をみると、大学、短期大学部はともに推薦入試とAO入試は「第1志望」が9割前後を占めて多い。

大学の一般入試では「第2志望」(33.7%)、「第3志望」(26.1%)が多く、センター利用入試では「その他」(40.4%)が多くなっている。

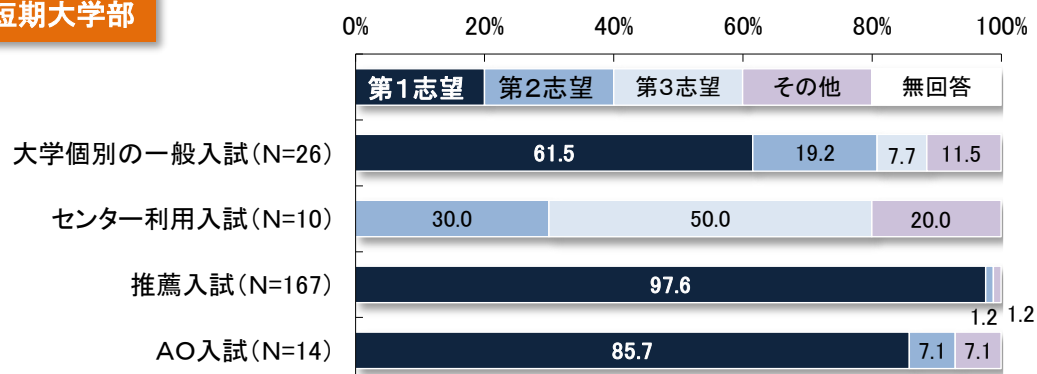
また、短期大学部の一般入試では「第1志望」が6割(61.5%)を占めて最も多く、センター利用入試では「第3志望」(50.0%)が最も多くなっている。

大 学

【入試形態別 本学の志望順位】



短期大学部

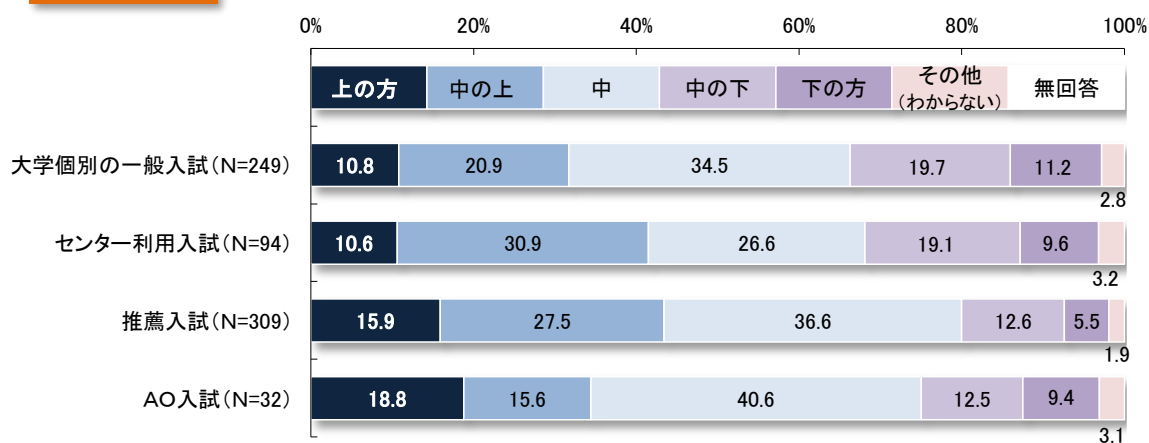


入試形態別に高校での成績をみると、大学はいずれの入試形態も「中」や「中の上」が2～4割前後を占めて多くなっている。高校での成績が「上の方」は推薦入試やAO入試で高い傾向にある。

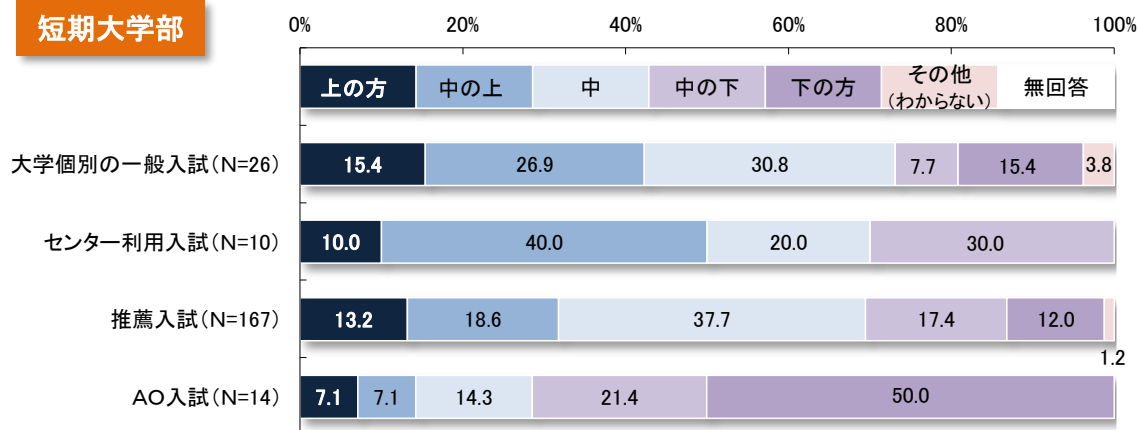
短期大学部は、一般入試や推薦入試では「中」が最も多く、センター利用入試は「中の上」が最も多く、AO入試は「下の方」が最も多くなっている。

大 学

【入試形態別 高校での成績】



短期大学部

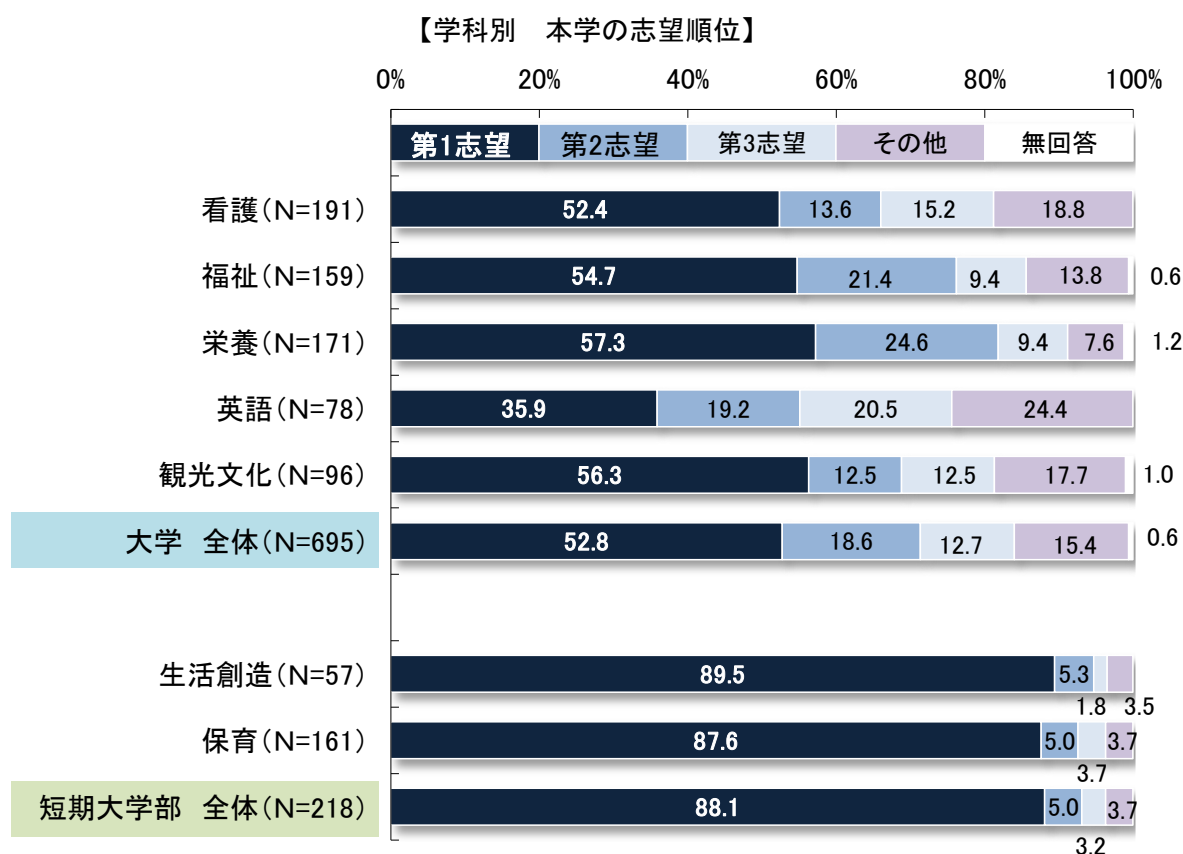


〔7〕 志望順位

本学の志望順位は、大学では「第1志望」(52.8%)が最も多く、次いで「第2志望」(18.6%)、「その他」(15.4%)となっている。短期大学部では「第1志望」が9割弱(88.1%)を占めている。

大学の学科別にみると、「第1志望」の割合は栄養学科で6割弱(57.3%)と最も高く、英語学科(35.9%)で最も低くなっている。また、短期大学部では推薦入試の学生が多いこともあり、生活創造学科・保育科ともに第1志望とする学生が多くなっている。

問 本学を何番目に志望しましたか。(1つだけ選んでください)



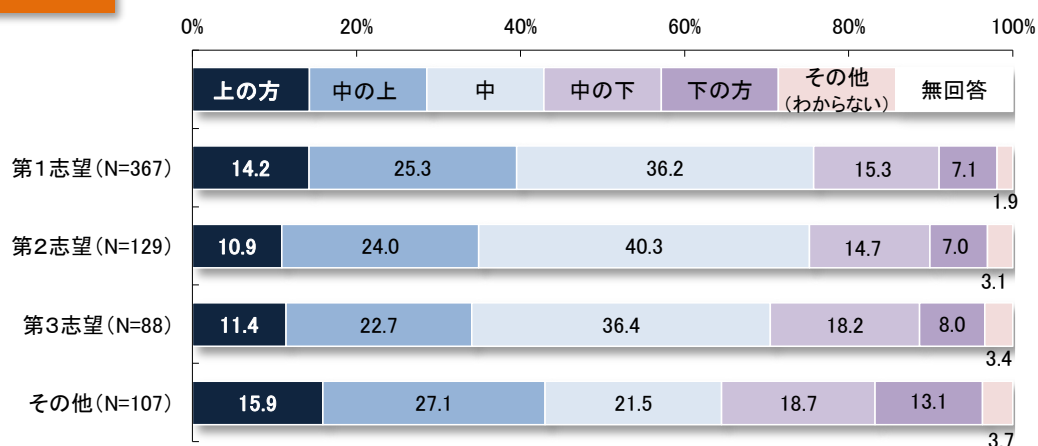
本学の志望順位別に高校での成績をみると、大学の第1志望～第3志望は「中」が4割前後で最も多く、次いで「中の上」が2割台となっている。その他は「中の上」が最も多く、次いで「中」「中の下」となっている。

短期大学部は、第1志望やその他は「中」が最も多く、第2志望は「中の上」が最も多く、第3志望は「中の下」が最も多い。

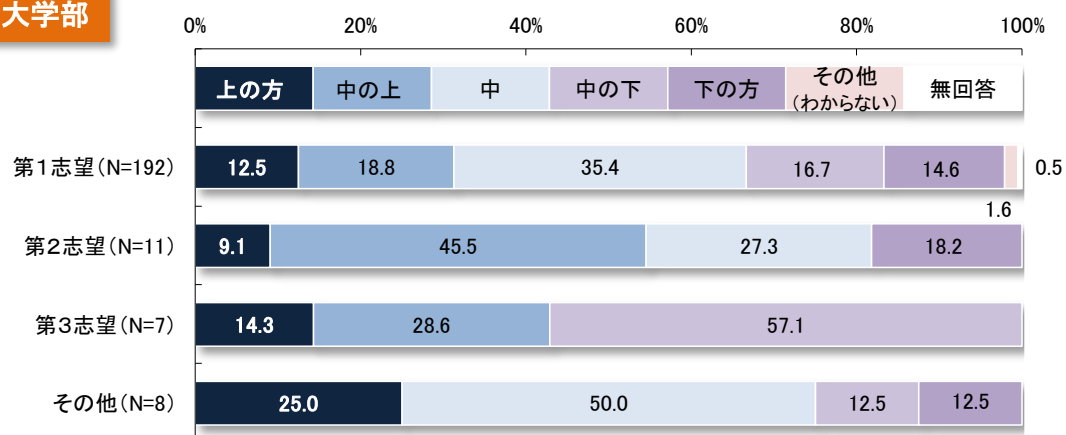
なお、本学を第一志望とする学生の高校での成績は、大学、短期大学部ともに「上の方」+「中の上」が3～4割を占めている。

大 学

【本学の志望順位別 高校での成績】



短期大学部

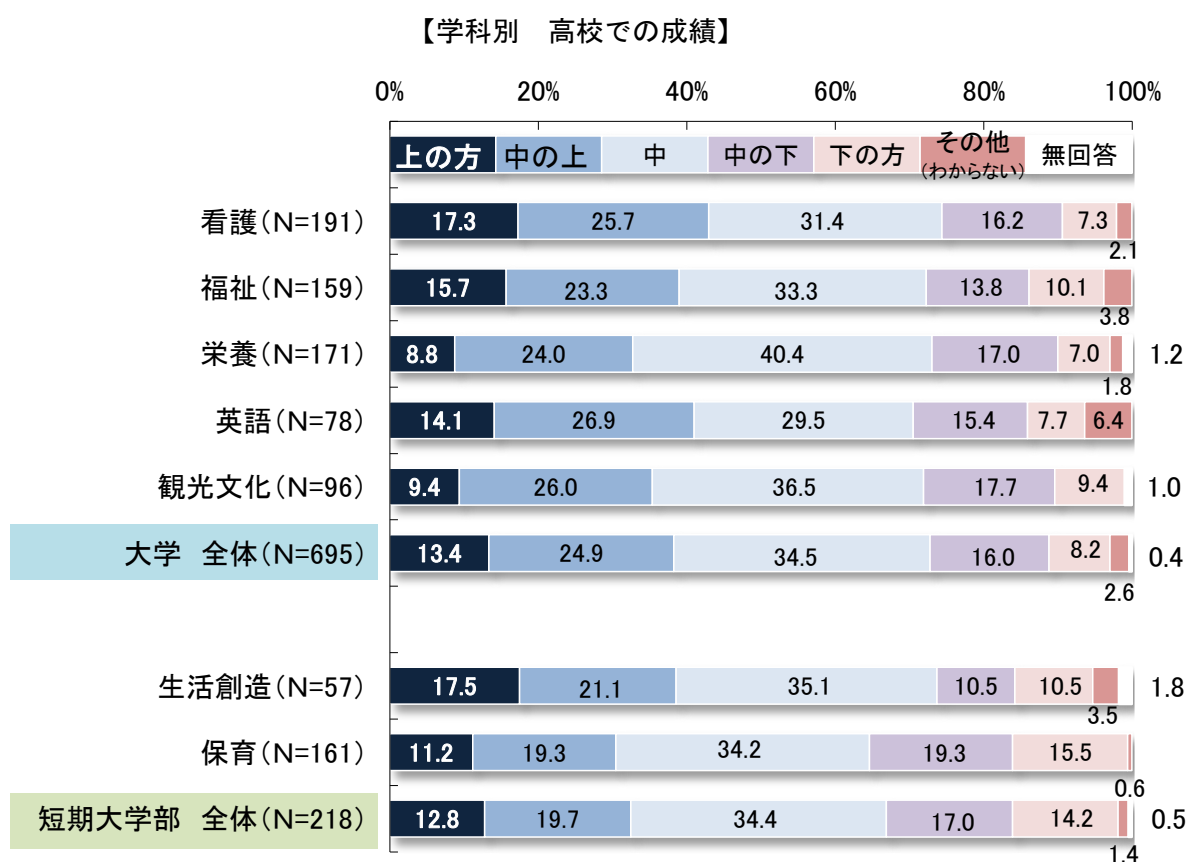


〔8〕高校での成績

高校での成績は、大学、短期大学部ともに「中くらい」(大学:34.5%、短期大学部:34.4%)が最も多く、次いで「中の上」(大学:24.9%、短期大学部:19.7%)となっている。

学科別にみると、大きな違いはみられないが、高校での成績が真ん中より上だとした人は看護学科や英語学科で他に比べてやや割合が高くなっている。

問 あなたの高校での成績を教えてください。(1つだけ選んでください)

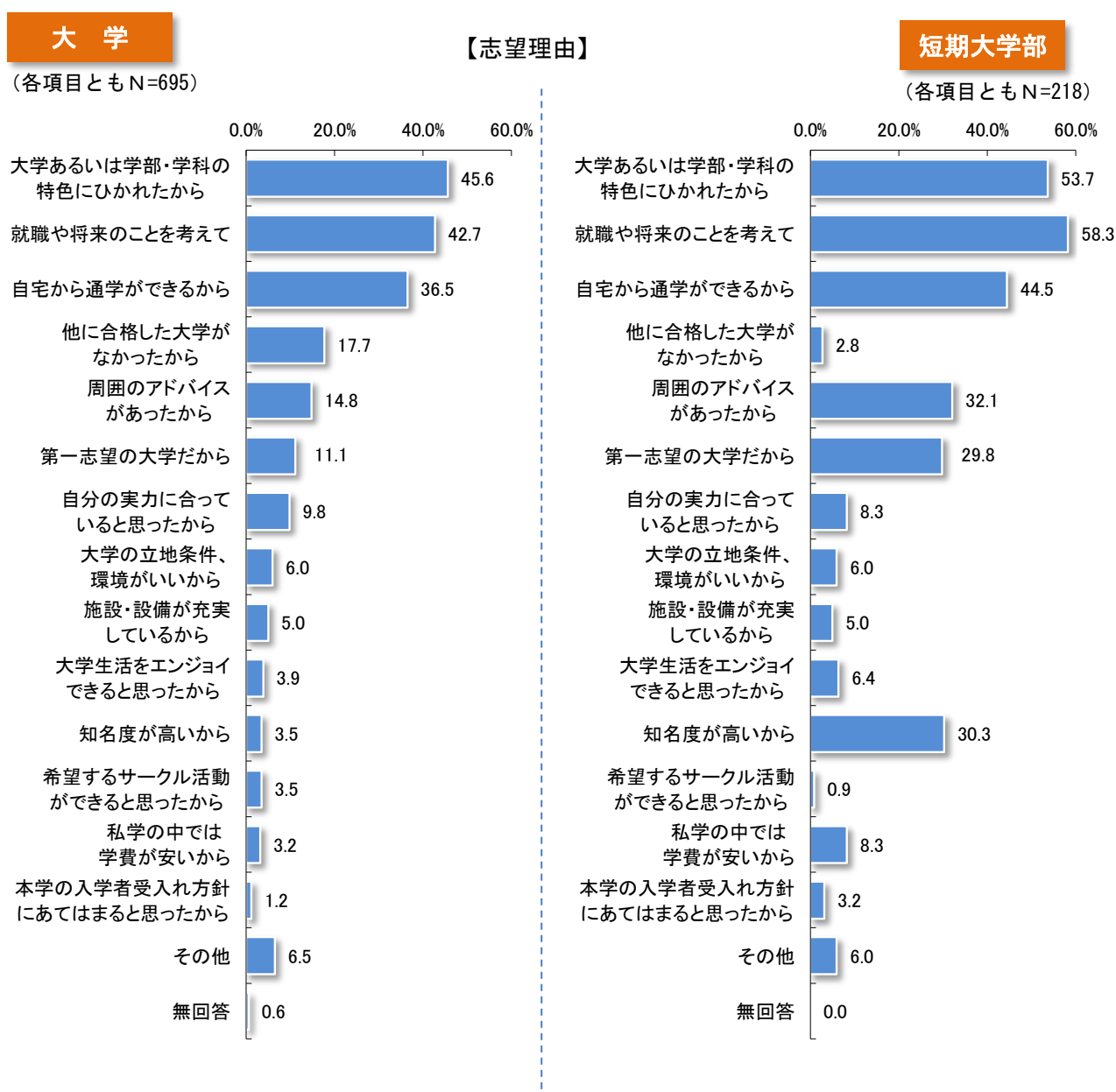


〔9〕志望理由

本学の志望理由は、大学、短期大学部ともに「大学あるいは学部・学科の特色にひかれたから」（大学：45.6%、短期大学部：53.7%）や「就職や将来のことを考えて」（大学：42.7%、短期大学部：58.3%）、「自宅から通学できるから」（大学：36.5%、短期大学部：44.5%）が多くなっており、この上位3項目が主な志望理由となっている。

また、短期大学部ではこの他に「周囲のアドバイスがあったから」や「第一志望の大学だから」「知名度が高いから」も3割前後で割合が高くなっている。

問 本学を進学先として選んだ理由は次のどれですか。（あてはまるものすべてを選んでください）

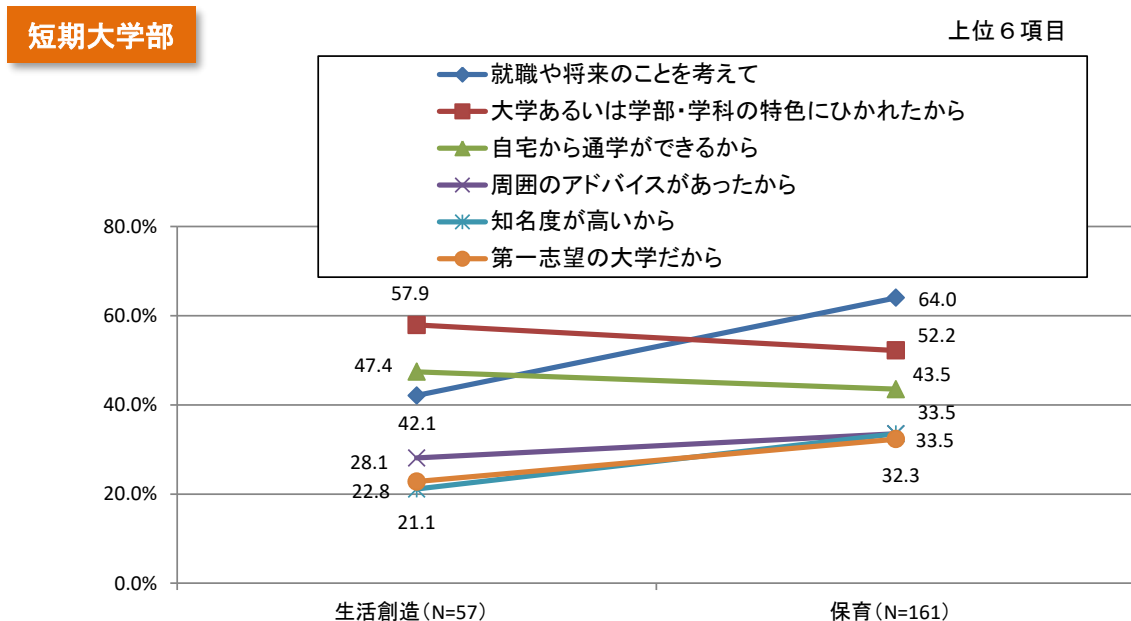
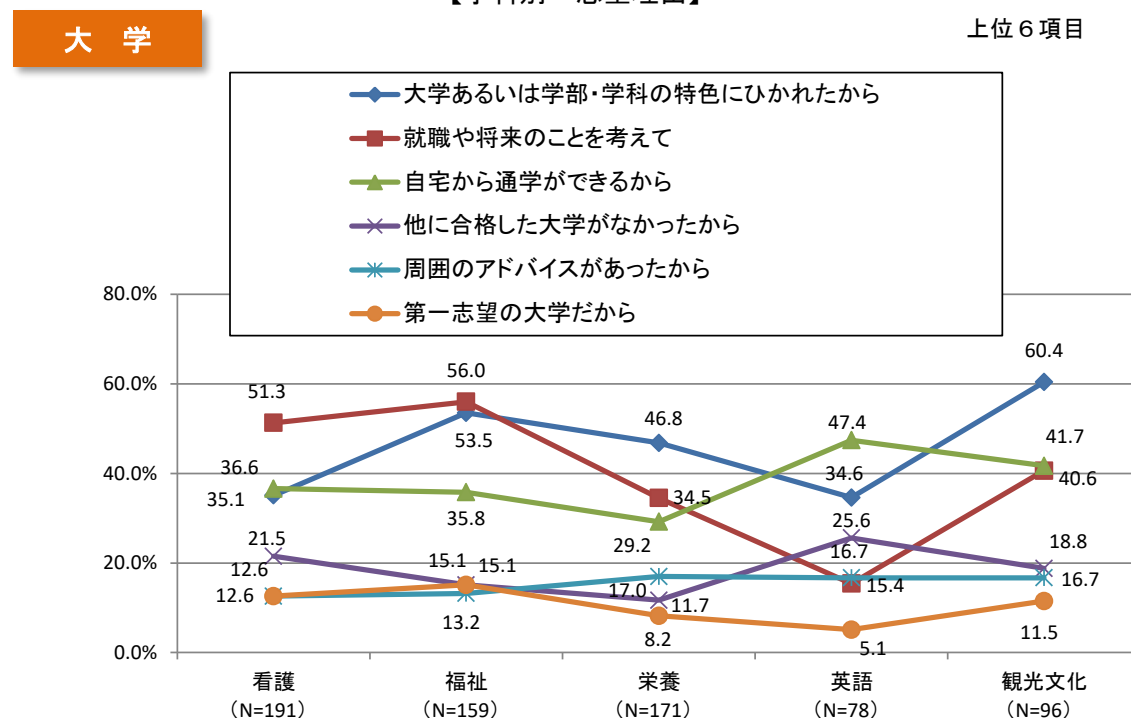


第2章 調査結果

大学の学科別に上位6項目をみると、全体で最も回答の多かった「大学あるいは学部・学科の特色にひかれたから」の割合は観光文化学科や福祉学科で高くなっている。また、看護学科や福祉学科では「就職や将来のことを考えて」を志望理由に挙げる人の割合が高くなっている。一方、英語学科では「自宅から通学ができるから」や「他に合格した大学がなかったから」とする人の割合が他の学科に比べて高く、志望理由としては消極的となっている。

短期大学部の学科別に上位6項目をみると、「就職や将来のことを考えて」とする人の割合が保育科で特に高い。

【学科別 志望理由】

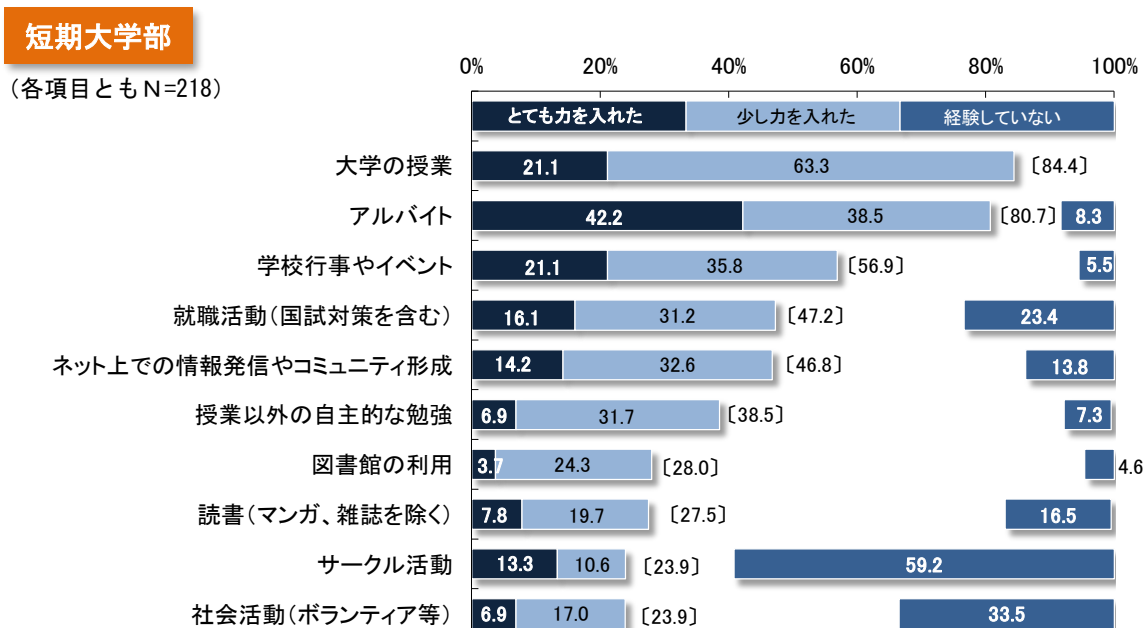
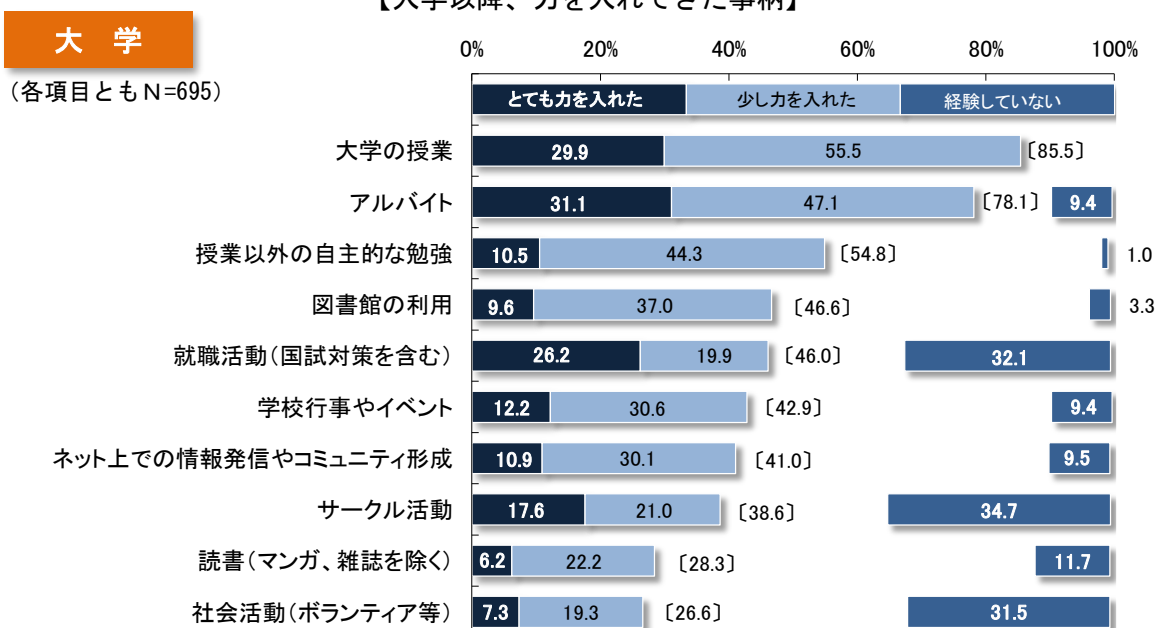


〔10〕入学以降、力を入れてきた事柄

入学以降、力を入れてきた事柄について『力を入れた』（とても力を入れた＋少し力を入れた）の割合をみると、大学、短期大学部ともに「大学の授業」（大学：85.5%、短期大学部：84.4%）の割合が最も高く、次いで「アルバイト」（大学：78.1%、短期大学部：80.7%）となっており、授業とアルバイトが学生の代表的な活動となっている。また、大学では「授業以外の自主的な勉強」（54.8%）が、短期大学部では「学校行事やイベント」（56.9%）が続いており、これらの活動が5割を超えている。

問 入学以降、次の項目について、あなたはどのくらい力を入れてきましたか。
（それぞれ1つずつ選んでください）

【入学以降、力を入れてきた事柄】



注1) 選択肢は「とても力を入れた」「少し力を入れた」「あまり力を入れなかった」「全く力を入れなかった」「経験していない」の5段階
 注2) [] は「とても力を入れた」＋「少し力を入れた」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

第2章 調査結果

大学の学科別にみると、いずれの学科も「大学の授業」「アルバイト」に力を入れる学生が多くなっているが、全体平均に比べ、看護学科では「図書館の利用」、福祉学科では「社会活動（ボランティア等）」、英語学科では「学校行事やイベント」や「社会活動（ボランティア等）」「読書（マンガ、雑誌を除く）」、観光文化学科では「学校行事やイベント」がそれぞれ10ポイント以上高くなっており、学科により時間を割く事柄に差が見られる。

また、短期大学部の生活創造学科では「図書館の利用」の割合が全体平均に比べ10ポイント以上高く、短期大学部についても生活創造学科と保育科では時間を割く事柄に差がみられる。

【学科別 入学以降、力を入れてきた事柄】（％）

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	【短期大学部全体】
全 体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
大学の授業	84.8	86.2	84.2	88.5	85.4	85.5	77.2	87.0	84.4
図書館の利用	63.9	44.7	29.8	56.4	37.5	46.6	40.4	23.6	28.0
サークル活動	27.7	42.8	39.8	46.2	44.8	38.6	12.3	28.0	23.9
授業以外の自主的な勉強	62.3	51.6	52.6	52.6	51.0	54.8	40.4	37.9	38.5
学校行事やイベント	29.3	40.9	43.9	62.8	55.2	42.9	33.3	65.2	56.9
アルバイト	67.5	81.8	81.3	80.8	85.4	78.1	78.9	81.4	80.7
社会活動(ボランティア等)	13.1	42.1	15.8	48.7	29.2	26.6	26.3	23.0	23.9
読書(マンガ、雑誌を除く)	28.3	27.0	20.5	43.6	32.3	28.3	28.1	27.3	27.5
ネット上での情報発信やコミュニティ形成	42.4	40.3	35.1	42.3	49.0	41.0	43.9	47.8	46.8
就職活動(国試対策を含む)	47.1	50.9	40.4	43.6	47.9	46.0	52.6	45.3	47.2

注1) 「とても力を入れた」+「少し力を入れた」の合計％。

注2)  は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

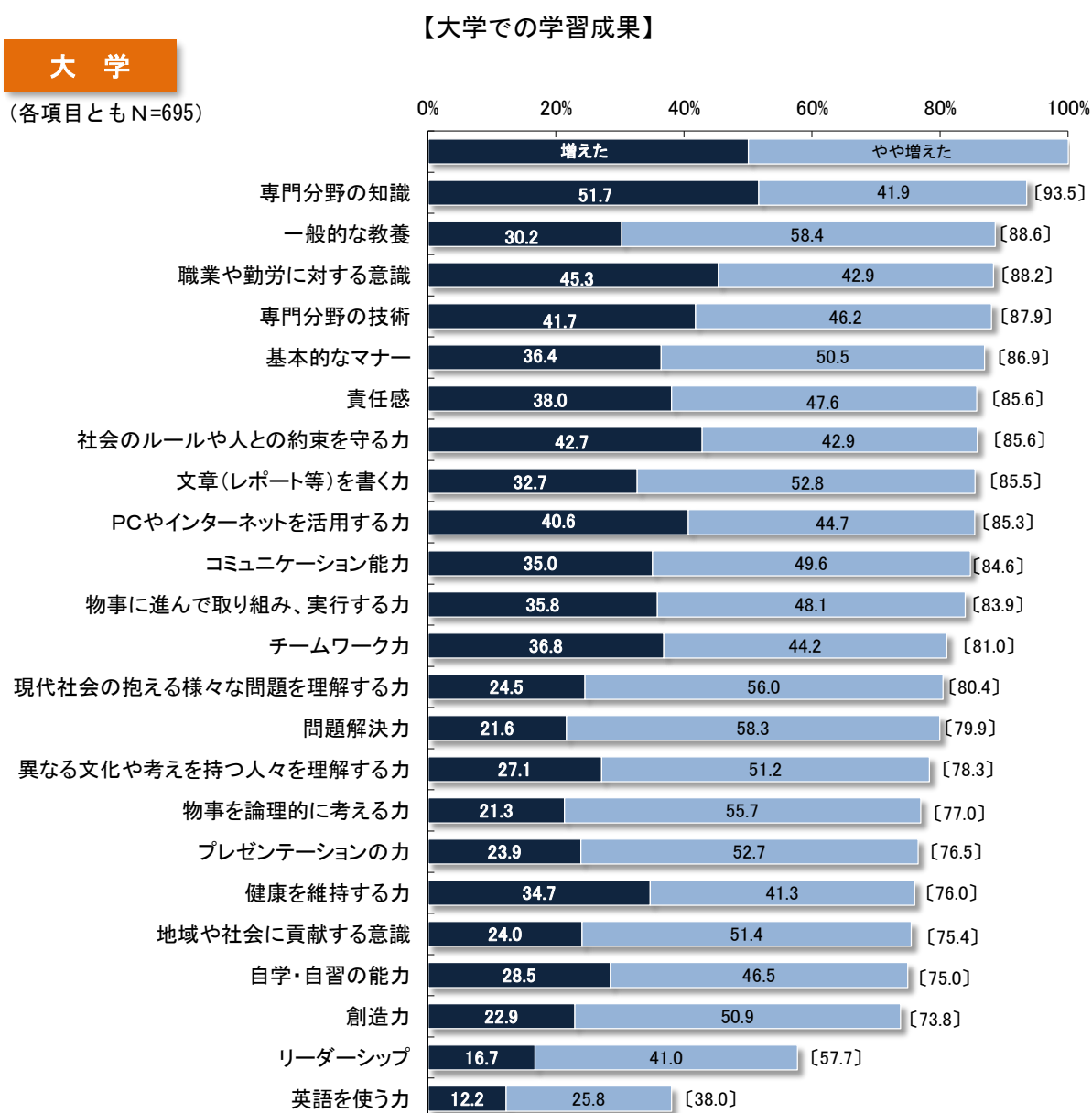
 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

〔11〕大学での学習成果

入学した時点と比べて自身の能力や知識が『増えた』（増えた＋やや増えた）と評価する人の割合をみると、大学、短期大学部ともに「専門分野の知識」（大学：93.5%、短期大学部：91.7%）が最も高くなっている。また、これに次いで大学では「一般的な教養」（88.6%）、「職業や勤労に対する意識」（88.2%）、短期大学部では「専門分野の技術」（90.8%）、「職業や勤労に対する意識」（87.6%）となっている。

また、こうした学習成果がみられる一方で、「リーダーシップ」（大学：57.7%、短期大学部：52.8%）や「英語を使う力」（大学：38.0%、短期大学部：16.1%）は比較的割合が低くなっており、入学時から変化が見られない学生も少なくない。

問 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。
（それぞれ1つずつ選んでください）



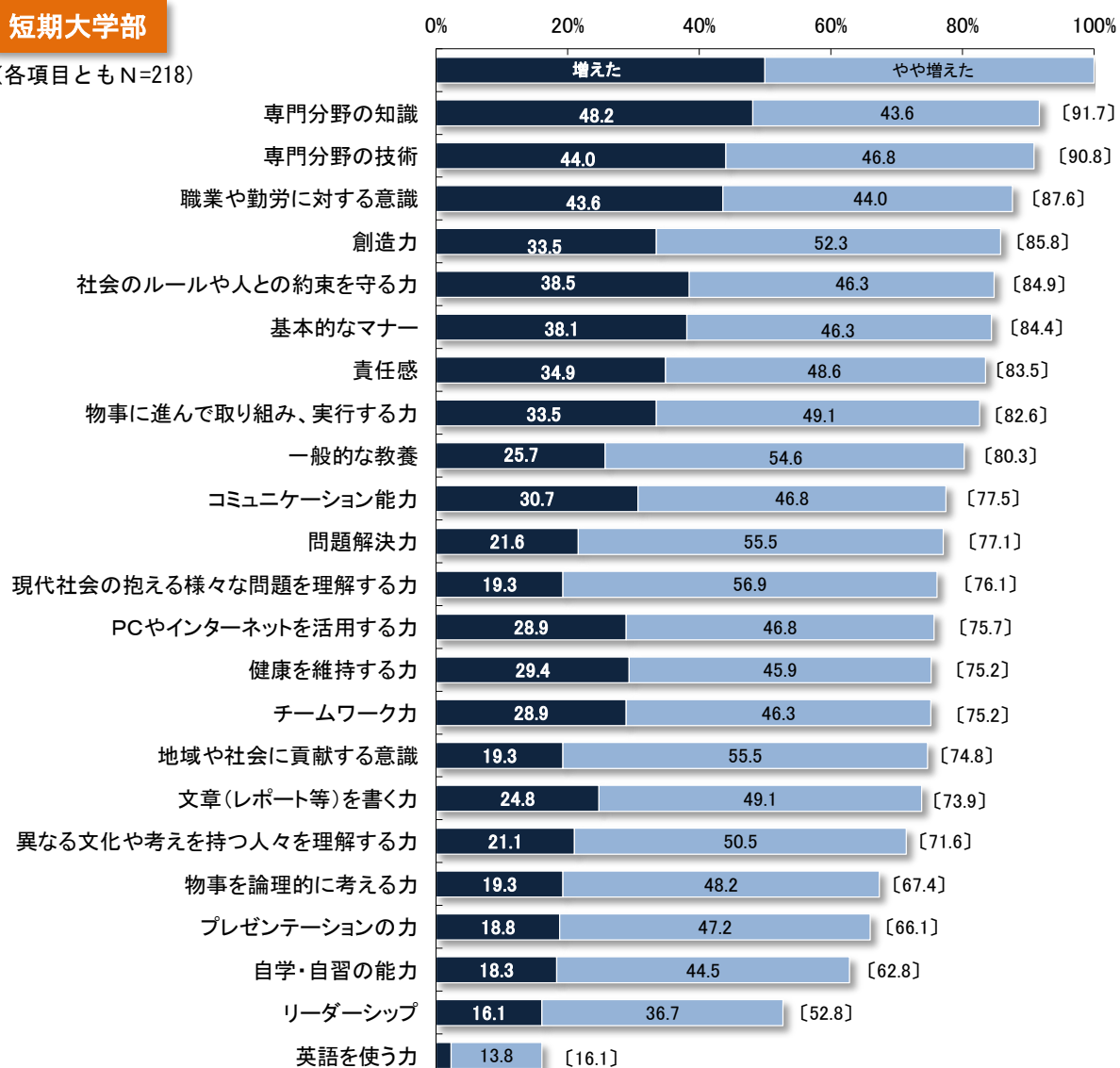
注1) 選択肢は「増えた」「やや増えた」「変化なし」「やや減った」「減った」「わからない」の6段階。

注2) [] は「増えた」＋「やや増えた」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

【大学での学習成果】

短期大学部

(各項目とも N=218)



2.3

大学の学科別にみると、看護学科では「専門分野の技術」や「物事を論理的に考える力」「自学・自習の能力」、英語学科では「異なる文化や考えを持つ人々を理解する力」や「現代社会の抱える様々な問題を理解する力」「英語を使う力」「プレゼンテーションの力」、観光文化学科では「英語を使う力」が大学全体に比べて10ポイント以上割合が高く、また、短期大学の学科別にみると、保育科は「プレゼンテーションの力」が短期大学部全体に比べて10ポイント以上割合が高くなっており、学んできたことや力を入れてきた事柄に応じた学習成果が見られる。

【学科別 大学での学習成果】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	【短期大学部全体】
全体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
一般的な教養	94.2	88.7	87.1	85.9	82.3	88.6	77.2	81.4	80.3
専門分野の知識	97.4	96.9	94.7	88.5	82.3	93.5	84.2	94.4	91.7
専門分野の技術	97.9	86.2	95.3	78.2	65.6	87.9	80.7	94.4	90.8
異なる文化や考えを持つ人々を理解する力	75.4	79.9	69.6	94.9	83.3	78.3	71.9	71.4	71.6
現代社会の抱える様々な問題を理解する力	82.7	84.3	71.9	91.0	76.0	80.4	75.4	76.4	76.1
地域や社会に貢献する意識	80.1	83.6	64.9	73.1	72.9	75.4	70.2	76.4	74.8
物事を論理的に考える力	87.4	76.1	72.5	75.6	66.7	77.0	59.6	70.2	67.4
問題解決力	89.0	79.9	78.4	78.2	65.6	79.9	70.2	79.5	77.1
責任感	92.7	84.3	81.3	82.1	84.4	85.6	71.9	87.6	83.5
創造力	82.7	70.4	71.9	66.7	70.8	73.8	80.7	87.6	85.8
職業や勤労に対する意識	93.7	86.2	86.5	83.3	87.5	88.2	77.2	91.3	87.6
健康を維持する力	84.8	73.6	76.6	71.8	64.6	76.0	64.9	78.9	75.2
社会のルールや人との約束を守る力	89.5	84.9	82.5	87.2	83.3	85.6	78.9	87.0	84.9
物事に進んで取り組み、実行する力	89.5	83.0	81.9	79.5	81.3	83.9	71.9	86.3	82.6
自学・自習の能力	87.4	65.4	81.3	65.4	62.5	75.0	59.6	64.0	62.8
PCやインターネットを活用する力	91.1	85.5	82.5	83.3	80.2	85.3	82.5	73.3	75.7
英語を使う力	25.1	19.5	26.9	93.6	68.8	38.0	22.8	13.7	16.1
文章(レポート等)を書く力	90.1	87.4	76.0	93.6	83.3	85.5	70.2	75.2	73.9
プレゼンテーションの力	78.0	81.1	67.8	92.3	68.8	76.5	35.1	77.0	66.1
コミュニケーション能力	89.5	83.6	77.8	91.0	83.3	84.6	73.7	78.9	77.5
基本的なマナー	88.5	88.7	83.6	87.2	86.5	86.9	82.5	85.1	84.4
リーダーシップ	67.5	54.1	51.5	64.1	50.0	57.7	31.6	60.2	52.8
チームワーク力	88.5	81.1	75.4	82.1	75.0	81.0	68.4	77.6	75.2

注1) 「増えた」+「やや増えた」の合計%。

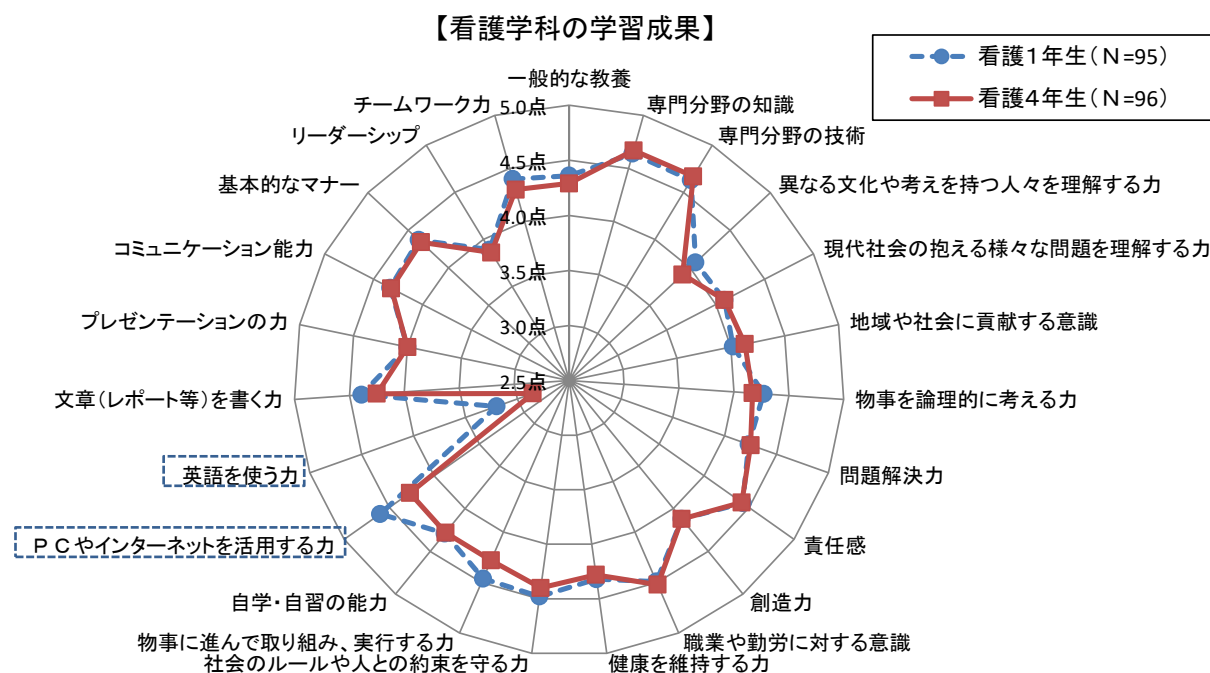
注2)  は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

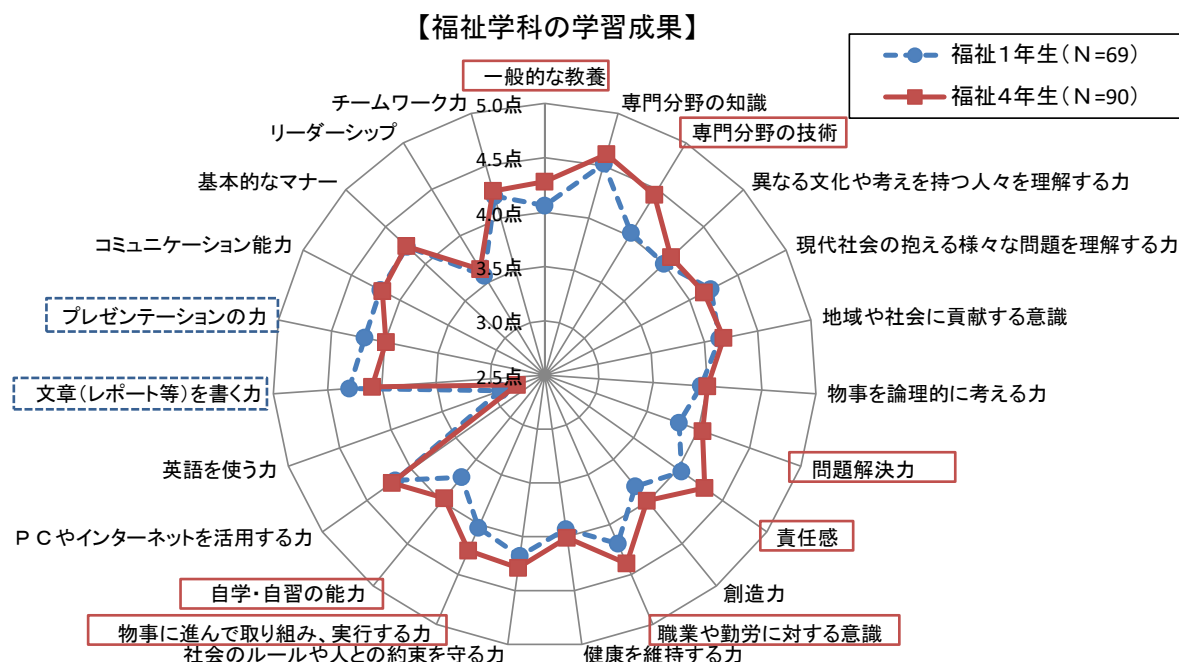
第2章 調査結果

減った=1点、やや減った=2点、変化なし=3点、やや増えた=4点、増えた=5点として配点し、学習成果の各項目の平均点を算出した。大学は1年生と4年生を比較し、1～4年を通じた各学科の教育効果の確認を行った。

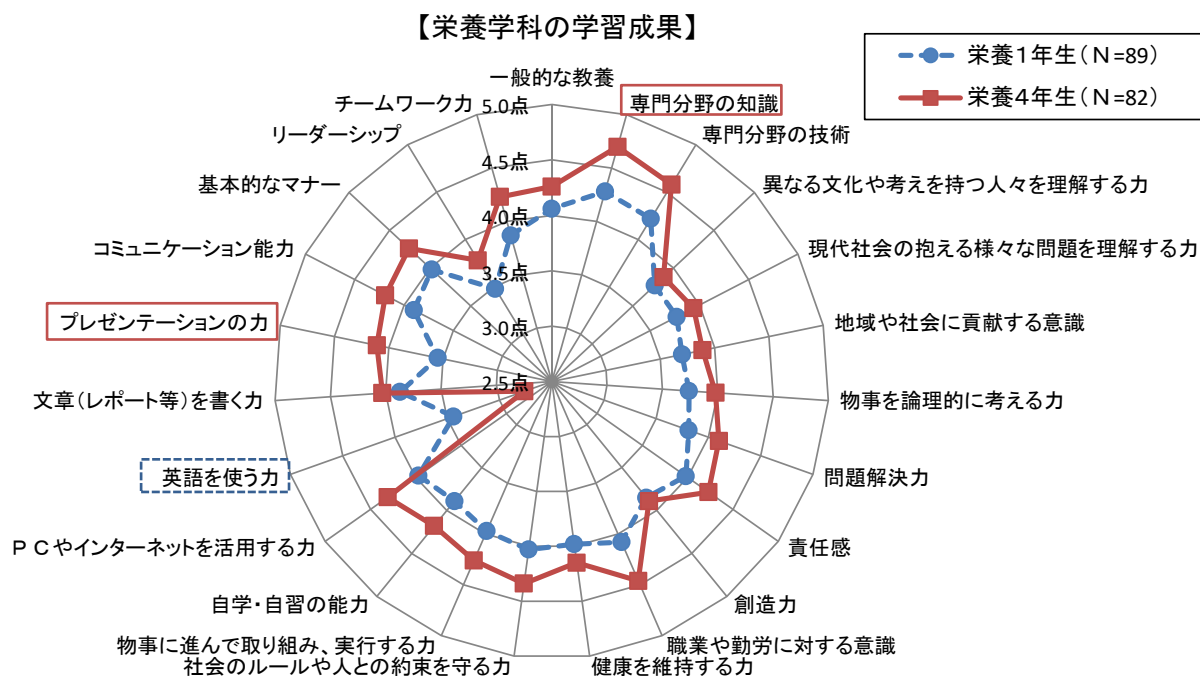
看護学科では、「PCやインターネットを活用する力」「英語を使う力」で1年生が0.3ポイント程度高く、その他の項目では1年生と4年生で大きな違いはみられない。



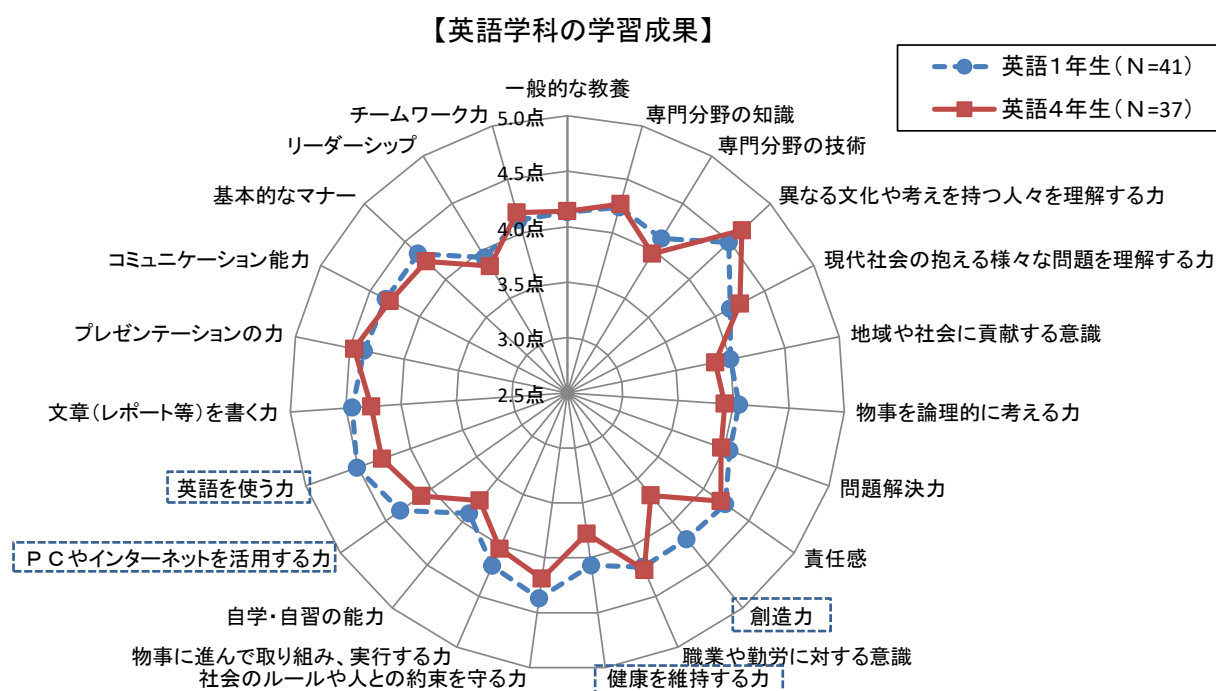
福祉学科では、「一般的な教養」や「専門分野の技術」「問題解決力」「責任感」「職業や勤労に対する意識」「物事に進んで取り組み、実行する力」「自学・自習の能力」で4年生が0.2ポイント以上高くなっている。一方「文章(レポート等)を書く力」や「プレゼンテーションの力」は1年生の方が0.2ポイント程度高い。



栄養学科では、「専門分野の知識」や「プレゼンテーションの力」で4年生が0.4ポイント以上高くなっている。一方「英語を使う力」は1年生の方が0.68ポイント高くなっている。

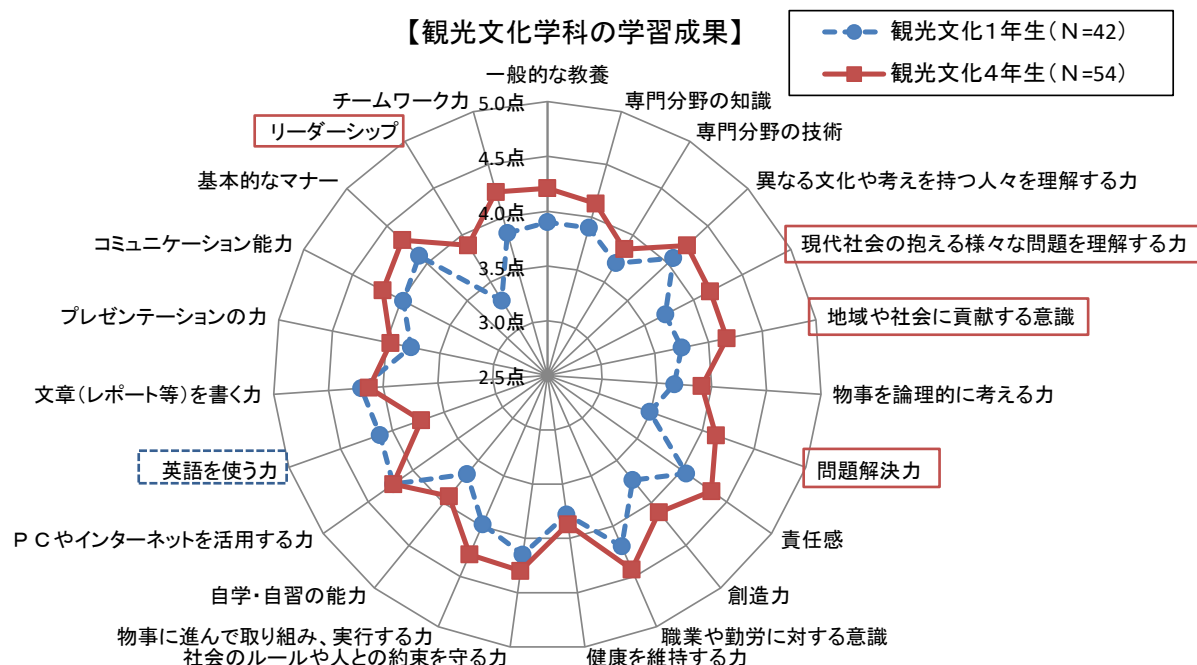


英語学科では、「創造力」で1年生が0.51ポイント高く、「健康を維持する力」や「P Cやインターネットを活用する力」「英語を使う力」でも1年生が0.23～0.29ポイント高くなっている。



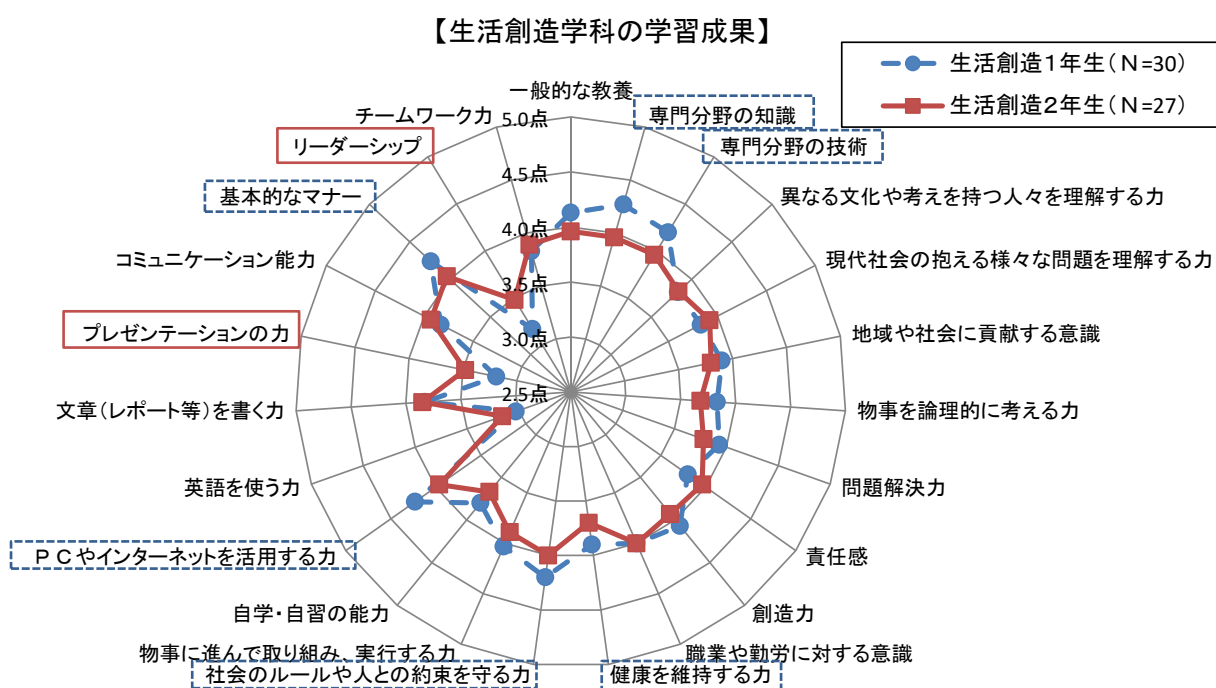
第2章 調査結果

観光文化学科では、「現代社会の抱える様々な問題を理解する力」「地域や社会に貢献する意識」「問題解決力」「リーダーシップ」で4年生が0.4ポイント以上高くなっている。一方「英語を使う力」は1年生の方が0.4ポイント高くなっている。



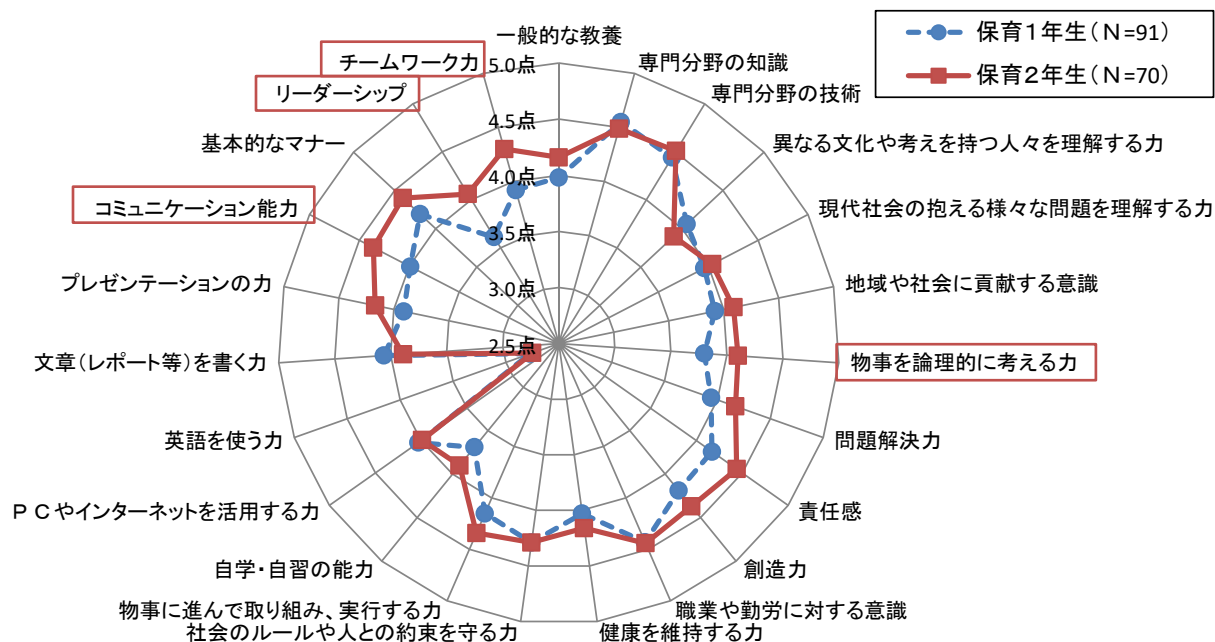
短期大学部の各学科についても同様に1年生と2年生を比較し、1～2年を通じた教育効果の確認を行った。

生活創造学科では、「プレゼンテーションの力」や「リーダーシップ」で2年生が0.3ポイント程度高くなっている。一方「専門分野の知識」や「専門分野の技術」「健康を維持する力」「社会のルールや人との約束を守る力」「PCやインターネットを活用する力」「基本的なマナー」は1年生の方が0.2ポイント以上高くなっている。



保育科では、「物事を論理的に考える力」や「コミュニケーション能力」「リーダーシップ」「チームワーク力」で2年生が0.3ポイント以上高くなっている。

【保育科の学習成果】



〔12〕1週間の生活時間

1週間の生活時間（項目ごとの1週間に費やす平均時間）について、1週間に6時間以上費やしている割合をみると、大学、短期大学部ともに「授業への出席」（大学：58.6%、短期大学部：88.1%）や「アルバイト」（大学：55.4%、短期大学部：65.6%）、「携帯電話の使用」（大学：53.1%、短期大学部：68.3%）が上位にあがっている。

一方、大学、短期大学部ともに「授業以外での教員との会話」や「ボランティア活動」「サークル活動」「読書（マンガ、雑誌を除く）」については1時間未満（0時間+1時間未満）が7～9割弱と多く、これらに費やす時間が特に短くなっている。

問 あなたは普段、次のことに1週間に平均どれくらいの時間を費やしていますか。
（それぞれ1つつつ選んでください）

【1週間の生活時間】（%）

	0時間	1時間未満	1時間2時間	3時間5時間	6時間10時間	11時間15時間	16時間20時間	21時間以上	無回答	間1時間未満（0時間+1時間未満）	6時間以上	平均時間（時間）
大学 (各項目とも N=695)												
勉強や課題	1.3	12.8	29.6	26.0	15.1	4.2	3.2	6.8	1.0	14.1	29.2	5.35
授業への出席	4.2	2.2	13.5	19.7	11.9	7.3	7.3	31.9	1.9	6.3	58.6	11.15
授業以外での教員との会話	14.0	61.3	15.8	4.2	1.6	0.3	0.4	0.9	1.6	75.3	3.2	1.15
友人との交際	0.9	6.5	17.4	25.9	21.9	7.2	4.9	14.4	1.0	7.3	48.3	8.00
趣味	4.6	18.1	27.6	21.0	14.7	6.3	2.3	4.2	1.2	22.7	27.5	4.69
ボランティア活動	69.8	16.8	7.5	2.6	1.6	0.4	0.1	0.1	1.0	86.6	2.3	0.54
サークル活動	57.8	10.5	12.9	9.2	3.3	2.2	1.2	2.0	0.9	68.3	8.6	1.81
アルバイト	22.4	2.0	4.5	15.0	21.3	14.5	9.2	10.4	0.7	24.5	55.4	8.16
テレビ視聴・音楽鑑賞	1.7	11.2	25.0	23.5	17.6	9.5	5.6	5.2	0.7	12.9	37.8	6.15
家事手伝い	9.4	23.2	27.3	15.8	12.4	3.9	1.6	5.3	1.2	32.5	23.2	4.10
読書（マンガ、雑誌を除く）	41.0	31.5	13.8	7.3	3.9	0.9	0.4	0.3	0.9	72.5	5.5	1.23
携帯電話の使用	0.3	3.7	17.7	24.6	19.1	12.2	6.6	15.1	0.6	4.0	53.1	8.80
ネット上での友人との交流	14.0	25.8	21.4	13.8	11.2	4.6	2.9	5.2	1.2	39.7	23.9	4.15

	0時間	1時間未満	1時間2時間	3時間5時間	6時間10時間	11時間15時間	16時間20時間	21時間以上	無回答	間1時間未満（0時間+1時間未満）	6時間以上	平均時間（時間）
短期大学部 (各項目とも N=218)												
勉強や課題	9.6	35.3	35.8	13.3	4.6	0.9	-	-	0.5	45.0	5.5	1.74
授業への出席	1.4	1.4	1.4	6.4	15.6	6.9	11.9	53.7	1.4	2.8	88.1	16.07
授業以外での教員との会話	12.8	53.7	20.2	6.9	2.8	0.9	-	2.3	0.5	66.5	6.0	1.68
友人との交際	1.4	5.5	9.2	21.6	22.0	11.5	7.8	19.7	1.4	6.9	61.0	9.96
趣味	3.2	18.8	21.6	22.9	14.7	8.3	3.2	5.5	1.8	22.0	31.7	5.42
ボランティア活動	74.3	14.2	4.6	3.7	1.8	0.9	-	-	0.5	88.5	2.8	0.56
サークル活動	72.0	7.8	6.4	4.6	5.5	1.4	1.4	0.9	-	79.8	9.2	1.38
アルバイト	17.0	1.4	3.7	12.4	17.9	20.2	15.1	12.4	-	18.3	65.6	9.94
テレビ視聴・音楽鑑賞	1.8	6.0	18.3	22.5	24.3	10.6	7.3	7.8	1.4	7.8	50.0	7.58
家事手伝い	7.3	36.7	21.6	13.3	10.1	3.7	0.9	6.4	-	44.0	21.1	3.84
読書（マンガ、雑誌を除く）	50.9	30.7	7.3	5.5	4.6	0.5	0.5	-	-	81.7	5.5	0.99
携帯電話の使用	0.5	1.8	10.1	19.3	16.5	13.8	7.8	30.3	-	2.3	68.3	11.80
ネット上での友人との交流	17.4	17.0	17.9	15.1	10.6	3.7	5.0	13.3	-	34.4	32.6	5.98

普段、1週間の生活時間で費やす時間が6時間以上の上位項目に着目すると、大学では「授業への出席」は栄養学科で最も高く、「携帯電話の使用」や「アルバイト」は観光文化学科で最も高くなっている。また、短期大学部では「携帯電話の使用」は生活創造学科で保育科に比べて割合が高くなっている。

1時間未満（0時間+1時間未満）の項目をみると、看護学科は「ボランティア活動」や「サークル活動」「読書（マンガ、雑誌を除く）」等にほとんど時間を費やしていない結果となった。

【学科別 1週間の生活時間】（%）

6時間以上の割合	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	【短期大学部全体】
全体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
勉強や課題	52.9	23.3	23.4	16.7	12.5	29.2	8.8	4.3	5.5
授業への出席	59.7	49.7	73.7	50.0	51.0	58.6	77.2	91.9	88.1
授業以外での教員との会話	3.7	1.3	1.2	11.5	2.1	3.2	7.0	5.6	6.0
友人との交際	48.7	52.8	42.1	34.6	62.5	48.3	57.9	62.1	61.0
趣味	26.2	23.9	22.8	35.9	37.5	27.5	36.8	29.8	31.7
ボランティア活動	0.5	1.9	1.2	10.3	2.1	2.3	3.5	2.5	2.8
サークル活動	4.7	8.8	8.2	11.5	14.6	8.6	5.3	10.6	9.2
アルバイト	48.7	53.5	53.8	57.7	72.9	55.4	68.4	64.6	65.6
テレビ視聴・音楽鑑賞	40.3	34.6	33.9	38.5	44.8	37.8	52.6	49.1	50.0
家事手伝い	18.8	26.4	25.1	23.1	22.9	23.2	17.5	22.4	21.1
読書（マンガ、雑誌を除く）	6.8	8.2	1.8	7.7	3.1	5.5	3.5	6.2	5.5
携帯電話の使用	49.7	61.0	42.7	51.3	66.7	53.1	78.9	64.6	68.3
ネット上での友人との交流	22.0	26.4	18.7	29.5	28.1	23.9	35.1	31.7	32.6

1時間未満 (0時間+1時間未満) の割合	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	【短期大学部全体】
全体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
勉強や課題	6.3	19.5	16.4	11.5	18.8	14.1	35.1	48.4	45.0
授業への出席	14.7	3.1	0.6	5.1	6.3	6.3	3.5	2.5	2.8
授業以外での教員との会話	78.5	72.3	77.8	62.8	79.2	75.3	70.2	65.2	66.5
友人との交際	7.9	7.5	8.8	6.4	4.2	7.3	5.3	7.5	6.9
趣味	24.6	22.6	25.7	17.9	17.7	22.7	24.6	21.1	22.0
ボランティア活動	93.7	83.6	90.1	67.9	86.5	86.6	86.0	89.4	88.5
サークル活動	78.0	66.0	67.8	60.3	60.4	68.3	82.5	78.9	79.8
アルバイト	30.4	22.6	27.5	21.8	12.5	24.5	17.5	18.6	18.3
テレビ視聴・音楽鑑賞	14.1	10.1	14.6	14.1	11.5	12.9	10.5	6.8	7.8
家事手伝い	36.6	31.4	27.5	38.5	30.2	32.5	33.3	47.8	44.0
読書（マンガ、雑誌を除く）	77.5	74.8	76.6	56.4	64.6	72.5	86.0	80.1	81.7
携帯電話の使用	4.2	2.5	5.3	5.1	3.1	4.0	-	3.1	2.3
ネット上での友人との交流	44.0	36.5	49.1	30.8	27.1	39.7	42.1	31.7	34.4

注)  は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

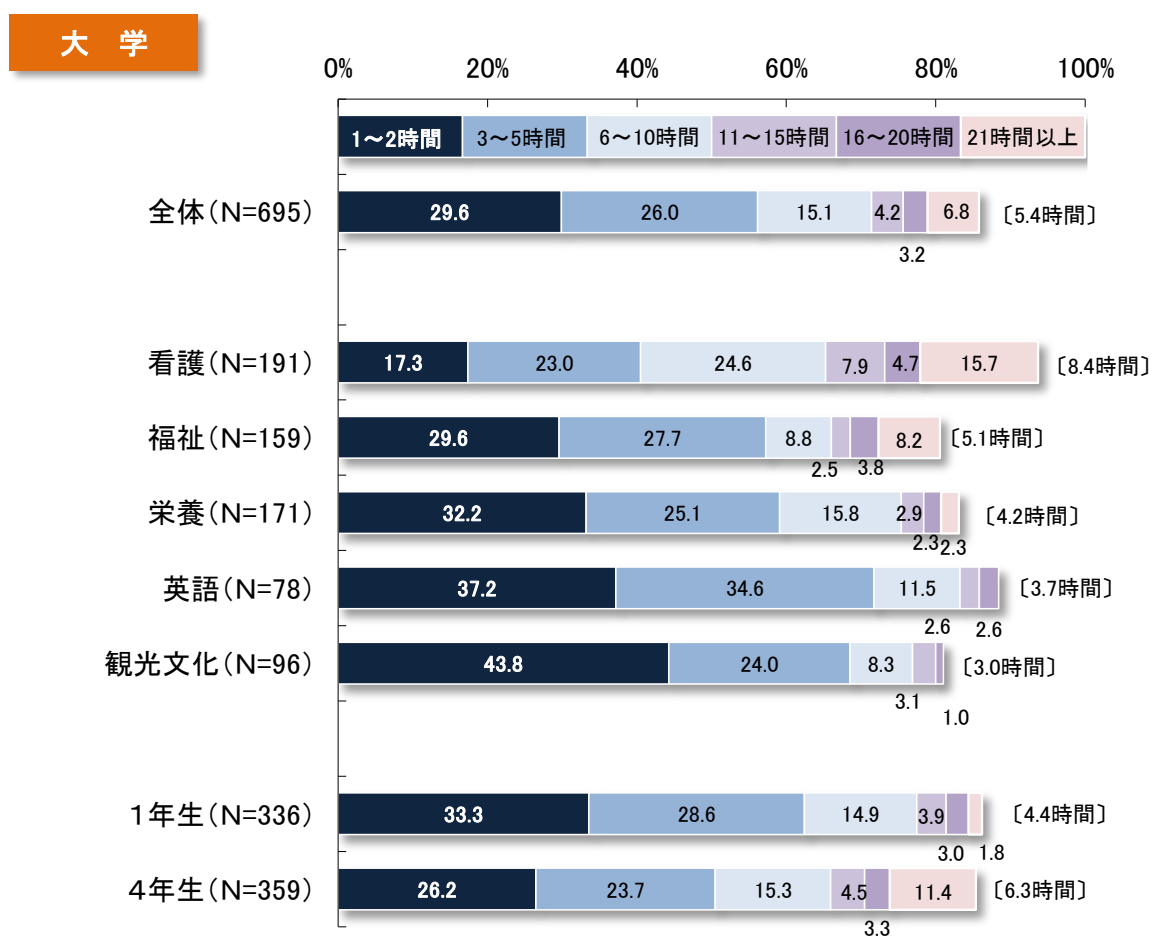
第2章 調査結果

1週間のうち『勉強や課題』にかかる時間は、大学全体では「1～2時間」が29.6%で最も多く、次いで「3～5時間」(26.0%)、「6～10時間」(15.1%)となっており、平均は5.4時間である。

学科別に平均時間をみると、看護学科で最も長く8.4時間となっており、次いで福祉学科で5.1時間、栄養学科で4.2時間となっている。

学年別に平均時間をみると、大学の1年生より4年生の方が勉強や課題に費やす時間は長く、大学4年生で平均6.3時間となっている。

【学科・学年別 「勉強や課題」にかかる時間（週1時間以上）】



注1) [] は平均時間

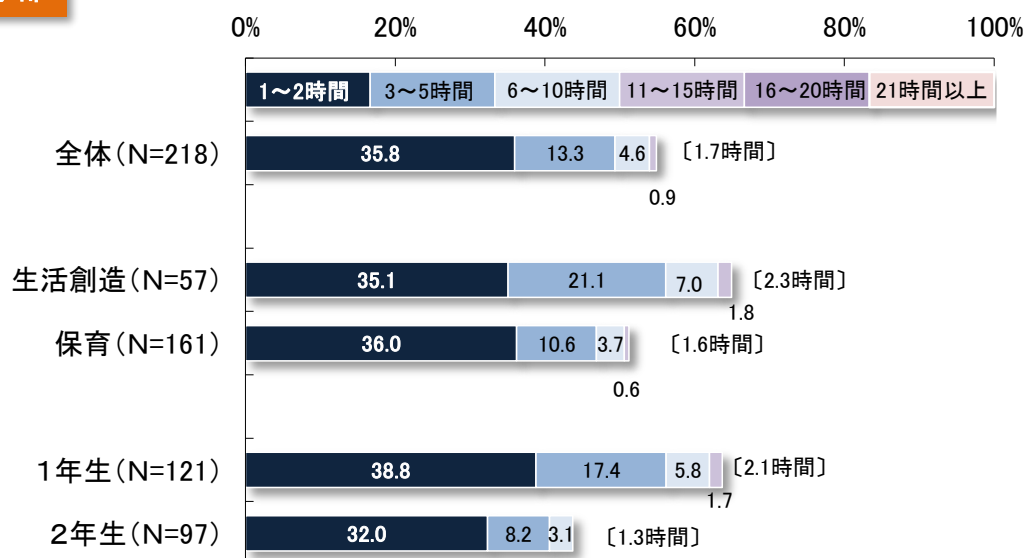
短期大学部全体では「1～2 時間」が 35.8%で最も多く、次いで「3～5 時間」(13.3%)、「6～10 時間」(4.6%) となっており、平均は 1.7 時間である。

学科別に平均時間をみると、生活創造学科の方が保育科より勉強や課題に費やす時間は長くなっている。

学年別に平均時間をみると、短期大学部の 2 年生より 1 年生の方が勉強や課題に費やす時間は長くなっている。

【学科・学年別 「勉強や課題」にかける時間（週 1 時間以上）】

短期大学部



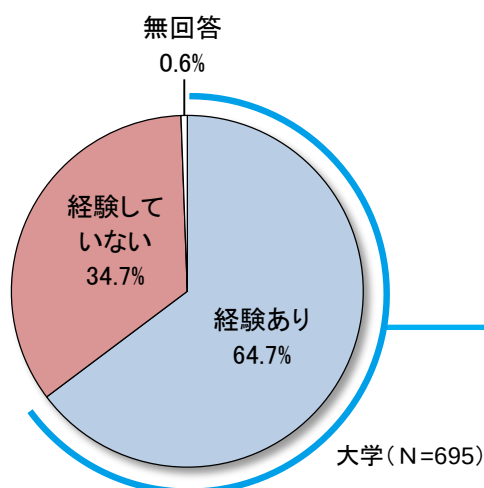
注 1) [] は平均時間

第2章 調査結果

大学におけるサークル活動の経験者は64.7%であり、そのうち1週間あたりの活動時間は「0時間」(38.7%)が最も多く、次いで「1～2時間」(19.6%)、「1時間未満」(15.6%)、「3～5時間」(13.3%)となっている。平均活動時間は2.57時間。

大学

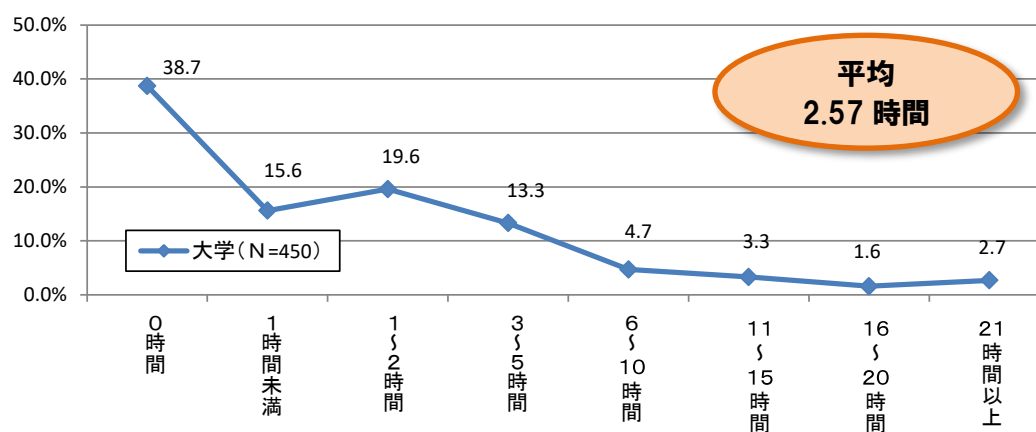
【サークル活動の有無】



注1) 共通調査「〔5〕入学以降、力を入れてきた事柄」-「3.サークル活動」

注2) 経験あり=「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【サークル活動経験者の1週間あたりの活動時間】

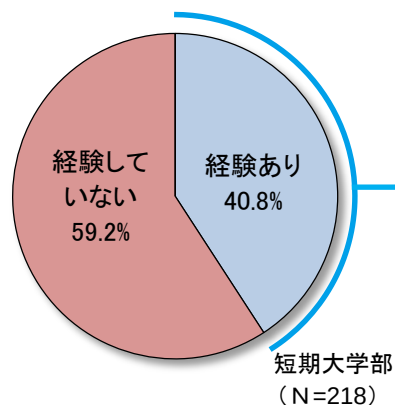


短期大学部のサークル活動の経験者は40.8%である。

1週間あたりの活動時間は「0時間」(37.1%)が最も多く、次いで「1時間未満」(18.0%)、「1～2時間」(14.6%)、「6～10時間」(11.2%)となっている。平均時間は大学より長く3.13時間である。

短期大学部

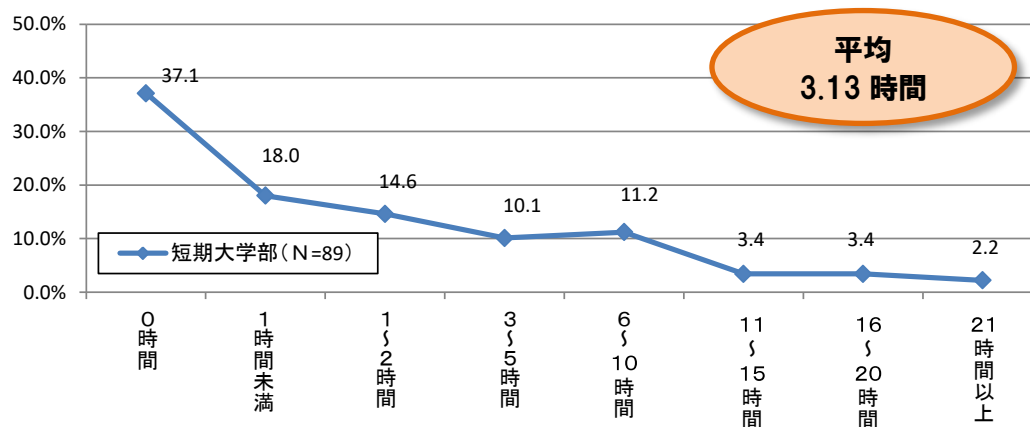
【サークル活動の有無】



注1) 共通調査「[5] 入学以降、力を入れてきた事柄」-「3. サークル活動の有無」

注2) 経験あり＝「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【サークル活動経験者の1週間あたりの活動時間】

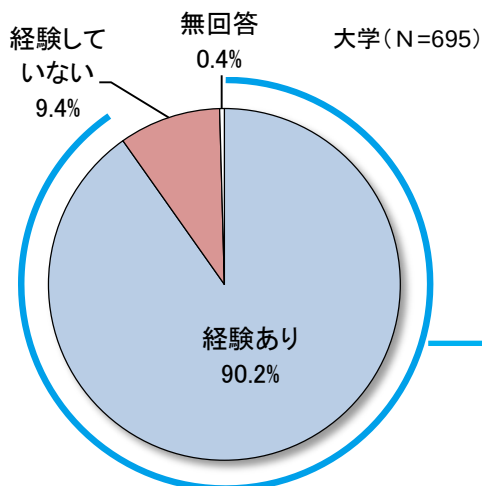


大学のアルバイトの経験者は90.2%である。

1週間あたりの活動時間は「6～10時間」(23.6%)が最も多く、次いで「3～5時間」(16.6%)、「11～15時間」(16.1%)であり、平均活動時間は9.01時間となっている。

大 学

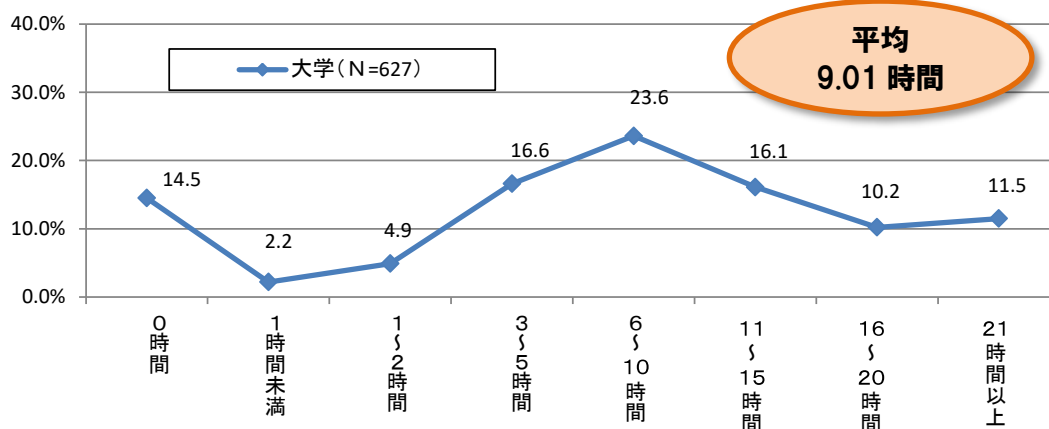
【アルバイトの有無】



注1) 共通調査の「[5] 入学以降、力を入れてきた事柄」-「6. アルバイト」

注2) 経験あり=「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【アルバイト経験者の1週間あたりの活動時間】

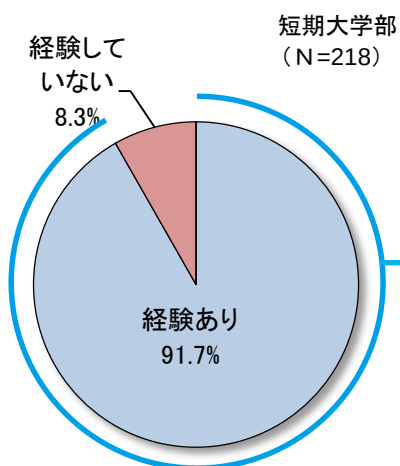


短期大学部のアルバイトの経験者は91.7%である。

1週間あたりの活動時間は「11～15時間」(22.0%)が最も多く、次いで「6～10時間」(19.5%)、「16～20時間」(16.5%)となっている。平均時間は10.83時間であり、大学よりもアルバイト時間は長くなっている。

短期大学部

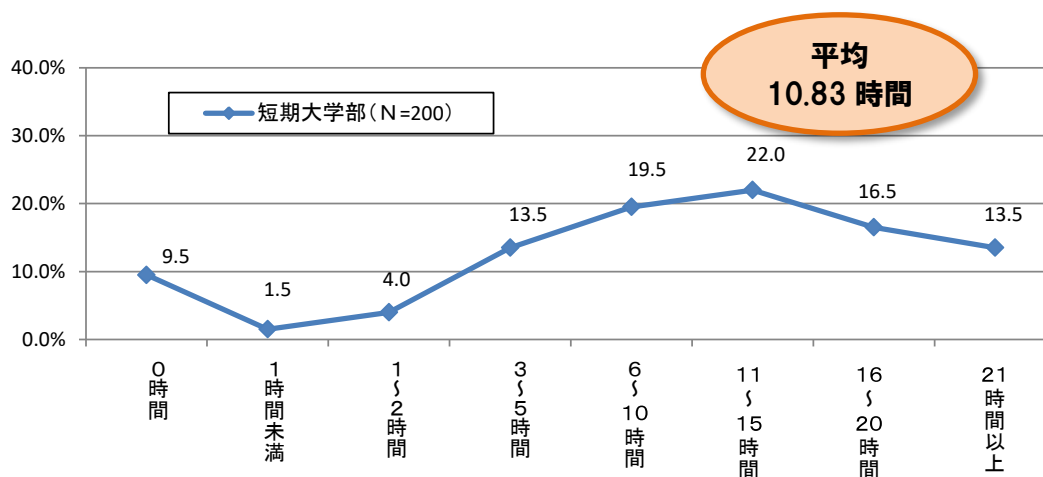
【アルバイトの有無】



注1) 共通調査の「[5] 入学以降、力を入れてきた事柄」-「6. アルバイト」

注2) 経験あり=「力を入れた」～「全く力を入れなかった」

【アルバイト経験者の1週間あたりの活動時間】



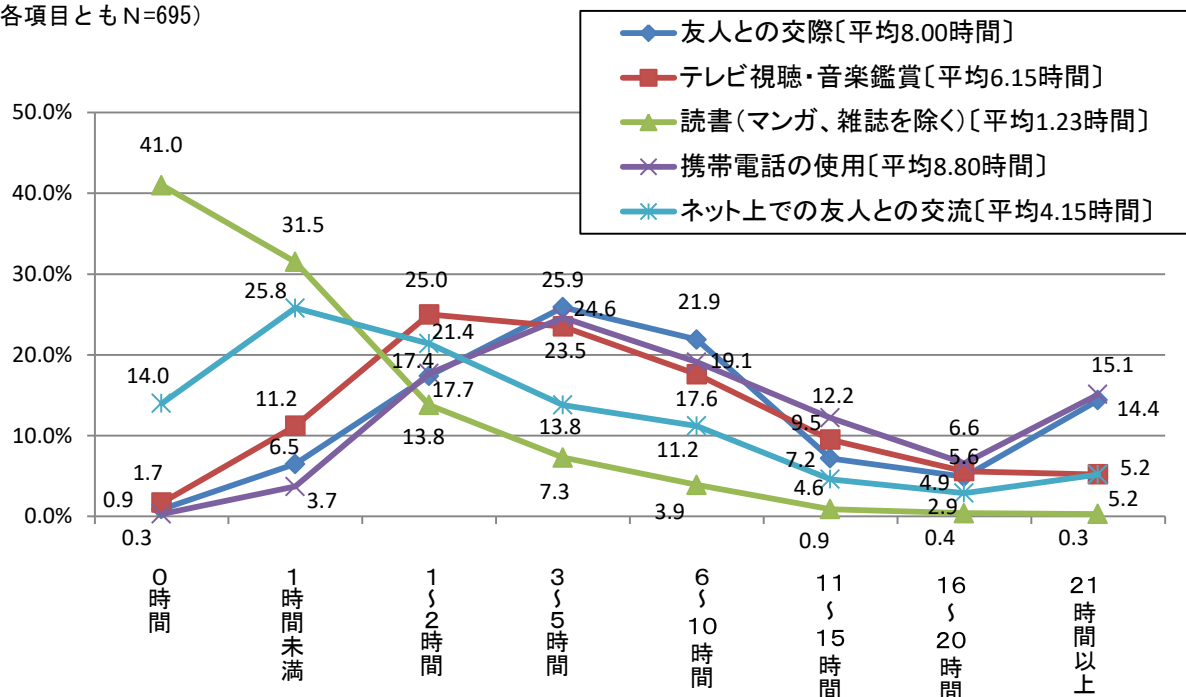
第2章 調査結果

1週間あたりの余暇時間の過ごし方については、『友人との交際』（大学：平均 8.00 時間、短期大学部：平均 9.96 時間）や『携帯電話の使用』（大学：平均 8.80 時間、短期大学部：11.8 時間）に費やす時間が長く、『読書（マンガ、雑誌を除く）』（大学：平均 1.23 時間、短期大学部：平均 0.99 時間）に費やす時間は 1 時間程度となっている。

【1週間あたりの余暇時間の過ごし方】

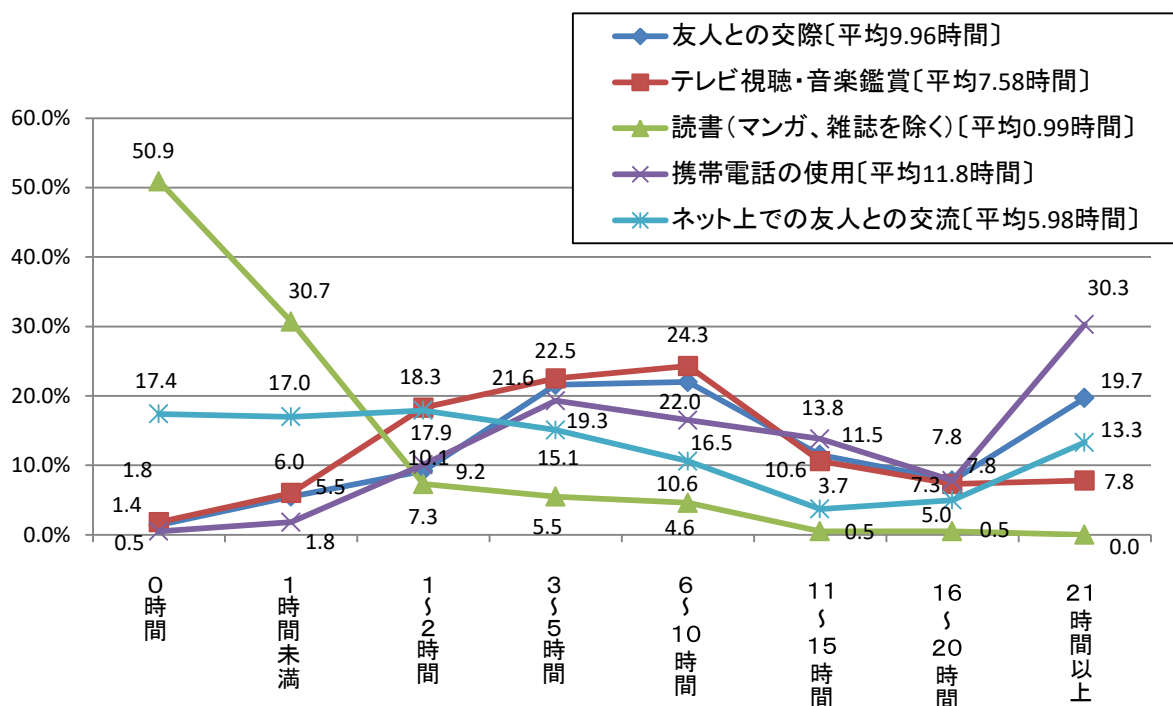
大学

(各項目とも N=695)



短期大学部

(各項目とも N=218)



〔13〕1週間の通学頻度・授業への出席状況・大学で過ごす時間数

1週間の通学頻度は、大学、短期大学部ともに「ほぼ毎日」が最も多く、大学で65.2%、短期大学部では87.6%を占める。また、短期大学部ではこれに続く「週に3、4日」(10.1%)で全体の97.7%を占め、ほとんどの学生が毎日又は週に3日以上通学となっている。一方、大学では通学頻度が少なくなる4年生を含むため、「週に1、2日」(19.0%)、「ほとんど来ていない」(3.7%)とする学生が約4人に1人の割合で出現する。

学科別にみると、「ほぼ毎日」通学する学生は看護学科(71.2%)や栄養学科(85.4%)、保育科(97.5%)で比較的高く、通学頻度が多くなっている。一方、英語学科や観光文化学科では「ほぼ毎日」は4~5割程度にとどまり、「週に1、2日」の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。

学年別にみると、大学1年生のうちほとんどの学生が毎日通学するのに対し、大学4年生では「ほぼ毎日」通学してくる学生が4割弱(35.7%)にとどまり、「週に1、2日」が4割弱(36.8%)を占めるようになる。短期大学部についても、1年生のうちほとんどの学生が毎日通学するのに対し、2年生になると毎日通学する学生が8割弱に減少する。

授業への出席状況は、大学、短期大学部ともに平均9割程度の出席(大学:9.00割、短期大学部:8.86割)となっている。

しかし、学科別にみると出席率にばらつきがみられ、看護学科では平均9.51割であるのに対し、栄養学科や観光文化学科では8割台半ばにとどまっており、他の学科に比べて出席率が低くなっている。

学年別にみると、大学では4年生より1年生の方が出席率が高く、短期大学部では1年生より2年生の方が出席率が高い傾向にある。

1日のうち大学で過ごす平均時間は、大学全体では平均6.56時間、短期大学部全体では平均7.71時間となっている。

学科別にみると、看護学科や栄養学科、保育科では大学で過ごす平均時間全体よりも長くなっている。

学年別にみると、1年生より4年生(2年生)の方が平均時間は少なくなり、大学4年生では5.43時間、短期大学部の2年生では6.58時間となっている。

第2章 調査結果

問 あなたは今期（2016年度後期）の平日、1週間に何日くらい大学にきていますか。
（1つだけ選んでください）

問 あなたは今期（2016年度後期）、履修登録した授業の何割程度、出席していますか。

問 大学にきた日は、授業や自主的な学習、サークル活動、友人とのおしゃべりなどすべて含めて、平均何時間くらい大学に滞在しますか。

【大学・短大別、学科別、学年別 1週間の通学頻度・授業への出席状況、大学で過ごす平均時間】（%）

	1週間の通学頻度					授業への出席状況 (平均値)	大学で過ごす平均時間
	ほぼ毎日	日週に3、4	日週に1、2	ほとんどないど来	無回答		
【大学 計】(N=695)	65.2	10.9	19.0	3.7	1.2	9.00割	6.56時間
【看護 計】(N=191)	71.2	8.4	14.7	5.2	0.5	9.51割	7.98時間
看護1年生(N=95)	98.9	1.1	-	-	-	9.35割	9.06時間
看護4年生(N=96)	43.8	15.6	29.2	10.4	1.0	9.67割	6.86時間
【福祉 計】(N=159)	58.5	18.2	21.4	1.3	0.6	9.11割	6.30時間
福祉1年生(N=69)	98.6	1.4	-	-	-	9.20割	7.70時間
福祉4年生(N=90)	27.8	31.1	37.8	2.2	1.1	9.03割	5.22時間
【栄養 計】(N=171)	85.4	8.8	4.1	-	1.8	8.63割	6.87時間
栄養1年生(N=89)	97.8	1.1	-	-	1.1	8.94割	7.30時間
栄養4年生(N=82)	72.0	17.1	8.5	-	2.4	8.28割	6.39時間
【英語 計】(N=78)	51.3	10.3	34.6	2.6	1.3	8.92割	5.56時間
英語1年生(N=41)	92.7	4.9	-	-	2.4	9.06割	7.21時間
英語4年生(N=37)	5.4	16.2	73.0	5.4	-	8.77割	3.74時間
【観光文化 計】(N=96)	39.6	8.3	37.5	12.5	2.1	8.54割	4.45時間
観光文化1年生(N=42)	90.5	7.1	-	-	2.4	8.46割	6.33時間
観光文化4年生(N=54)	-	9.3	66.7	22.2	1.9	8.59割	3.04時間
【短期大学部 計】(N=218)	87.6	10.1	2.3	-	-	8.86割	7.71時間
【生活創造 計】(N=57)	59.6	33.3	7.0	-	-	8.85割	6.37時間
生活創造1年生(N=30)	93.3	6.7	-	-	-	8.70割	7.57時間
生活創造2年生(N=27)	22.2	63.0	14.8	-	-	9.00割	5.07時間
【保育 計】(N=161)	97.5	1.9	0.6	-	-	8.86割	8.18時間
保育1年生(N=91)	96.7	2.2	1.1	-	-	8.79割	8.94時間
保育2年生(N=70)	98.6	1.4	-	-	-	8.94割	7.17時間

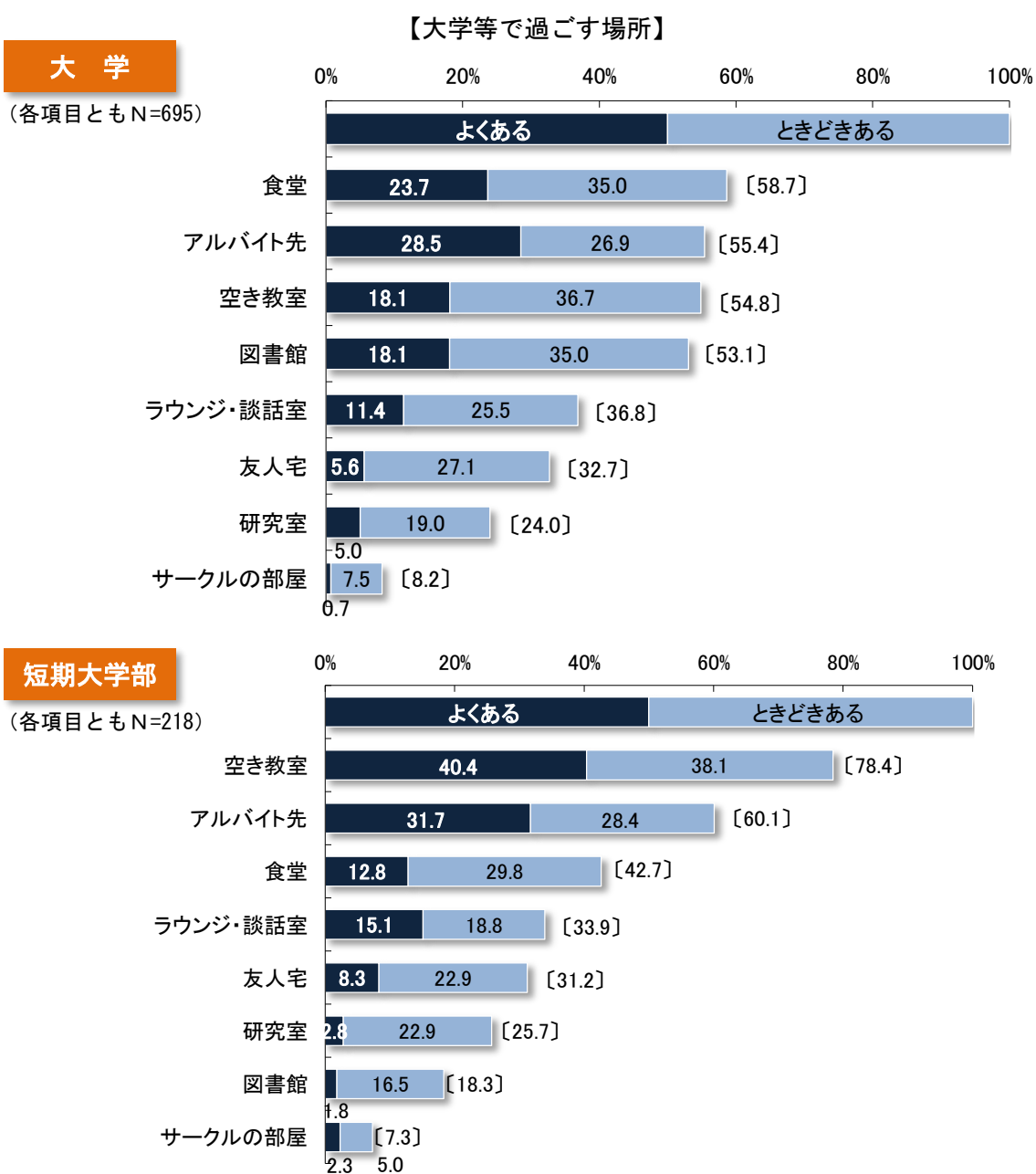
	1週間の通学頻度					授業への出席状況 (平均値)	大学で過ごす平均時間
	ほぼ毎日	日週に3、4	日週に1、2	ほとんどないど来	無回答		
【大学 計】(N=695)	65.2	10.9	19.0	3.7	1.2	9.00割	6.56時間
大学1年生(N=336)	96.7	2.4	-	-	0.9	9.07割	7.76時間
大学4年生(N=359)	35.7	18.9	36.8	7.2	1.4	8.93割	5.43時間
【短期大学部 計】(N=218)	87.6	10.1	2.3	-	-	8.86割	7.71時間
短大1年生(N=121)	95.9	3.3	0.8	-	-	8.77割	8.61時間
短大2年生(N=97)	77.3	18.6	4.1	-	-	8.96割	6.58時間

〔14〕大学等で過ごす場所

大学等で過ごす場所について、『ある』（よくある+ときどきある）の割合をみると、大学は「食堂」（58.7%）や「アルバイト先」（55.4%）、「空き教室」（54.8%）「図書館」（53.1%）がそれぞれ半数強を占めて上位にあがっている。

短期大学部では「空き教室」が8割弱（78.4%）を占めて最も多く、次いで「アルバイト先」（60.1%）、「食堂」（42.7%）となっている。

問 あなたは普段、次のような場所で過ごすことがどのくらいありますか。
（それぞれ1つずつ選んでください）



注1) 選択肢は「よくある」「ときどきある」「あまりない」「ほとんどない」の4段階

注2) [] は「よくある」+「ときどきある」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第2位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

第2章 調査結果

大学の学科別にみると、看護学科は「図書館」、栄養学科は「食堂」、英語学科は「研究室」や「ラウンジ・談話室」、観光文化学科は「アルバイト先」が大学全体に比べて10ポイント以上割合が高くなっている。

学年別にみると、大学・短期大学部はともに1年生は「食堂」、4年生・2年生は「研究室」の割合が全体に比べて10ポイント以上高くなり、学年によって過ごす場所が変化する様子が見えてくる。

【学科別 大学等で過ごす場所】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	全体【短期大学部】
全体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
研究室	14.1	30.2	19.9	35.9	31.3	24.0	10.5	31.1	25.7
図書館	73.3	54.1	41.5	46.2	37.5	53.1	24.6	16.1	18.3
空き教室	59.2	54.1	58.5	50.0	44.8	54.8	61.4	84.5	78.4
サークルの部屋	3.1	8.8	11.1	10.3	10.4	8.2	1.8	9.3	7.3
食堂	53.4	61.0	70.8	48.7	52.1	58.7	50.9	39.8	42.7
ラウンジ・談話室	33.0	37.1	38.0	50.0	31.3	36.8	8.8	42.9	33.9
アルバイト先	41.4	61.0	55.6	61.5	68.8	55.4	52.6	62.7	60.1
友人宅	23.0	37.1	36.8	34.6	35.4	32.7	22.8	34.2	31.2

【学年別 大学等で過ごす場所】(%)

	大学1年生	大学4年生	【大学全体】	短大1年生	短大2年生	全体【短期大学部】
全体(人)	336	359	695	121	97	218
研究室	8.0	39.0	24.0	12.4	42.3	25.7
図書館	43.8	61.8	53.1	22.3	13.4	18.3
空き教室	53.0	56.5	54.8	75.2	82.5	78.4
サークルの部屋	11.0	5.6	8.2	8.3	6.2	7.3
食堂	77.1	41.5	58.7	54.5	27.8	42.7
ラウンジ・談話室	44.0	30.1	36.8	31.4	37.1	33.9
アルバイト先	56.5	54.3	55.4	55.4	66.0	60.1
友人宅	38.1	27.6	32.7	27.3	36.1	31.2

注1) 「よくある」+「ときどきある」の割合(%)。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

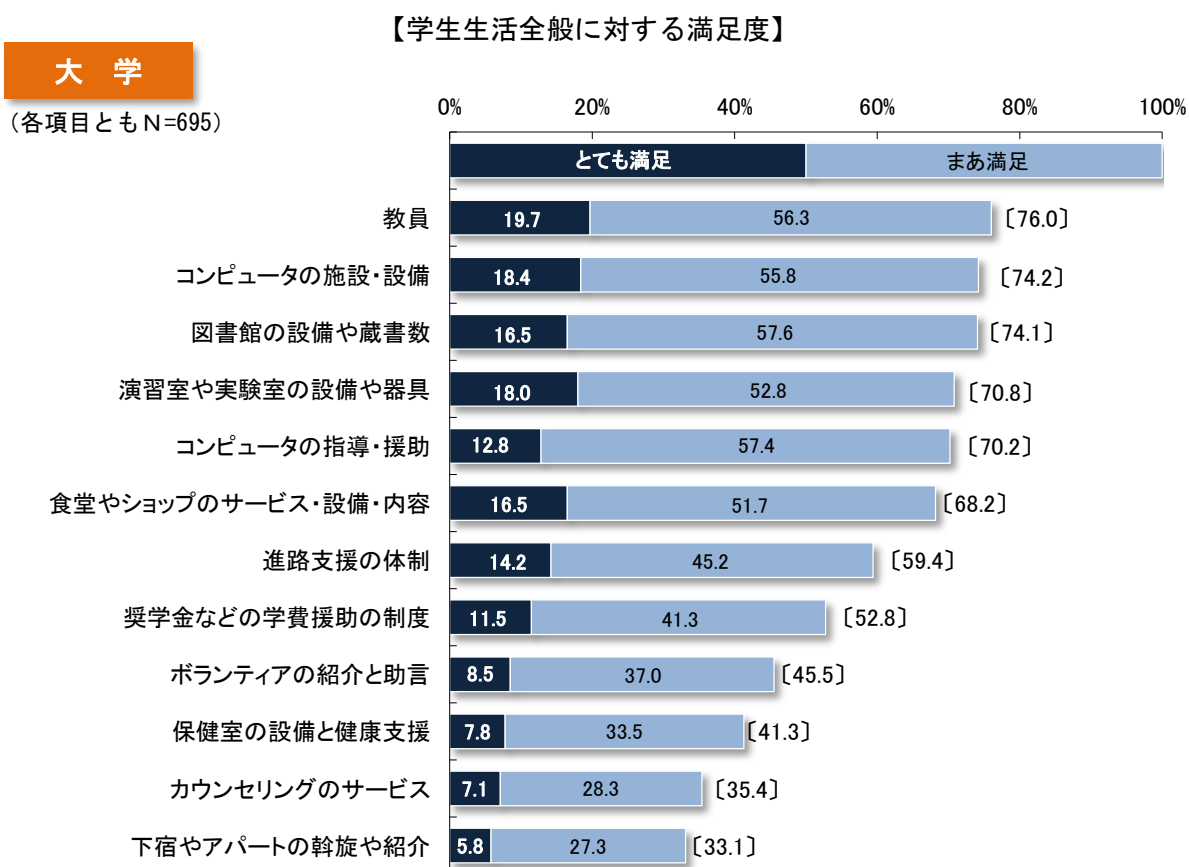
〔15〕 学生生活全般に対する満足度

学生生活全般に対する満足度について、『満足している』（とても満足＋まあ満足）の割合をみると、大学では「教員」（76.0％）の割合が最も高く、次いで「コンピュータの施設・設備」（74.2％）、「図書館の設備や蔵書数」（74.1％）となっている。短期大学部では「コンピュータの施設・設備」（84.4％）の割合が最も高く、次いで「教員」（78.9％）、「コンピュータの指導・援助」（77.1％）となっている。

また、このほか短期大学部では「図書館の設備や蔵書数」「進路支援の体制」「演習室や実験室の設備や器具」「食堂やショップのサービス・設備・内容」も『満足している』が7割を超えている。

一方、学生生活で利用する機会が少なかった、あるいは必要としなかった人もいるためか、大学、短期大学部ともに「カウンセリングのサービス」や「下宿やアパートの斡旋や紹介」に対する満足度が比較的低くなっている。

問 あなたは、本学にどの程度満足していますか。（それぞれ1つずつ選んでください）



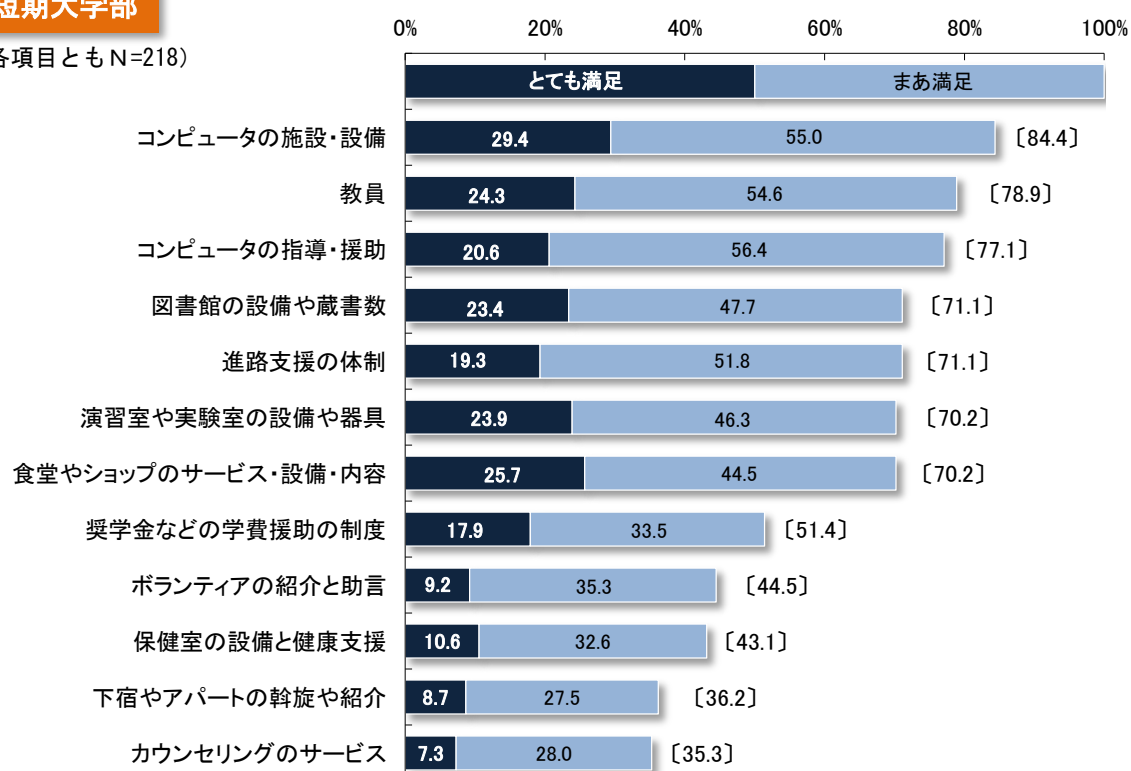
注1) 選択肢は「とても満足」「まあ満足」「あまり満足していない」「全く満足していない」「わからない」の5段階。

注2) [] は「とても満足」+「まあ満足」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第2位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

【学生生活全般に対する満足度】

短期大学部

(各項目とも N=218)



学生生活全般に対する満足度について、とても満足=4点、まあ満足=3点、あまり満足していない=2点、全く満足していない=1点として満足度指数を算出した。

大学全体の満足度指数を項目別にみると「教員」(3.01)や「演習室や実験室の設備や器具」(3.01)で最も高く、とりわけ「教員」では福祉学科(3.14)で、「演習室や実験室の設備や器具」では看護学科(3.09)や栄養学科(3.09)で満足度が最も高くなっている。

短期大学部全体の満足度指数は大学と比べて全体的に高めで、なかでも「コンピュータの施設・設備」(3.18)が最も高く、次いで「演習室や実験室の設備や器具」(3.12)、「図書館の設備や蔵書数」(3.10)となっている。学科別に大きな差はみられないが、保育科では上位項目の他、「コンピュータの指導・援助」「食堂やショップのサービス・設備・内容」「進路支援の体制」「教員」の満足度指数が3(まあ満足)を超えている。

【学科別 学生生活全般に対する満足度指数】(点)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	【短期大学部全体】
図書館の設備や蔵書数	2.88	3.02	3.06	2.95	2.80	2.95	2.98	3.15	3.10
演習室や実験室の設備や器具	3.09	2.96	3.09	2.97	2.75	3.01	3.02	3.16	3.12
コンピュータの施設・設備	2.85	3.01	3.00	2.83	2.82	2.92	3.05	3.22	3.18
コンピュータの指導・援助	2.94	2.91	2.84	2.79	2.78	2.87	2.73	3.11	3.00
奨学金などの学費援助の制度	2.75	2.82	2.98	2.65	2.64	2.80	2.84	2.99	2.95
ボランティアの紹介と助言	2.56	3.03	2.75	2.75	2.56	2.76	2.79	2.77	2.77
下宿やアパートの斡旋や紹介	2.66	2.88	2.72	2.76	2.58	2.72	2.88	2.90	2.90
保健室の設備と健康支援	2.88	2.85	2.93	2.77	2.74	2.86	2.91	2.90	2.90
カウンセリングのサービス	2.84	2.98	2.99	2.81	2.72	2.89	2.83	2.85	2.84
食堂やショップのサービス・設備・内容	2.72	2.91	2.87	2.77	2.73	2.81	2.75	3.07	2.99
進路支援の体制	2.90	3.00	2.96	2.89	2.77	2.92	2.87	3.07	3.02
教員	3.06	3.14	2.92	2.99	2.87	3.01	2.96	3.10	3.06

第2章 調査結果

学科ごとの全12項目の満足度指数の平均は、看護学科 2.84、福祉学科 2.96、栄養学科 2.93、英語学科 2.83、観光文化学科 2.73、生活創造学科 2.88、保育科 3.02 で、全学科中観光文化学科が最も満足度が低い。さらに、観光文化学科について学年別にみていくと、4年生では「図書館の設備や蔵書数」(2.70)、「演習室や実験室の設備や器具」(2.73)、「保健室の設備と健康支援」(2.58)、「カウンセリングのサービス」(2.63)、「進路支援体制」(2.69)の以上5項目について全14学科・学年中最下位を示している。

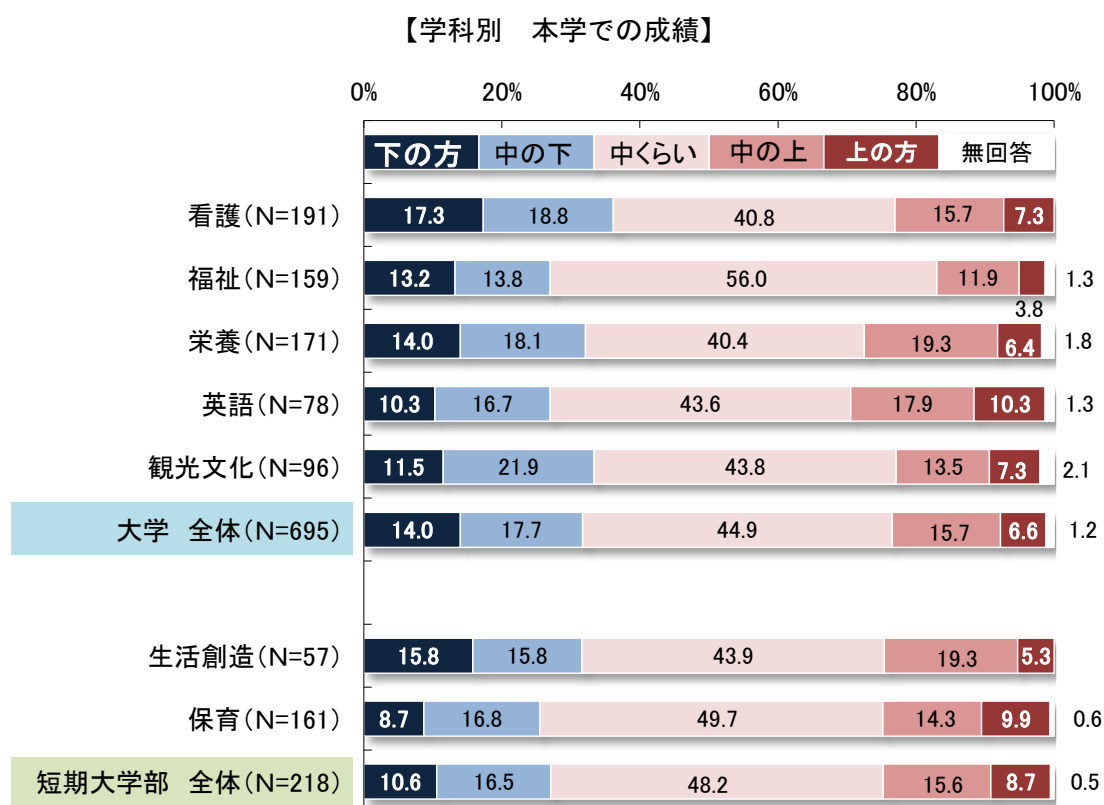
【学科・学年別 学生生活全般に対する満足度指数】(点)

	図書館の設備や蔵書数	演習室や実験室の設備や器具	コンピュータの施設・設備	コンピュータの指導・援助	奨学金などの学費援助の制度	ボランティアの紹介と助言	下宿やアパートの斡旋や紹介	保健室の設備と健康支援	カウンセリングのサービス	食堂やショップのサービス・設備・内容	進路支援の体制	教員	満足度指数 平均
【看護 計】(N=191)	2.88	3.09	2.85	2.94	2.75	2.56	2.66	2.88	2.84	2.72	2.90	3.06	2.84
看護1年生(N=95)	2.91	3.28	3.03	3.14	2.80	2.67	2.78	3.02	2.98	2.82	2.81	3.16	2.95
看護4年生(N=96)	2.84	2.91	2.68	2.74	2.71	2.44	2.55	2.75	2.71	2.62	2.94	2.97	2.74
【福祉 計】(N=159)	3.02	2.96	3.01	2.91	2.82	3.03	2.88	2.85	2.98	2.91	3.00	3.14	2.96
福祉1年生(N=69)	3.07	2.91	3.14	3.05	2.92	2.96	2.96	2.97	3.22	2.99	3.03	3.21	3.04
福祉4年生(N=90)	2.99	2.99	2.92	2.81	2.75	3.08	2.83	2.78	2.85	2.85	2.99	3.09	2.91
【栄養 計】(N=171)	3.06	3.09	3.00	2.84	2.98	2.75	2.72	2.93	2.99	2.87	2.96	2.92	2.93
栄養1年生(N=89)	3.21	3.27	3.20	3.10	3.10	2.89	2.78	3.06	3.07	3.16	3.05	3.05	3.08
栄養4年生(N=82)	2.91	2.89	2.79	2.54	2.84	2.55	2.62	2.70	2.84	2.53	2.89	2.79	2.74
【英語 計】(N=78)	2.95	2.97	2.83	2.79	2.65	2.75	2.76	2.77	2.81	2.77	2.89	2.99	2.83
英語1年生(N=41)	3.03	3.03	3.07	2.95	2.86	2.90	2.96	2.86	2.89	2.90	3.00	3.11	2.96
英語4年生(N=37)	2.86	2.88	2.57	2.61	2.36	2.56	2.33	2.60	2.67	2.64	2.80	2.86	2.65
【観光文化 計】(N=96)	2.80	2.75	2.82	2.78	2.64	2.56	2.58	2.74	2.72	2.73	2.77	2.87	2.73
観光文化1年生(N=42)	2.95	2.79	3.08	3.06	2.89	2.56	2.67	3.00	2.87	2.75	2.92	2.92	2.87
観光文化4年生(N=54)	2.70	2.73	2.63	2.59	2.48	2.56	2.52	2.58	2.63	2.72	2.69	2.83	2.64
【生活創造 計】(N=57)	2.98	3.02	3.05	2.73	2.84	2.79	2.88	2.91	2.83	2.75	2.87	2.96	2.88
生活創造1年生(N=30)	3.12	3.21	3.17	2.70	3.14	2.91	3.18	3.14	3.00	2.86	2.83	2.93	3.02
生活創造2年生(N=27)	2.81	2.81	2.92	2.77	2.65	2.71	2.64	2.72	2.73	2.62	2.92	3.00	2.78
【保育 計】(N=161)	3.15	3.16	3.22	3.11	2.99	2.77	2.90	2.90	2.85	3.07	3.07	3.10	3.02
保育1年生(N=91)	3.20	3.24	3.31	3.15	3.08	2.70	2.90	2.93	2.89	3.21	3.01	3.11	3.06
保育2年生(N=70)	3.07	3.05	3.09	3.05	2.89	2.88	2.90	2.87	2.81	2.89	3.14	3.07	2.98

〔16〕 本学での成績

本学での成績は、大学、短期大学部ともに「中くらい」が半数弱（大学：44.9%、短期大学部：48.2%）で最も多い。学科別にみると、真ん中よりも下だと感じている学生は看護学科で多く、真ん中よりも上だと感じている学生は英語学科で多くなっている。

問 あなたの本学での成績を教えてください。（1つだけ選んでください）



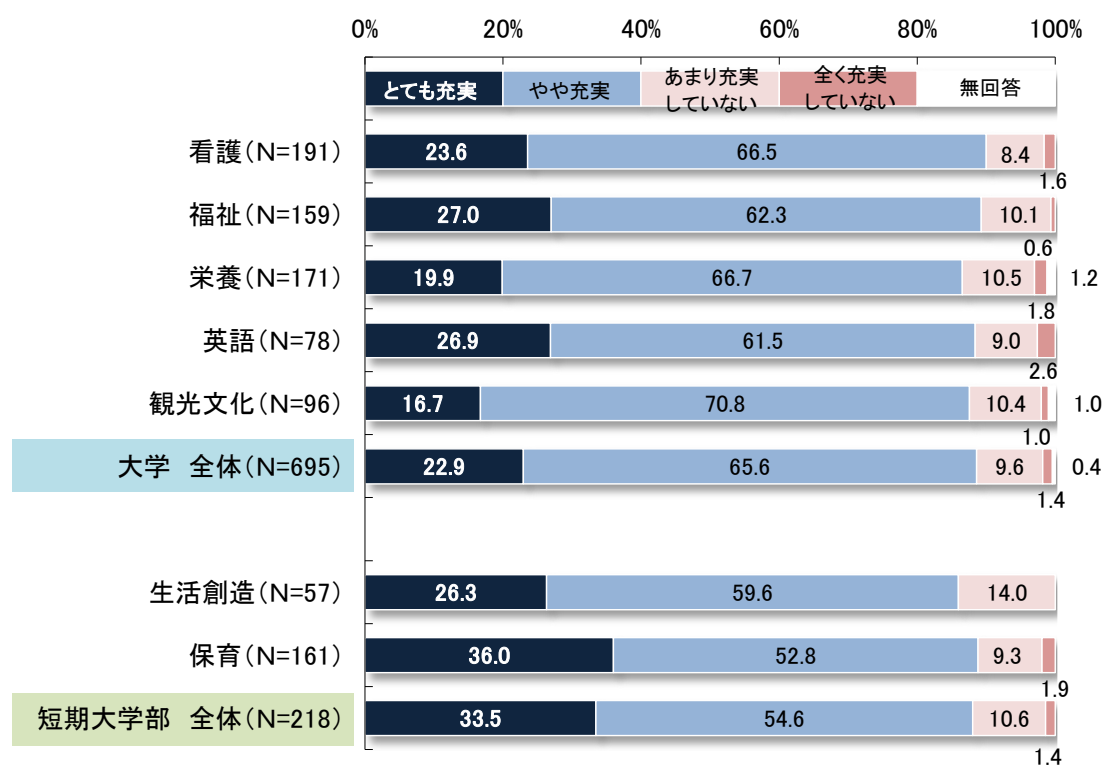
〔17〕 学生生活に対する充実度

学生生活の充実度について、『充実』（とても充実+やや充実）の割合をみると、大学全体では88.5%、短期大学部全体では88.1%を占めており、概ね学生生活は充実している様子がうかがえる。

学科別にみると、いずれの学科も「やや充実」が5～7割前後を占めて最も多くなっている。

問 あなたの学生生活は、どの程度充実していますか。（1つだけ選んでください）

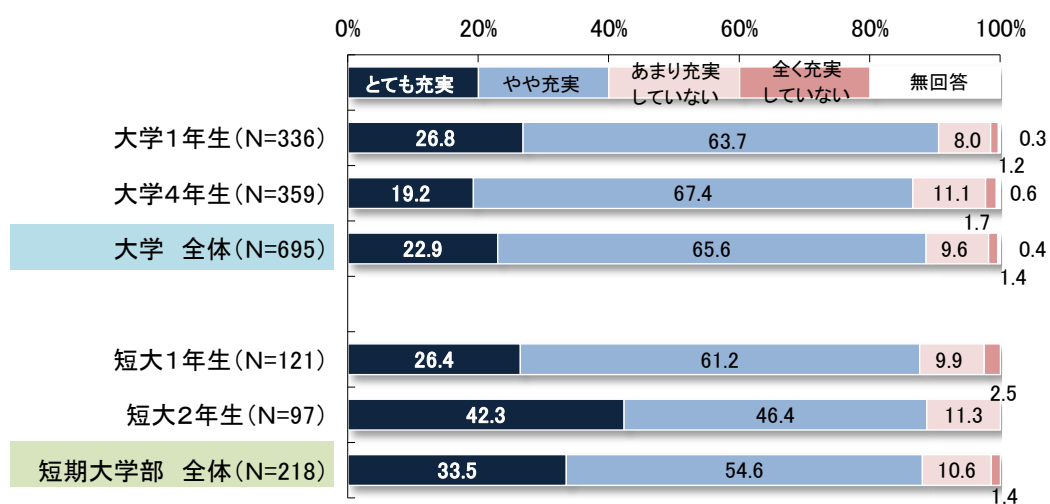
【学科別 学生生活に対する充実度】



第2章 調査結果

学年別にみると、短期大学部2年生は「とても充実」が4割強を占めており、他の学年に比べて充実度が高い。また、『充実』（とても充実+やや充実）の割合をみると、どの学年も9割前後を占めており、学年による大きな違いはみられない。

【学年別 学生生活に対する充実度】



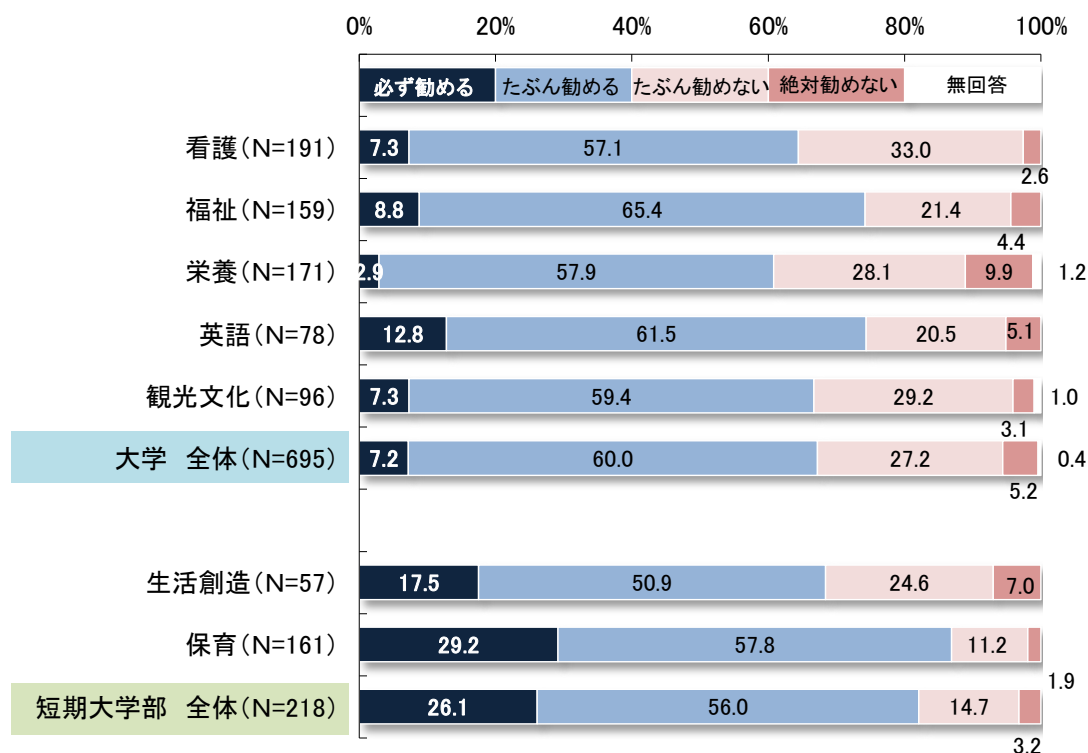
〔18〕後輩に対する本学の推奨度合

後輩が自身と同じ専門分野に興味があるとした場合、本学を勧めるかたずねたところ、大学、短期大学部ともに「たぶん勧める」（大学：60.0%、短期大学部：56.0%）が過半数を占めて最も多くなっている。また、「必ず勧める」の割合は短期大学部では3割弱（26.1%）を占めているのに対して、大学では1割弱（7.2%）にとどまっている。

学科別に『勧める』（必ず勧める+たぶん勧める）の割合をみると、大学では福祉学科や英語学科が7割強で高く、短期大学部では保育科で9割弱と高くなっている。

問 もしも、あなたの後輩が、あなたと同じ専門分野に興味を持っているとしたら、本学を勧めますか。（1つだけ選んでください）

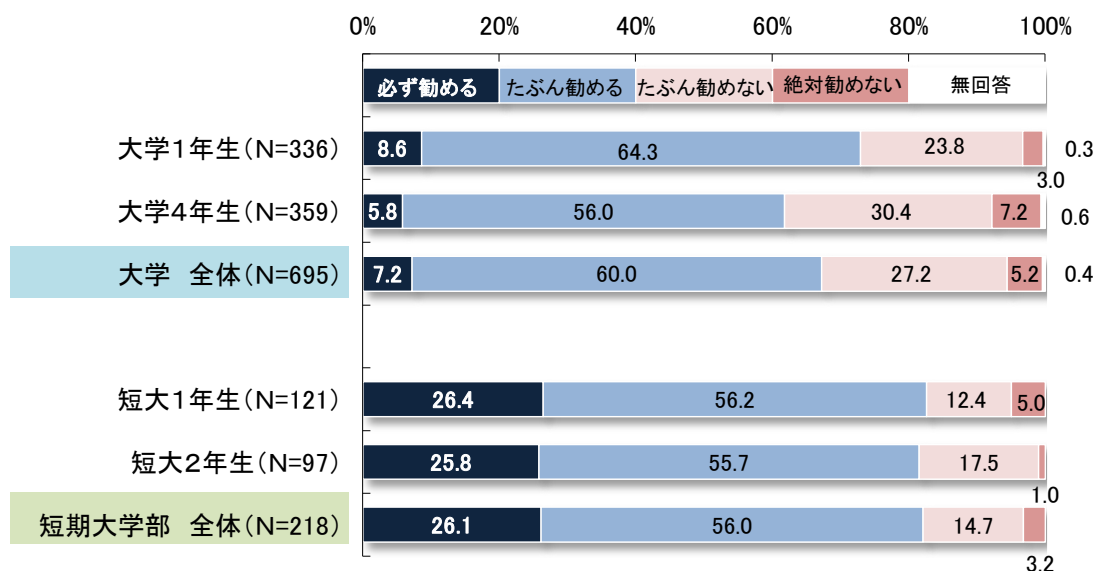
【学科別 後輩に対する本学の推奨度合】



第2章 調査結果

学年別に『勧める』（必ず勧める+たぶん勧める）の割合をみると、短期大学部では学年別に大きな差はみられないのに対し、大学4年生は大学1年生より割合が低く、『勧めない』（たぶん勧めない+絶対勧めない）の割合が高くなっている。

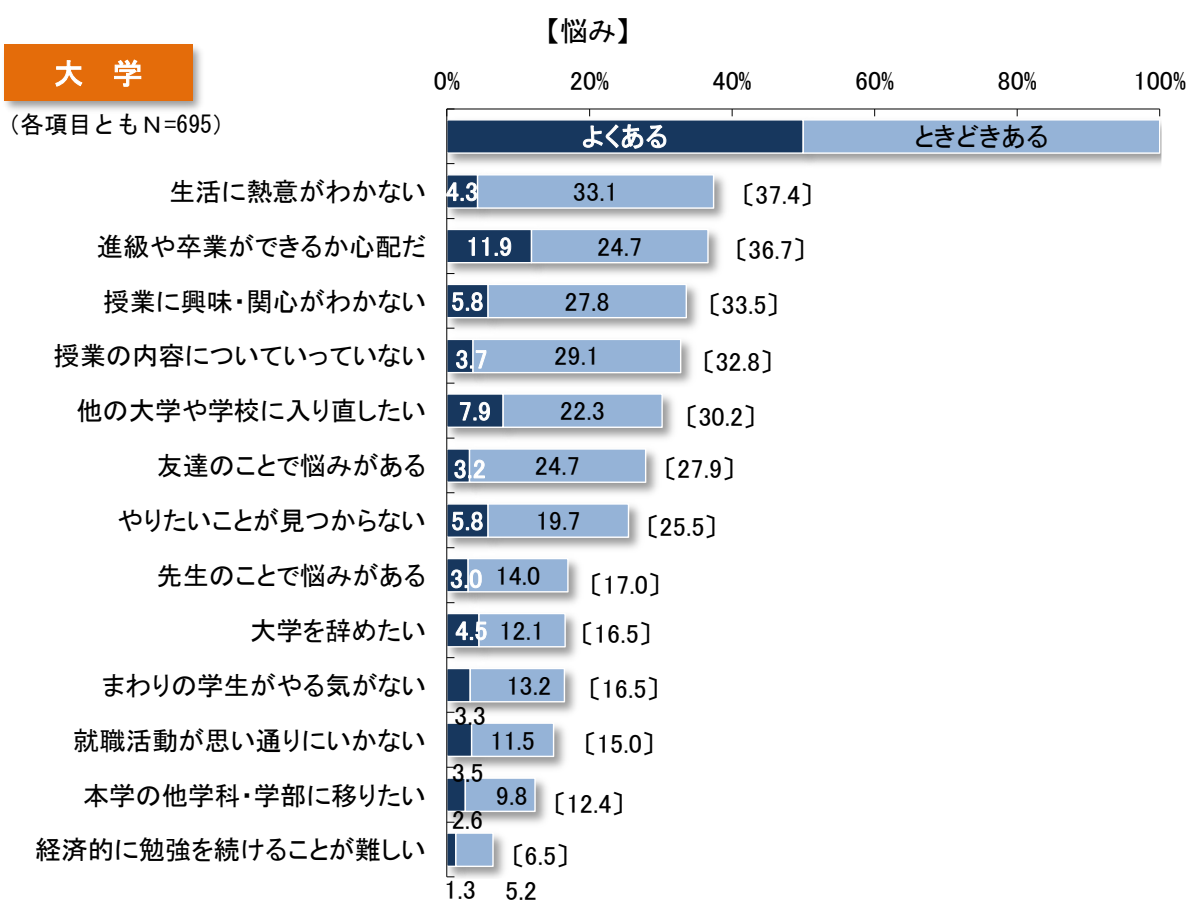
【学年別 後輩に対する本学の推奨度合】



〔19〕 悩み

本学に入学してから感じたり思ったりしたことについて、『ある』（よくある+ときどきある）の割合をみると、大学では「生活に熱意がわからない」（37.4%）が最も高く、次いで「進級や卒業ができるか心配だ」（36.7%）、「授業に興味・関心がわからない」（33.5%）となっている。

問 あなたはこれまでに、次のようなことを感じたり思ったりしたことがどのくらいありますか。（それぞれ1つずつ選んでください）

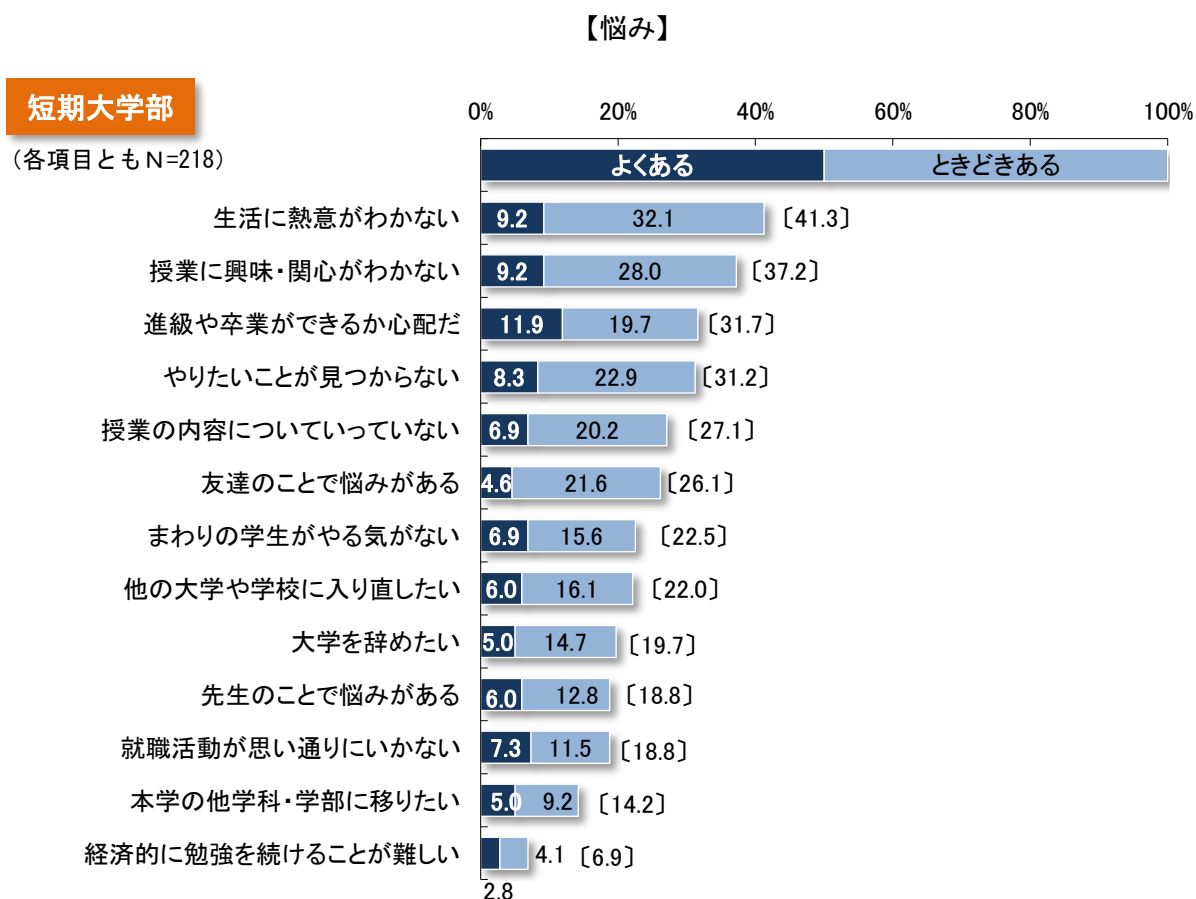


注1) 選択肢は「よくある」「ときどきある」「あまりない」「ほとんどない」の4段階。

注2) [] は「よくある」+「ときどきある」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第2位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

第2章 調査結果

短期大学部では、大学と同様に「生活に熱意がわからない」(41.3%)が最も割合が高く、次いで「授業に興味・関心がわからない」(37.2%)、「進級や卒業ができるか心配だ」(31.7%)となっている。大学、短期大学部ともに何かしら悩みを持つ人が多く、その内容も多様である。

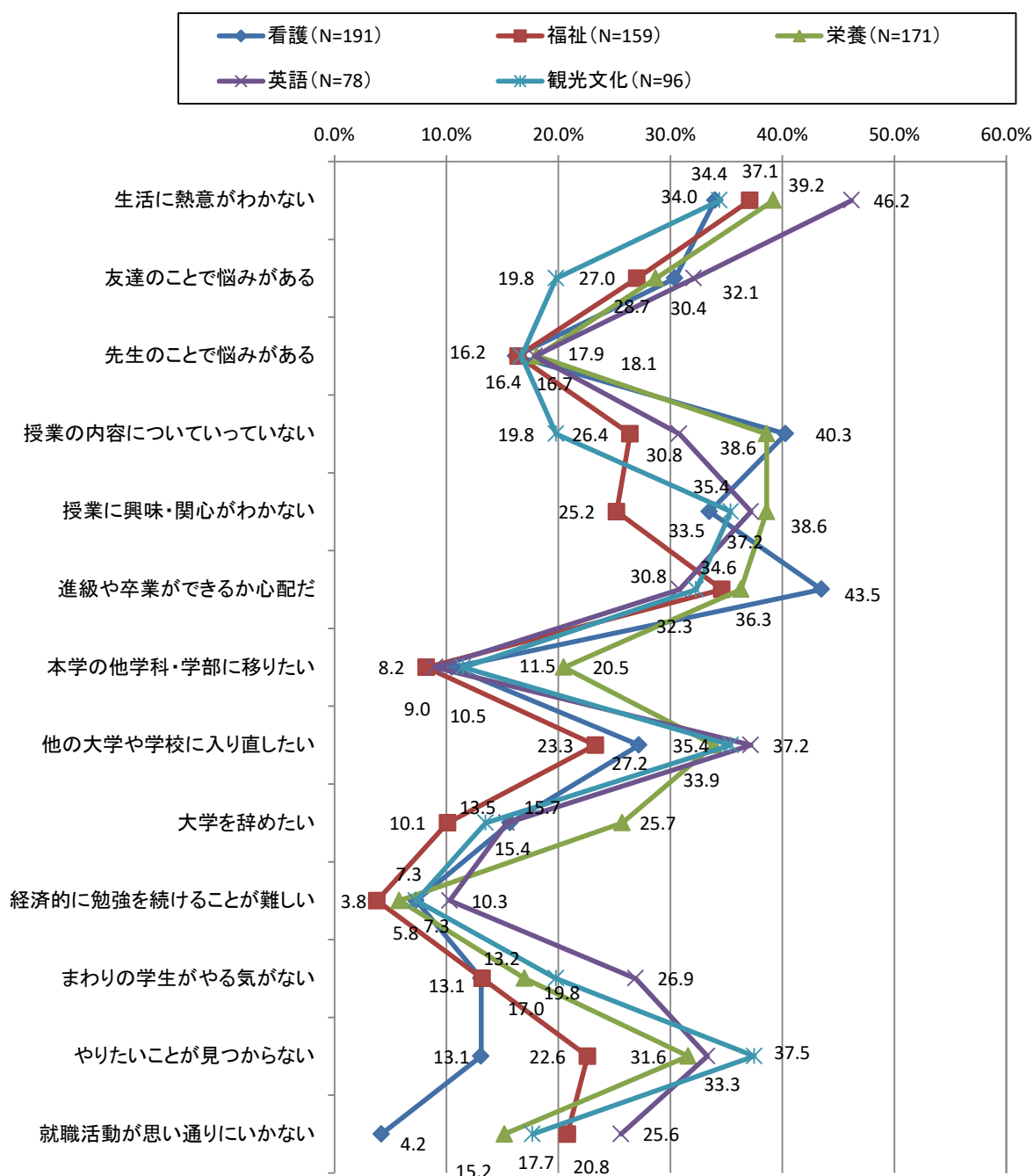


大学の学科別にみると、看護学科では「授業の内容についていけない」や「進級や卒業ができるか心配だ」、栄養学科は「授業に興味・関心がわからない」「本学の他学科・学部に移りたい」、英語学科は「生活に意欲がわからない」や「まわりの学生がやる気がない」「就職活動が思い通りにいかない」、観光文化学科は「やりたいことが見つからない」等の割合が他に比べて高くなっている。

全体でみると悩みを持つ学生は多いと考えられるが、特に英語学科に多い傾向にある。

大学

【学科別 悩み】



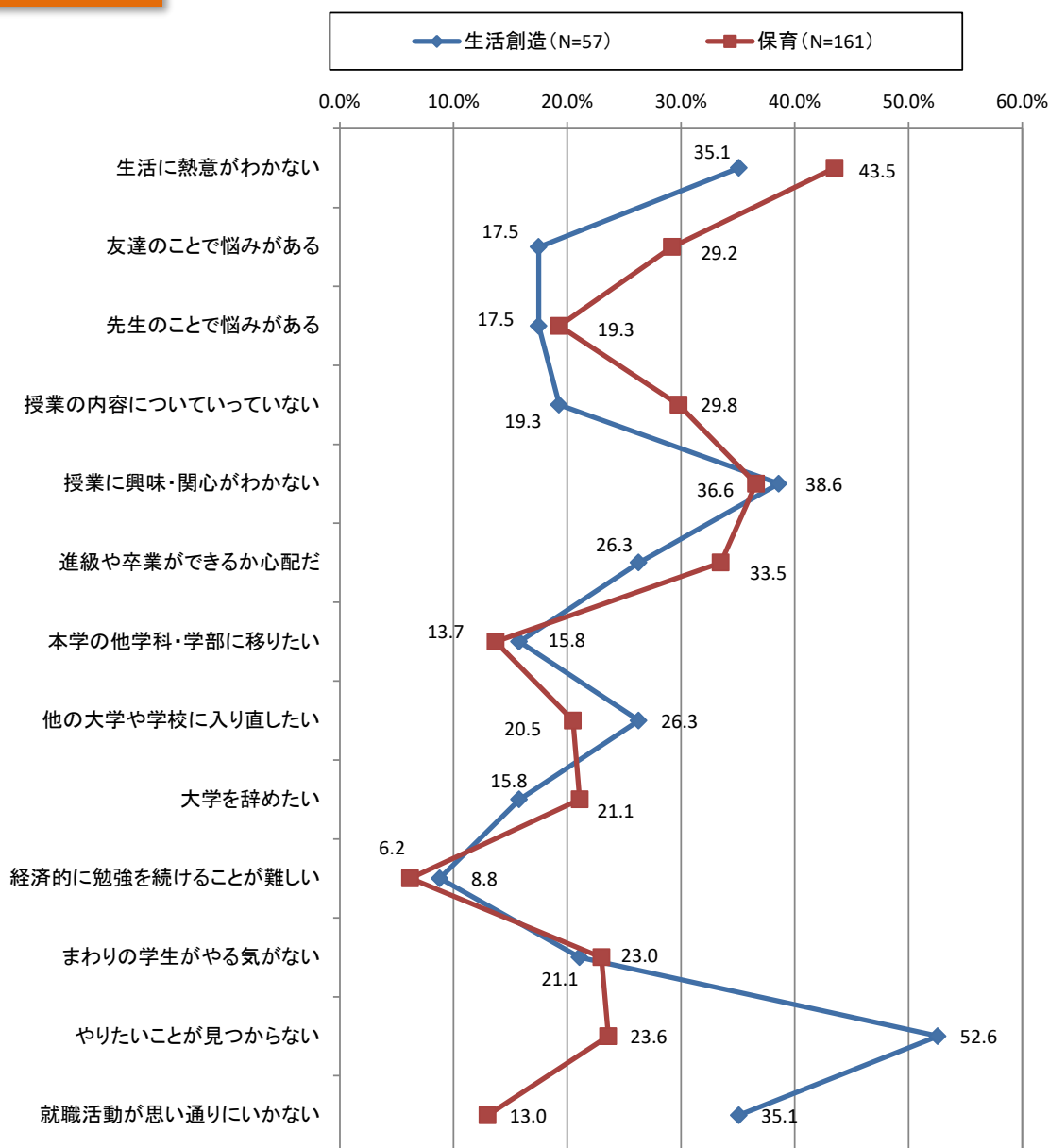
注1)「よくある」+「ときどきある」の割合(%)。

第2章 調査結果

短期大学部の学科別にみると、生活創造学科は「やりたいことが見つからない」や「就職活動が思い通りにいかない」の割合が保育科に比べて高くなっており、特に「やりたいことが見つからない」は過半数を占めて割合が高くなっている。

短期大学部

【学科別 悩み】

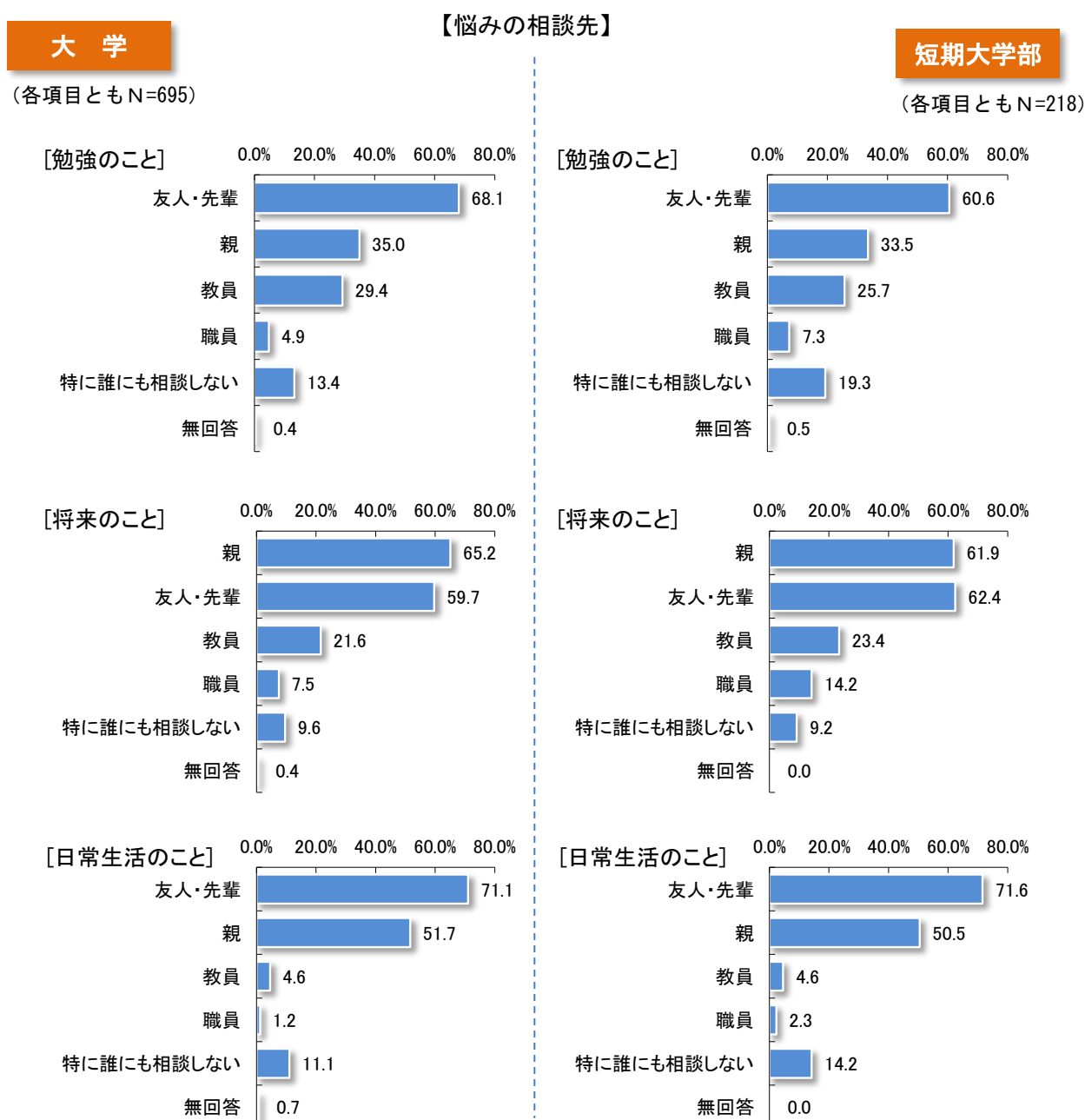


〔20〕 悩みの相談先

悩みの相談先について、『勉強のこと』は大学、短期大学部ともに「友人・先輩」（大学：68.1%、短期大学部：60.6%）が6割台で最も多い。『将来のこと』は、大学、短期大学部ともに「親」（大学：65.2%、短期大学部：61.9%）や「友人・先輩」（大学：59.7%、短期大学部：62.4%）が6割前後を占めて多い。『日常生活のこと』は大学、短期大学部ともに「友人・先輩」（大学：71.1%、短期大学部：71.6%）や「親」（大学：51.7%、短期大学部：50.5%）が半数以上で多い。

いずれの悩みも「友人・先輩」や「親」に相談する人が多く、大学生活における悩みの相談先として、両親はもちろん、友人関係が特に重要な役割を担っているといえる。

問 あなたは、次のことについて誰に相談しますか。（あてはまるものすべてを選んでください）



第2章 調査結果

学科別にみると、総じて悩みの相談先は「友人・先輩」「親」とする人が多いものの、看護学科や福祉学科では『勉強のこと』や『将来のこと』を「教員」に相談する割合が大学全体に比べて5ポイント以上高くなっている。

短期大学部では保育科に比べ、生活創造学科では勉強・将来・日常生活の悩みについて「特に誰にも相談しない」とする人が多くなっている。

【学科別 悩みの相談先】(%)

勉強のこと	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	全体【短期大学部】
全体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
教員	35.1	36.5	22.2	30.8	17.7	29.4	15.8	29.2	25.7
職員	4.7	5.7	3.5	7.7	4.2	4.9	3.5	8.7	7.3
友人・先輩	71.7	69.8	64.9	69.2	62.5	68.1	45.6	65.8	60.6
親	39.8	30.2	39.8	26.9	31.3	35.0	33.3	33.5	33.5
特に誰にも相談しない	10.5	11.9	15.2	14.1	17.7	13.4	29.8	15.5	19.3

将来のこと	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	全体【短期大学部】
全体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
教員	26.7	32.1	8.8	17.9	19.8	21.6	15.8	26.1	23.4
職員	5.2	8.8	5.3	10.3	11.5	7.5	14.0	14.3	14.2
友人・先輩	58.6	61.6	56.1	62.8	62.5	59.7	54.4	65.2	62.4
親	64.9	65.4	66.1	62.8	65.6	65.2	54.4	64.6	61.9
特に誰にも相談しない	10.5	7.5	12.3	11.5	5.2	9.6	15.8	6.8	9.2

日常生活のこと	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	全体【短期大学部】
全体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
教員	4.2	8.8	2.3	6.4	1.0	4.6	1.8	5.6	4.6
職員	0.5	1.3	0.6	1.3	3.1	1.2	1.8	2.5	2.3
友人・先輩	73.3	73.6	66.1	73.1	69.8	71.1	57.9	76.4	71.6
親	55.5	49.7	49.7	51.3	51.0	51.7	43.9	52.8	50.5
特に誰にも相談しない	11.0	10.1	12.3	12.8	9.4	11.1	21.1	11.8	14.2

注1) 縦%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

〔21〕将来のキャリア

将来、どのような職業やキャリアに進みたいかたずねたところ、大学では「医療・看護系」(33.1%)が最も多く、次いで「食・栄養系」(16.5%)、「学校・教育系」(10.9%)となっている。

短期大学部では「保育・子ども系」(63.3%)が6割以上で最も多く、次いで「ビジネス・経営系」(7.3%)、「医療・看護系」(6.0%)となっている。

大学の学科別にみると、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「学校・教育系」や「福祉・介護系」、栄養学科は「食・栄養系」、英語学科は「語学・国際系」、観光文化学科は「ビジネス・経営系」や「旅行・ホテル・ブライダル系」が大学全体に比べて10ポイント以上割合が高くなっている。

短期大学部の学科別にみると、生活創造学科は「医療・看護系」や「ビジネス・経営系」、保育科は「保育・子ども系」が短期大学部全体に比べて10ポイント以上割合が高くなっている。

大学、短期大学部ともに、将来のキャリアとしてそれぞれ学んでいる専門分野への進路を検討している様子が見える。

問 あなたは将来、どのような職業やキャリアに進みたいですか。(1つだけ選んでください)

【学科別 将来のキャリア】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	全体【短期大学部】
全 体(人)	191	159	171	78	96	695	57	161	218
医療・看護系	95.3	15.7	12.9	—	1.0	33.1	21.1	0.6	6.0
運輸・通信系	0.5	—	0.6	10.3	11.5	3.0	5.3	0.6	1.8
学術系	—	—	—	—	—	—	1.8	0.6	0.9
保育・子ども系	—	13.2	0.6	1.3	1.0	3.5	—	85.7	63.3
学校・教育系	2.6	33.3	1.8	19.2	—	10.9	—	1.9	1.4
機械・電気・化学系	—	—	1.2	1.3	1.0	0.6	1.8	—	0.5
建築・インテリア系	—	—	—	2.6	2.1	0.6	5.3	—	1.4
公務員・政治・法律系	—	5.0	1.8	6.4	9.4	3.6	5.3	1.2	2.3
コンピュータ・WEBゲーム・アニメ系	—	—	0.6	—	—	0.1	—	0.6	0.5
語学・国際系	—	0.6	0.6	26.9	7.3	4.3	—	0.6	0.5
食・栄養系	—	—	66.7	—	1.0	16.5	—	—	—
農林水産系	—	—	—	—	—	—	—	—	—
スポーツ系	—	0.6	1.2	—	1.0	0.6	—	—	—
デザイン・アート系	—	—	—	—	1.0	0.1	5.3	0.6	1.8
ビジネス・経営系	—	1.3	4.1	7.7	15.6	4.3	28.1	—	7.3
美容系	—	—	0.6	3.8	1.0	0.7	1.8	0.6	0.9
福祉・介護系	—	25.2	—	—	—	5.8	—	0.6	0.5
アパレル・ファッション系	—	0.6	0.6	1.3	1.0	0.6	5.3	0.6	1.8
マスコミ・芸能系	—	—	—	1.3	1.0	0.3	1.8	0.6	0.9
旅行・ホテル・ブライダル系	—	—	—	3.8	30.2	4.6	—	1.2	0.9
上記以外の仕事や職業	1.0	1.9	1.2	3.8	3.1	1.9	1.8	—	0.5
決まっていない	0.5	2.5	4.1	10.3	10.4	4.3	14.0	3.1	6.0

注1) 縦%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

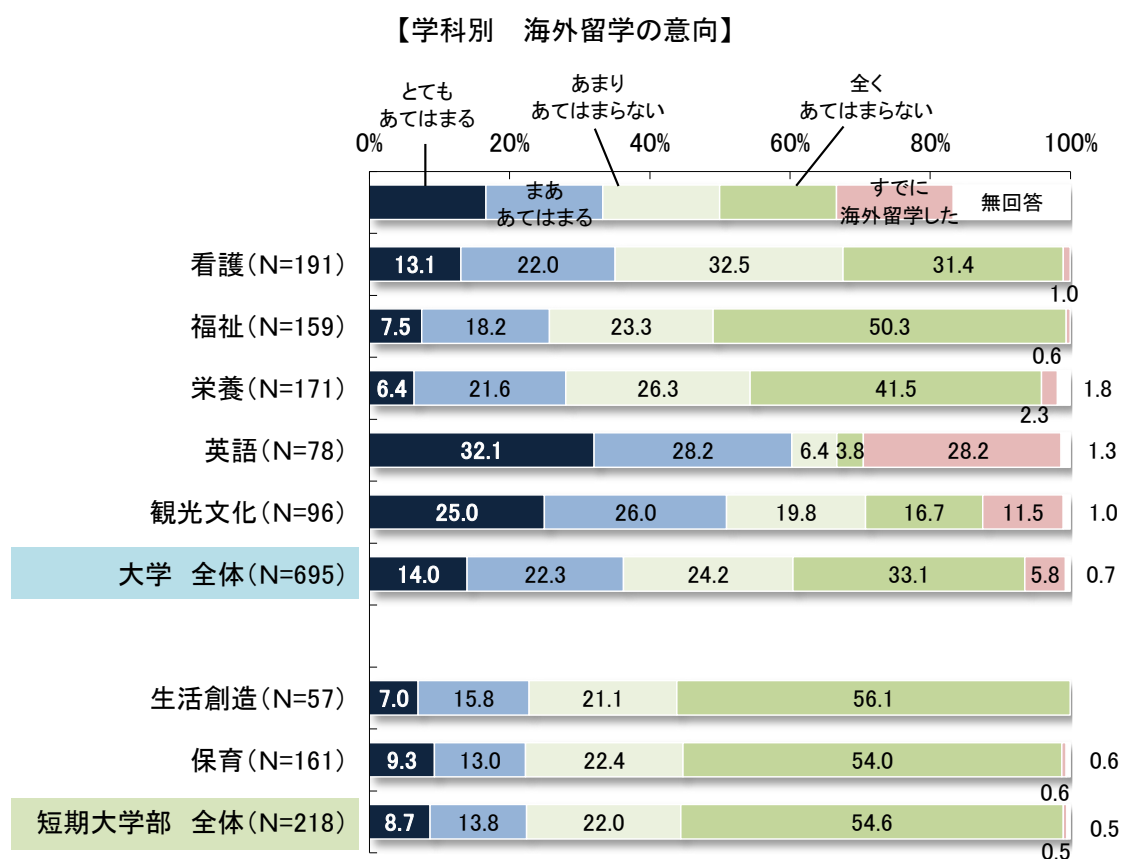
 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

〔22〕海外留学

海外留学の意向について、『留学したい（した）』（とてもあてはまる+まああてはまる+すでに海外留学した）の割合をみると、大学全体では42.1%、短期大学部全体では23.0%となっている。

学科別にみると、英語学科では「すでに海外留学した」人が28.2%を占めており、今後海外留学したい人を含めると『留学したい（した）』の割合が9割強を占めている。また、観光文化学科も海外留学の意向が高く、『留学したい（した）』の割合は6割強を占めている。

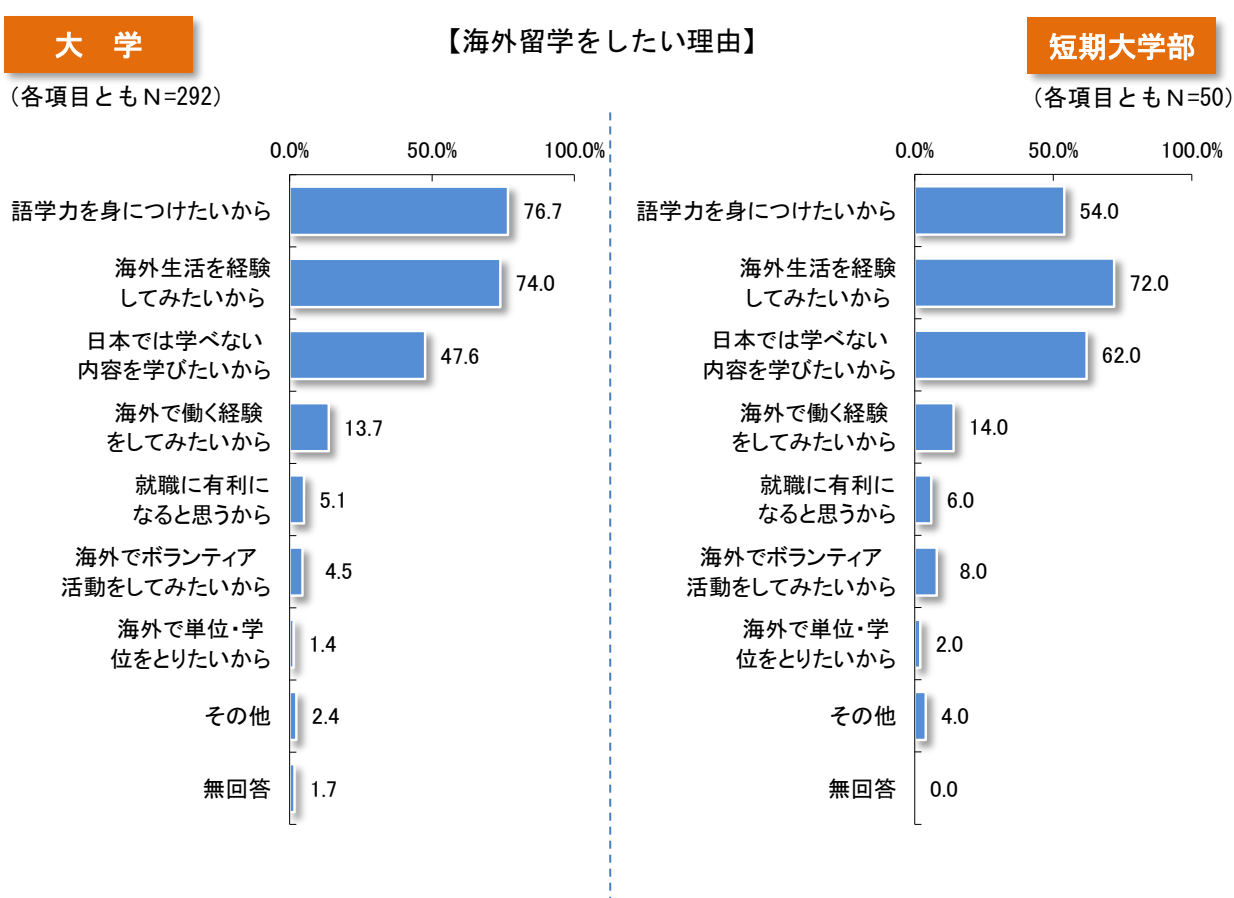
問 あなたは在学中に海外留学をしたいと思いますか。（1つだけ選んでください）
 在学中にすでに留学をした方は「5.すでに海外留学をした」を選んでください。



留学をしたい理由は、大学、短期大学部ともに「語学力を身につけたいから」(大学:76.7%、短期大学部:54.0%)や「海外生活を経験してみたいから」(大学:74.0%、短期大学部:72.0%)、「日本では学べない内容を学びたいから」(大学:47.6%、短期大学部:62.0%)が多くなっている。

(「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。)

問 あなたが留学したいと思う理由は次のどれですか。(あてはまるものを3つまで選んでください)
すでに留学をした方は、留学したときを振り返って教えてください。



第2章 調査結果

学科別にみると、「語学力を身につけたいから」の割合は大学の英語学科や観光文化学科で特に高くなっている。一方、栄養学科、生活創造学科、保育科では語学よりも「海外生活を経験してみたいから」を理由に挙げる人が最も多くなっている。

また、観光文化学科では「日本では学べない内容を学びたいから」の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高く、看護学科では「海外で働く経験をしてみたいから」や福祉学科では「海外でボランティア活動をしてみたいから」の割合が大学全体に比べて5ポイント以上高くなっている。

【学科別 海外留学をしたい理由】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	【短期大学部全体】
全体(人)	69	42	52	69	60	292	13	37	50
語学力を身につけたいから	71.0	66.7	63.5	91.3	85.0	76.7	53.8	54.1	54.0
海外生活を経験してみたいから	68.1	66.7	84.6	79.7	70.0	74.0	69.2	73.0	72.0
日本では学べない内容を学びたいから	42.0	47.6	40.4	47.8	60.0	47.6	53.8	64.9	62.0
就職に有利になると思うから	2.9	2.4	9.6	2.9	8.3	5.1	7.7	5.4	6.0
海外で働く経験をしてみたいから	21.7	11.9	13.5	11.6	8.3	13.7	7.7	16.2	14.0
海外でボランティア活動をしてみたいから	4.3	14.3	1.9	-	5.0	4.5	-	10.8	8.0
海外で単位・学位をとりたいから	1.4	-	-	4.3	-	1.4	-	2.7	2.0
その他	1.4	2.4	1.9	4.3	1.7	2.4	-	5.4	4.0

注1) 縦%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

希望する海外留学の期間は、大学全体では「1ヶ月」(22.3%)が最も多く、次いで「～1年」(17.5%)、「～3ヶ月」(15.8%)、短期大学部全体では「数週間」(30.0%)が最も多く、次いで「1ヶ月」(26.0%)、「～3ヶ月」(16.0%)となっており、短期大学部は比較的短期間の留学を希望する人が多くなっている。

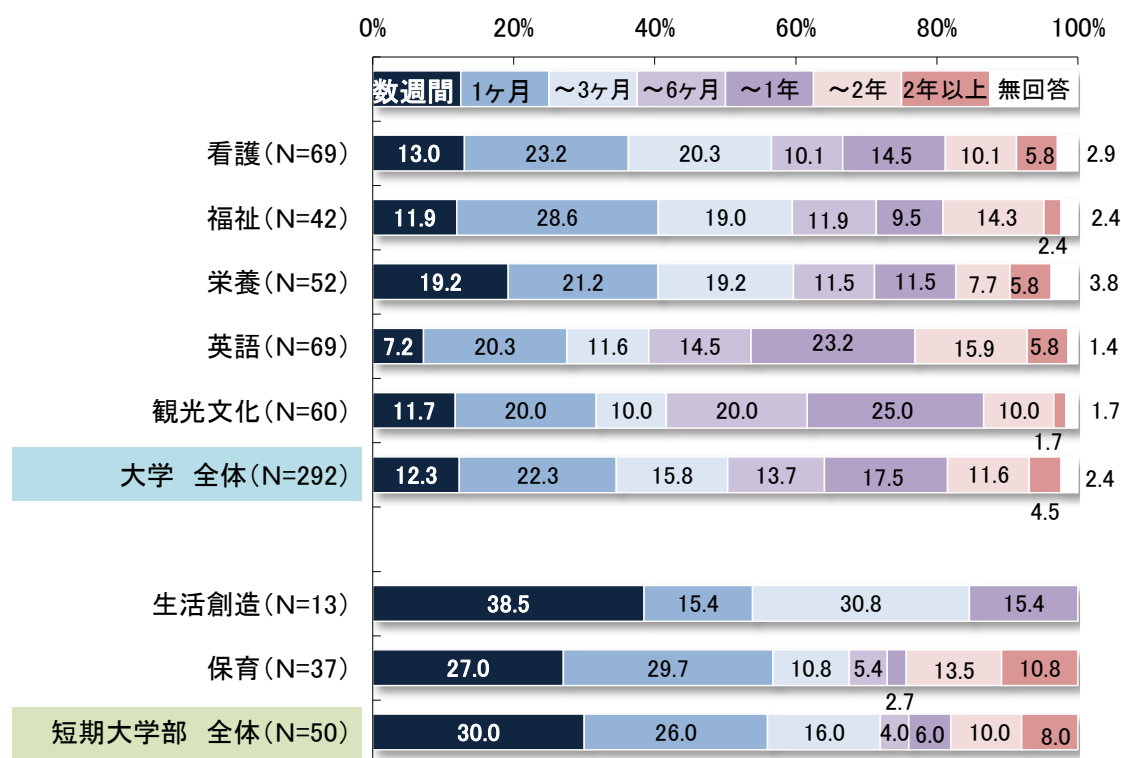
学科別にみると、英語学科や観光文化学科は6ヶ月以上の留学を希望する割合が他に比べて高く、3割～4割を占めている。

(「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。)

問 あなたはどのくらいの期間、留学したいですか。(1つだけ選んでください)

すでに留学をした方は、実際に留学した期間を教えてください。

【学科別 希望する海外留学の期間】



第2章 調査結果

希望する海外留学の時期は、大学・短期大学部はともに「2年生」（大学：59.9%、短期大学部：40.0%）の割合が最も高くなっているものの、短期大学部では大学に比べて「1年生」の割合も3割強（34.0%）を占めて高い。

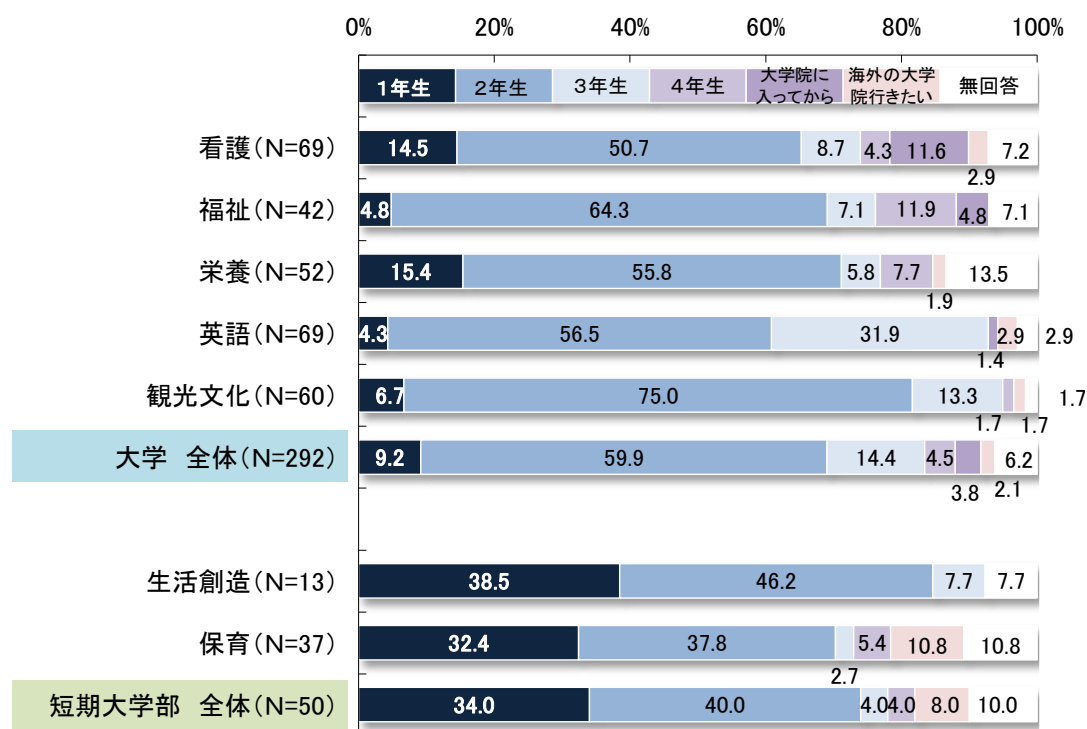
学科別にみても、大学・短期大学部のいずれの学科も「2年生」が最も多く、特に留学希望の高い英語学科では2年生～3年生とする人が9割弱を占める。

（「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。）

問 あなたは、どの時期に留学したいと思いますか。（1つだけ選んでください）

すでに留学をした方は、実際に留学した時期を教えてください。

【学科別 希望する海外留学の時期】



希望する海外留学先は、大学・短期大学部ともに「アメリカ（本土）」（大学：43.2%、短期大学部：54.0%）が最も多く、次いで「オーストラリア」（大学：36.0%、短期大学部：40.0%）となっている。またこの他「カナダ」（大学：32.5%、短期大学部：22.0%）や「イギリス」（大学：29.5%、短期大学部：24.0%）も上位にあがっている。

（「とてもあてはまる」「まああてはまる」「すでに海外留学をした」を選んだ方に伺います。）

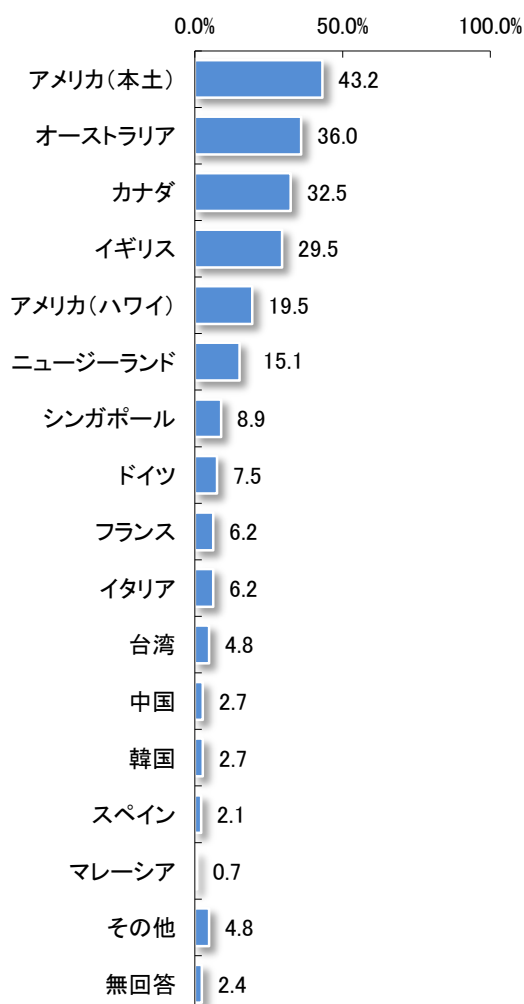
問 あなたは、どの国に留学したいと思いますか。（あてはまるものを3つまで選んでください）

すでに留学をした方は、実際に留学した国を教えてください。

【希望する海外留学先】

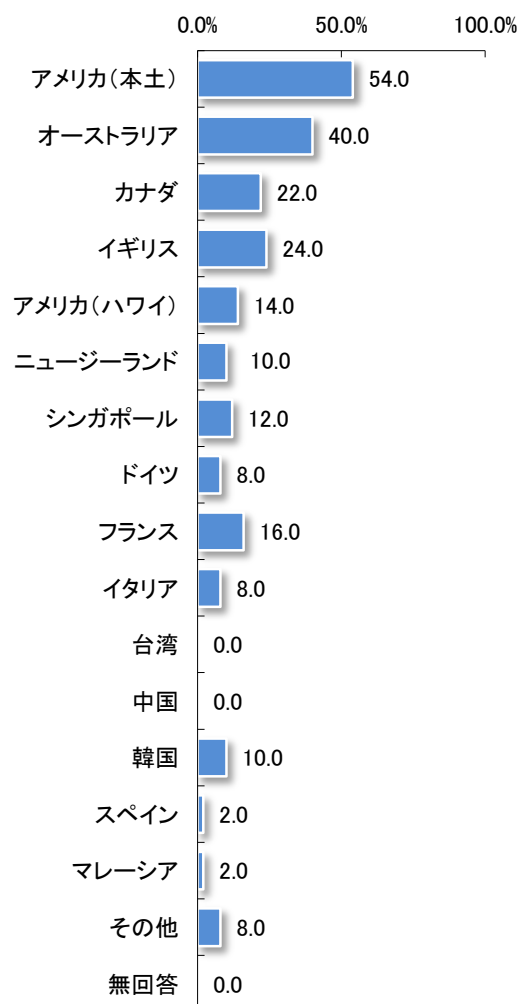
大 学

（各項目とも N=292）



短期大学部

（各項目とも N=50）



第2章 調査結果

学科別にみると、大学の看護学科は「オーストラリア」、福祉学科は「ドイツ」の割合が大学全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

また、短期大学部の生活創造学科は「フランス」で短期大学全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

【学科別 希望する海外留学先】(%)

	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	【大学全体】	生活創造	保育	【短期大学部全体】
全体(人)	69	42	52	69	60	292	13	37	50
アメリカ(本土)	50.7	38.1	40.4	44.9	38.3	43.2	61.5	51.4	54.0
アメリカ(ハワイ)	21.7	16.7	21.2	18.8	18.3	19.5	23.1	10.8	14.0
カナダ	24.6	23.8	32.7	37.7	41.7	32.5	15.4	24.3	22.0
オーストラリア	47.8	35.7	40.4	27.5	28.3	36.0	38.5	40.5	40.0
ニュージーランド	7.2	16.7	19.2	24.6	8.3	15.1	-	13.5	10.0
イギリス	29.0	19.0	28.8	34.8	31.7	29.5	7.7	29.7	24.0
フランス	7.2	9.5	9.6	-	6.7	6.2	30.8	10.8	16.0
ドイツ	10.1	21.4	5.8	1.4	3.3	7.5	15.4	5.4	8.0
イタリア	5.8	14.3	7.7	-	6.7	6.2	7.7	8.1	8.0
スペイン	2.9	4.8	3.8	-	-	2.1	-	2.7	2.0
中国	1.4	-	-	1.4	10.0	2.7	-	-	-
韓国	2.9	2.4	1.9	-	6.7	2.7	15.4	8.1	10.0
台湾	2.9	4.8	5.8	1.4	10.0	4.8	-	-	-
シンガポール	8.7	7.1	9.6	8.7	10.0	8.9	15.4	10.8	12.0
マレーシア	1.4	-	1.9	-	-	0.7	-	2.7	2.0
その他	4.3	9.5	3.8	2.9	5.0	4.8	-	10.8	8.0

注1) 縦%。

注2) は大学全体よりも5ポイント以上、 は大学全体よりも10ポイント以上高いものを示す。
 は短期大学部全体よりも5ポイント以上、 は短期大学部全体よりも10ポイント以上高いものを示す。

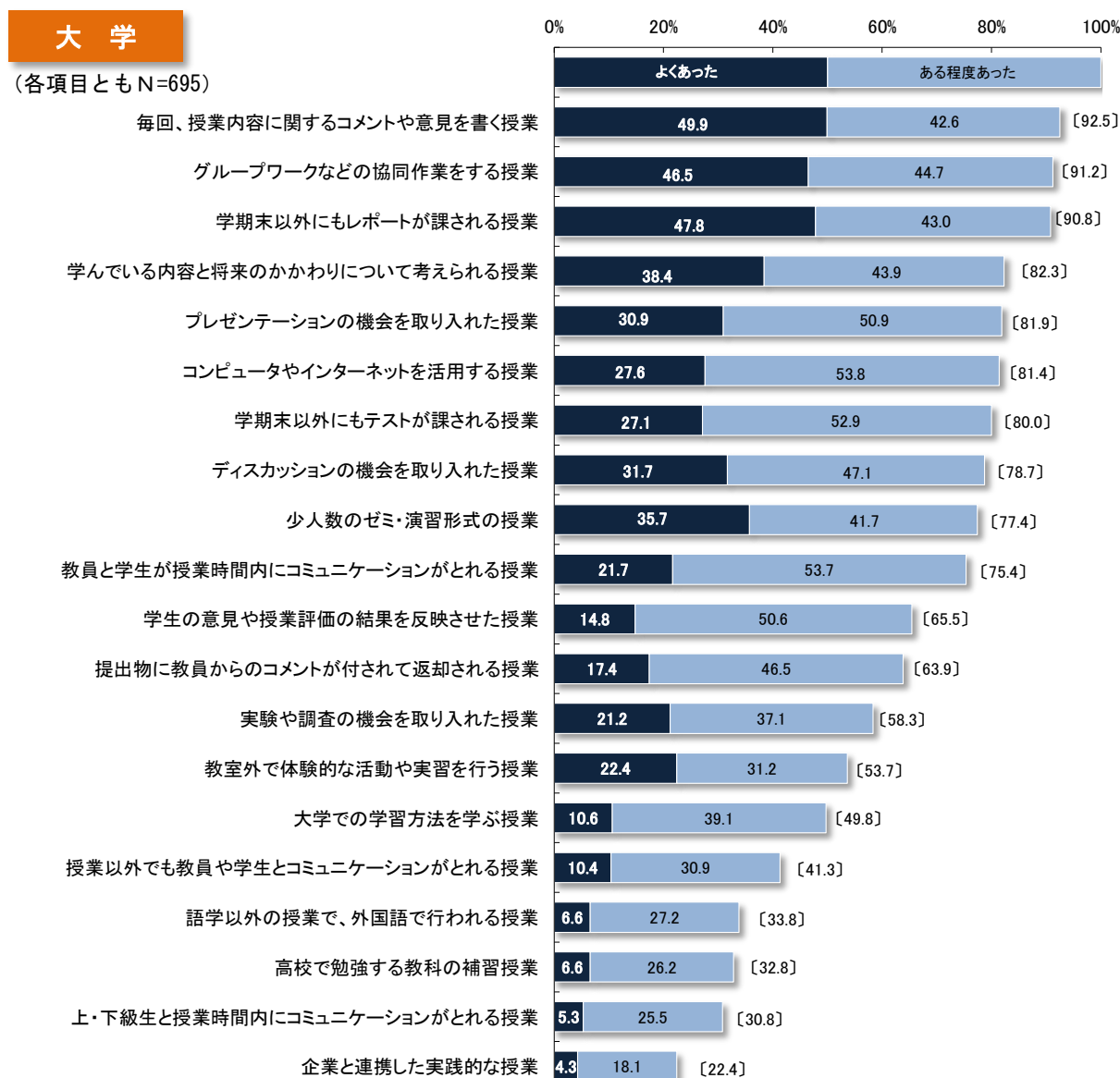
〔23〕授業の経験

経験した授業について（よくあった+ある程度あった）の割合をみると、大学では「毎回、授業内容に関するコメントや意見を書く授業」（92.5%）が最も多く、次いで「グループワークなどの協同作業をする授業」（91.2%）、「学期末以外にもレポートが課される授業」（90.8%）となっている。短期大学部では「グループワークなどの協同作業をする授業」（94.5%）が最も多く、次いで「学んでいる内容と将来のかかわりについて考えられる授業」（89.0%）、「毎回、授業内容に関するコメントや意見を書く授業」（88.5%）となっている。

経験した授業として、20項目中、大学については14項目、短期大学部については15項目で『あった』とする割合が過半数を超えている。

問 あなたはこれまで、大学で次のような授業を経験しましたか。（1つだけ選んでください）

【授業の経験】



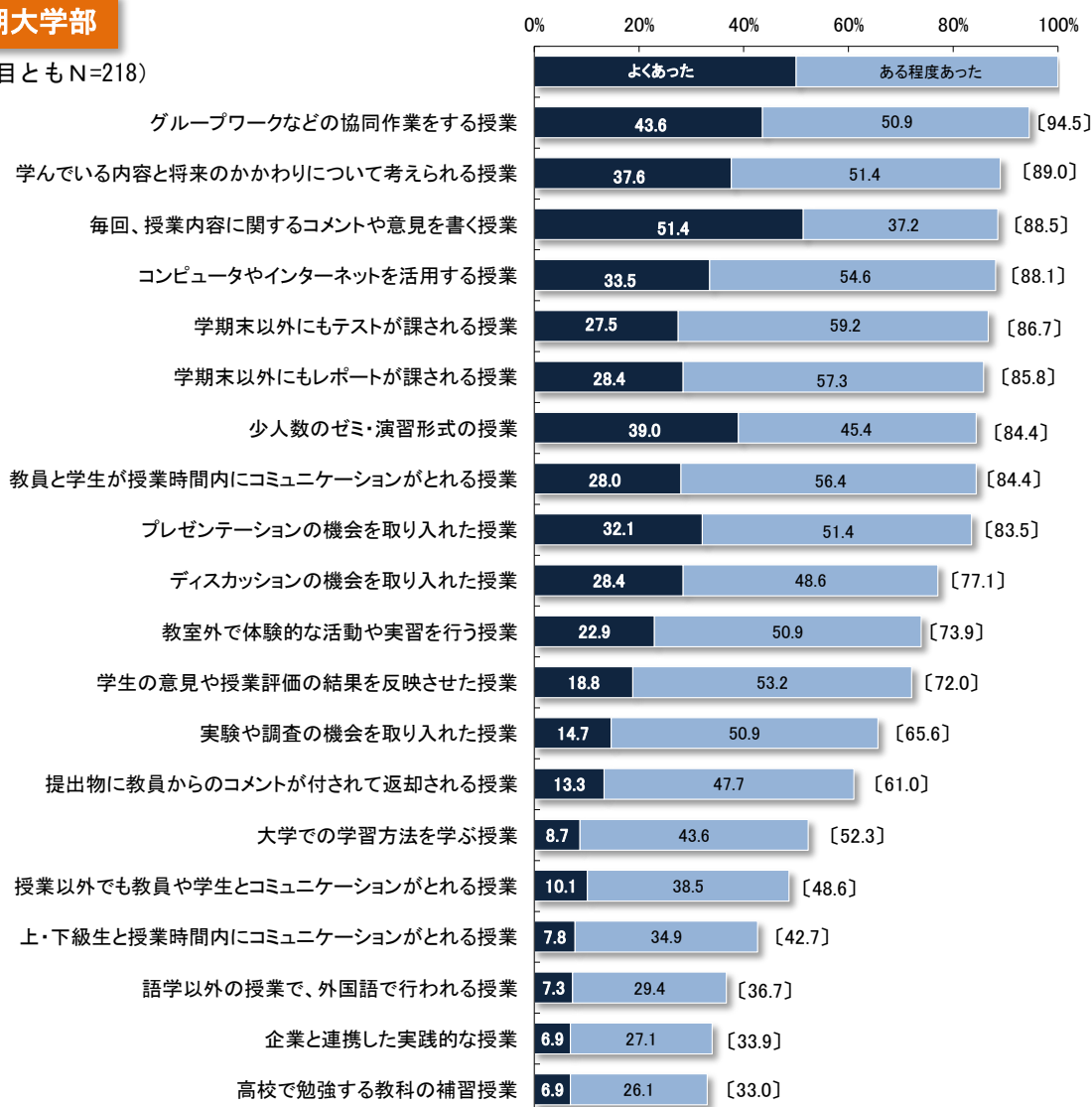
注1) 選択肢は「よくあった」「ある程度あった」「あまりなかった」「ほとんどなかった」の4段階

注2) [] は「よくあった」+「ある程度あった」の合計 (%)。ただし、回答比率 (%) は小数第2位を四捨五入しているため、合計 (%) と内訳の計 (%) は一致しない場合がある。

【授業の経験】

短期大学部

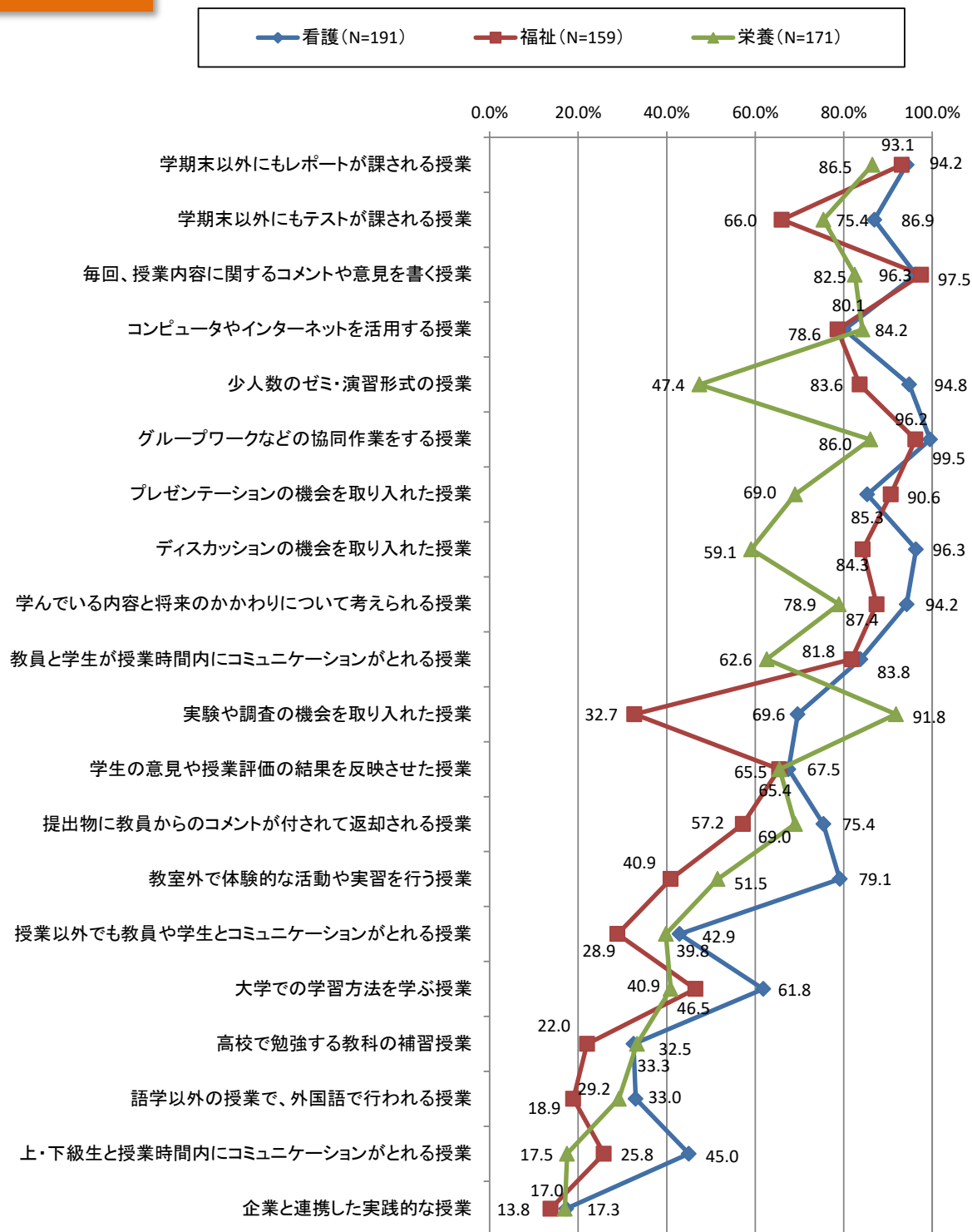
(各項目とも N=218)



大学の保健福祉学部では、看護学科は「グループワークなどの協同作業をする授業」等、福祉学科は「毎回、授業内容に関するコメントや意見を書く授業」等、栄養学科では「実験や調査の機会を取り入れた授業」等の割合が高くなっている。

保健福祉学部

【学部別 授業の経験】

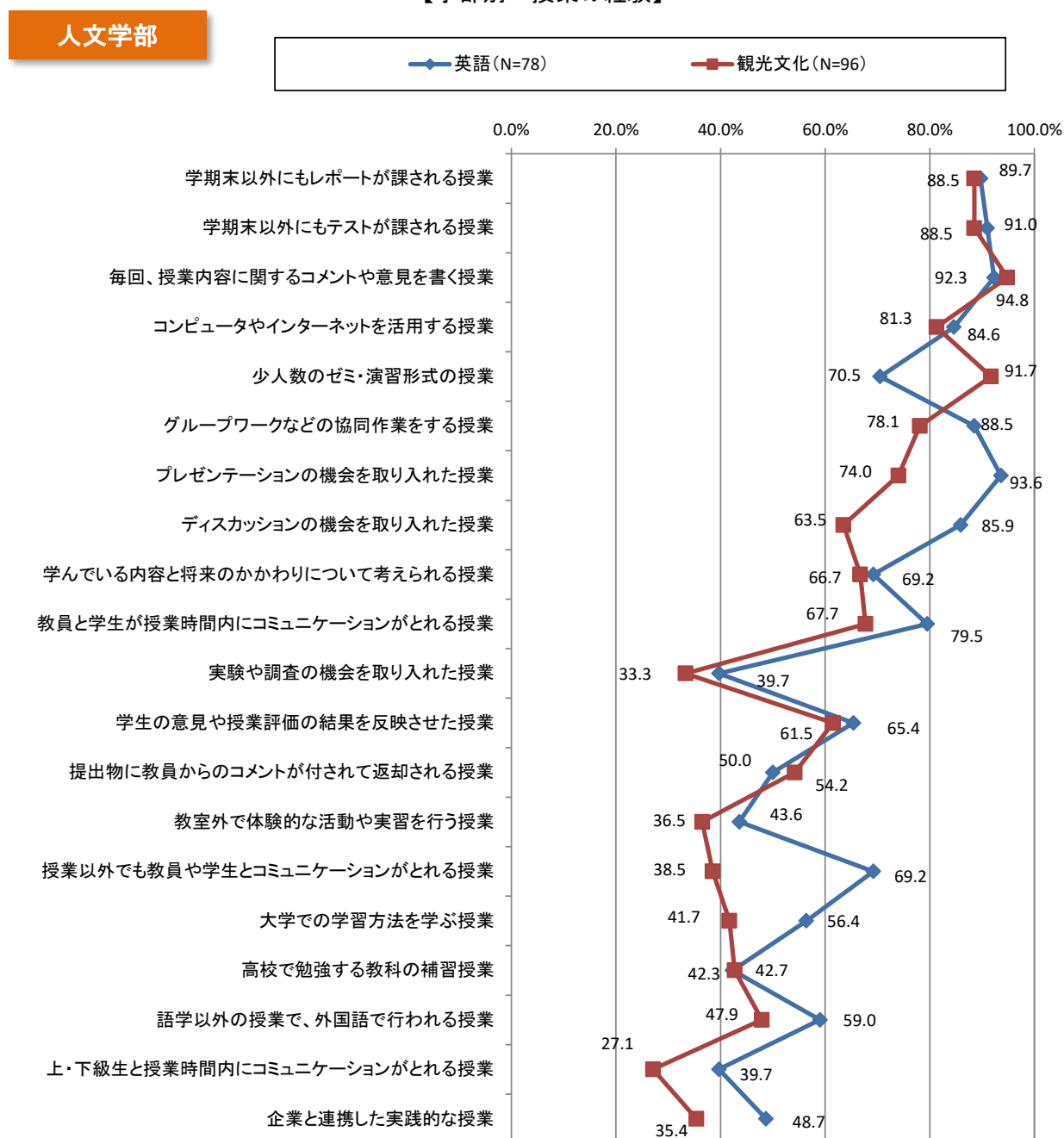


注1) 「よくあった」+「ある程度あった」の割合(%)。

第2章 調査結果

人文学部では、英語学科は「プレゼンテーションの機会を取り入れた授業」や「ディスカッションの機会を取り入れた授業」、「授業以外でも教員や学生とコミュニケーションがとれる授業」の割合が観光文化学科に比べて高い。一方、観光文化学科では「少人数のゼミ・演習形式の授業」の割合が英語学科に比べて高くなっている。

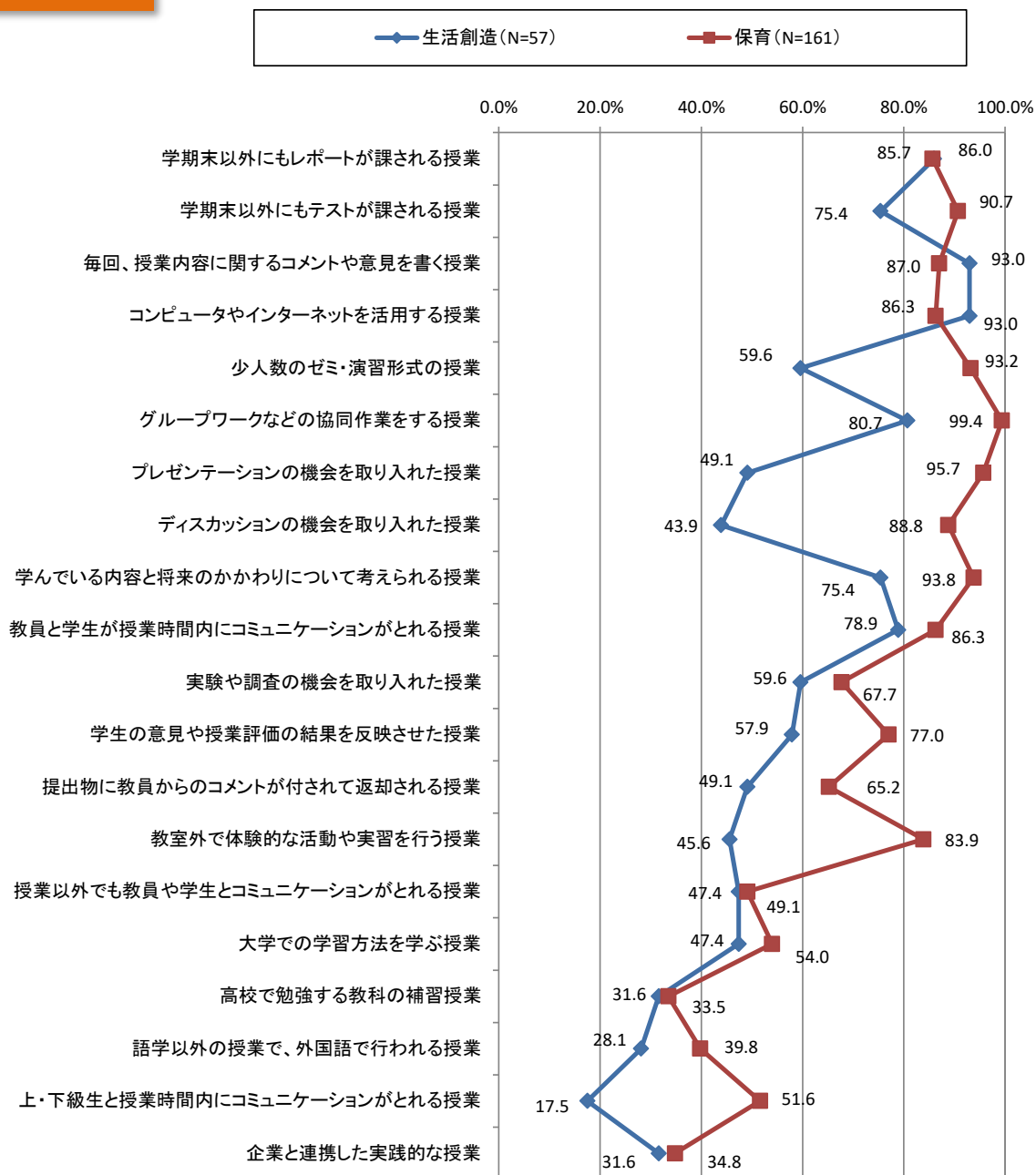
【学部別 授業の経験】



短期大学部の学科別にみると、生活創造学科は「毎回、授業内容に関するコメントや意見を書く授業」「コンピュータやインターネットを活用する授業」等、保育科では「グループワークなどの協同作業をする授業」や「プレゼンテーションの機会を取り入れた授業」、「学んでいる内容と将来のかかわりについて考えられる授業」等の割合が高くなっている。以上のように、大学、短期大学部ともに経験した授業の内容は学科によって大きく異なる。

短期大学部

【学部別 授業の経験】



西南女学院大学・大学短期大学部
2016 年度学生生活に関する実態調査
【調査結果報告書】

2017 年 6 月

発 行 西南女学院大学・大学短期大学部
学生部学生課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5134 FAX: 093-583-5770
